

東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事

図 面 リ ス ト					
意 匠		意 匠		構 造	
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
A-01	建築工事特記仕様書5-1	A-21	(増築前)天井伏図	S-01	構造設計特記仕様
A-02	建築工事特記仕様書5-2	A-22	(増築後)天井伏図	S-02	鉄骨構造標準図(1)
A-03	建築工事特記仕様書5-3	A-23	EⅤ詳細図1	S-03	鉄骨構造標準図(2)
A-04	建築工事特記仕様書5-4	A-24	EⅤ詳細図2	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-05	建築工事特記仕様書5-5	A-25	EⅤ詳細図3	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-06	工事等概要・付近見取図・配置図・求積表	A-26	EⅤ詳細図4	S-06	基礎伏図、各階伏図
A-07	工事区分・石綿除去特記	A-27	EⅤ詳細図5	S-07	軸組図(1)
A-08	仕上表	A-28	EⅤ詳細図6	S-08	軸組図(2)
A-09	(増築前)各階平面図	A-29	部分詳細図1	S-09	台柱・柱脚リスト、基礎リスト、地中梁リスト、スラブリスト
A-10	(増築後)各階平面図	A-30	部分詳細図2	S-10	鉄骨部材リスト
A-11	(増築前)南北立面図・撤去外部建具表	A-31	部分詳細図3	S-11	27通り鉄骨架構詳細図
A-12	(増築前)東西立面図・断面図	A-32	部分詳細図4		
A-13	(増築後)立面図・新設外部建具表	A-33	部分詳細図5		
A-14	(増築前)矩計図	A-34	日影図		
A-15	(増築後)矩計図				
A-16	(増築前)1、2階平面詳細図				
A-17	(増築前)3、4階平面詳細図・屋根伏図				
A-18	(増築後)地下、1、2階平面詳細図・新設内部建具表				
A-19	(増築後)3、4階平面詳細図・屋根伏図				
A-20	(増築後)展開図				

建築工事特記仕様書

Ⅰ.工事概要

1. 工事名称

東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事

2. 工事場所

鹿児島市魚見町120番地2

3. 工事種目

(・ ・ 新築 増築 改築 改修 ・ その他)

4. 工事期間

令和 7 年 1 月 31 日まで

Ⅱ.建築工事仕様

○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)による。

○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。

1)項目は ○ 印の付いたものを適用する。

2)特記事項は ◎ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。

3)特記事項に記載の()内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。

4)形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。

Ⅲ.一般事項

適用

○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする

○ 2. 前払金 ※請求することができる ・令和 年度中に請求すること

○ 3. 中間前払金

1)請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前金払か部分払かのいずれかを選択すること。

なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合には、中間前金払は行わない。

2)中間前金払を受けるための要件(全て満たすこと。)

ア)請負金額の10分の4の前金払がなされていること。

イ)工期の2分の1を経過していること。

ウ)工程表より工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。

エ)既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

3)中間前払金の割合について

請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。

○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。

○ 5. 部分払対象品目

工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。

1.仮設工事 2.土工工事 3.地業工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

8.防水工事 9.石工事 10.がれ工事 11.木工工事 12.屋根及びとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事

16.カーテンウォール工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事

○ 6. 火災保険等

請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。

保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。

※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等)に生じる損害を填補)

(・ ※ 火災等 ・ ※ 工事材料等の盗難等 ・ その他) に対応したものを含むこと。)

※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補)

なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。

その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。

7 住宅瑕疵担保履行法について

受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。

○ 8. 契約不適合担保責任検査

契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。

○ 9. 施工体制台帳の提出等

1)建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

2)工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

1)仮保及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

2)土砂やコンクリート等物の運搬のみを行う業務

3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務

4)その他監督職員が記載を指示した業務等

○ 10. 環境基本計画

1)本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。

2)本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。

3)本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。

4)本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷または両面を白くするものは除き、可能な限り、両面印刷すること。

5)工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。

○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について

本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。

(1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空気圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類

(8)ラフテレーンクレーン

なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。

○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について

本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成19年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。

なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。

○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について

1)工事用資機材等の積載超過のないようにすること。

2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

3)資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようすること。

4)土砂の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に入り出すことがないようにすること。

5)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

6)下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって重傷かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

7)1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

特記事項

○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて

両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。

[表示例]

産業廃棄物収集運搬車

→140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字

○株式会社

→90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字

なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬される場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。

○ 15. 内装仕上に使用する材料等の選定について

1)ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。

ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。

対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具)

木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等

2)クロルビリホスについて

クロルビリホスを添加しないこと。クロルビリホスを添加した材料でないこと。

3)建築材料の種類、種類、数量、及び面積等について

必要書類等

ア)施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。

イ)材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。

ウ)工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。

※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)

ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。

○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について

1)現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合

現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

ア)契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

イ)工事請負契約書第20条より工事が一時中止されている期間

ウ)橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

エ)前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間

2)発注者への報告

上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

17. 現場代理人の兼任について

1)現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ア)から ウ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

ア)兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の当初請負金額の合計が8,000万円未満であること。

※設計変更により、兼任する工事の請負金額の合計が8,000万円以上となった場合においては、受注者の都合により現場代理人を変更できるものとする。(現場代理人の負担軽減措置)

その場合は、「現場代理人等変更通知書」により現場代理人の変更手続を行うこと。

イ)発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。

ウ)兼任する工事は、同一市町村内又は工事現場の相互の間隔が概ね10km以内の範囲

エ)発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。

オ)兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。

2)手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3)受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。

○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について

低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。

1)施工体制の強化

ア)低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。))には、専任の主任技術者等を配置すること。

イ)調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。

a)65点未満の工事成績評定を通知された場合

b)工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合

c)品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合

d)自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合

2)監督体制の強化

ア)受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。

イ)受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。

○ 19. 「快適トイレ」の試行について

1)本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。

2)受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。

3)快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。

○ 20. 枠組足場の設置について

枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。

○ 21. 交通誘導員について

本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。

また、受注者については

本工事の交通誘導員は、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。

○ 22. 地下工事について

地下室等(地下工作物)がある場合は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をする。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。

建設場所等の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないよう行うこと。

23. 杭打ち・地盤改良工事について

地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。

○ 24. 周辺住民への説明等について

工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。

(近隣住民から相談・苦情の申し立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)

○ 25. 本工事は公共工事であることと十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。

特記事項

○ 26. ヤンバルサカヤスデのまん延防止対策について

ヤンバルサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。)

1)原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。

2)工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。

3)やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・蒸蒸後、搬出を行うこと。

4)発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。

5)未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。

○ 27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他の関係法令に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。

○ 28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。

○ 29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。

○ 30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。

○ 31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。

○ 32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。

○ 33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。

○ 34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。

○ 35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

○ 36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置

暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

○ 37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。

○ 38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。

○ 39. 本工事に伴いスラブに設置する墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。

○ 40. 工事完成写真の仕様について

1)インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。

2)カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。

3)完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。

○ 41. 再生資材(再生プラスチック等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。

○ 42. 法定外労災保険の付保等について

1)法定外労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。

保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。

2)墜落制止用器具の使用について

高さで2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。

○ 43. 営繕工事における週休2日試行工事について

1)本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。

2)試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和4年4月1日施行)(以下、「実施要領」という。))」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。

○ 44. 電子納品

1)本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】(以下、ガイドラインという。))」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

2)ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R又はDVD-R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

○ 45. 架空線の防護措置について

架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。

○ 46. 施工体制点検等への協力

請負代金額が4,000万円(建築一式工事は8,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,000万円(建築一式工事は8,000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。

○ 47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出

工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図面に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。

ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。

○ 48. 監理技術者等の途中交代

監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。

1)受注者の真にやむを得ない理由により工事中中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合

2)橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点

3)ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合

上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

○ 49. 監理技術者等の途中交代の試行について

本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。

1)工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間には、監理技術者等の途中交代を認めることとする。

2)受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。

○ 50. 公共工事における現場一斉閉鎖の実施について

受注者は、公共工事における現場一斉閉鎖の実施に協力するものとする。なお、現場閉鎖の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載している)ので確認のこと。

株式会社 OKI Design

一級建築士 第 322987 号

沖園 周一郎

東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事

建築工事特記仕様書 5-1

鹿児島市建設局建築部建築課

A-1

Ver.B60401

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																									
1	○ 1. 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 敷地調査共通仕様書： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ◎ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ◎ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領： 関東地方建設局営繕部作成	○ 18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 V_0 (※38・) 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 適用工種 ・ コンクリートブロック ◎ ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事 ・ 防水工事 ・ 石工事 ◎ 屋根及びとい工事 ・ 金属工事	6 コン クリ ート 工 事	○ 1. 一般事項	コンクリートの類別 ※I類 ・ II類 (6.2.1) 気乾単位容積質量による種類 ◎ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.2.1) 設計基準強度(F_c) (6.2.2) <table><tr><th>種別</th><th colspan="6">普通コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)</th></tr><tr><td></td><td>15</td><td>18</td><td>21</td><td>24</td><td>27</td><td>30</td></tr><tr><td>部品</td><td colspan="6">捨て・土間 躯体</td></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²) ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ () (6.2.2) ※ 構造体強度補正值(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 θ の範囲(℃) $0 \leq \theta < 8$ $8 \leq \theta$ (6.3.2) <table><tr><td colspan="2">構造体強度補正值(N/mm²)</td></tr><tr><td>6</td><td>3</td></tr></table>	種別	普通コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)							15	18	21	24	27	30	部品	捨て・土間 躯体						構造体強度補正值(N/mm ²)		6	3	○ 2. コンクリートの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m ³ 程度 ・ () (6.2.3) スランブ (6.2.4) <table><tr><th>打込み箇所</th><th>基礎、基礎梁、土間スラブ</th><th>柱、梁、スラブ、壁</th></tr><tr><td>所要スランブ(cm)</td><td>※ 15 ◎ 18 ・</td><td>※ 18 ・</td></tr></table> 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6.2.5(1) ・ () (6.2.5) 合板使用打放し仕上げ種別 (6.2.5)(表6.2.5) <table><tr><th>種別</th><th>適用箇所</th><th>JAS種別</th><th>合板厚さ</th><th>塗装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td></td><td>※ 表面加工品 ・ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>※ 有 ・ 無</td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td><td>・ 表面加工品 ※ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td><td>・ 表面加工品 ※ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr></table> 平たんさ ※表6.2.5 ・ () (6.2.5)	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スランブ(cm)	※ 15 ◎ 18 ・	※ 18 ・	種別	適用箇所	JAS種別	合板厚さ	塗装	・ A種		※ 表面加工品 ・ B-C	※ 12 ・ 15	※ 有 ・ 無	・ B種		・ 表面加工品 ※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無	・ C種		・ 表面加工品 ※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無	○ 3. コンクリートの材料	セメント ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ () (6.3.1)(表6.3.1) ・ () (適用箇所:) ・ 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210ポルトランドセメントに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。 骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ細骨材 (・ 使用する ・ 使用しない) アルカリシリカ反応性区分(※ A ・ B) (6.3.1) 混和材料 ・ 混和剤(・ AE剤 ◎ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・) ・ 混和材(・ フライアッシュ I 種 ・ フライアッシュ II 種 ・ 高炉スラグ微粉末 ・ コンクリート用膨張材 ・) (6.3.1) <table><tr><td>水和熱(J/g)</td><td>7日 352以下 28日 402以下</td></tr><tr><td>全アルカリ(%)</td><td>0.75以下</td></tr><tr><td>塩素(%)</td><td>0.02以下</td></tr></table>	水和熱(J/g)	7日 352以下 28日 402以下	全アルカリ(%)	0.75以下	塩素(%)	0.02以下	○ 4. 型枠	外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※ 20mm ・ () ひび割れ誘発目地位置等 ※ 図示による ・ () (6.8.1) 床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。 (6.8.3) MCR工法用シート ・ 使用する ・ 使用しない スリーブ材種 ・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ つば付き鋼板 (6.8.2)(表6.8.1)	5. 軽量コンクリート	種別 ・ 1種 ・ 2種 (6.10.1)(表6.10.1) スランブ ※ 21cm以下 ・ () (6.10.2) 気乾単位容積質量()	○ 6. 無筋コンクリート	適用箇所() (6.14.1) 設計基準強度 ※ 18N/mm ² ・ () (6.14.1) スランブ ※ 15cm ・ 18cm ・ ()	7. 防水剤入コンクリート	施工箇所(屋根スラブ) スランブ(cm) ・ 15 ・ () 混和剤(活性進化防水剤) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする)	○ 1. 鉄骨製作工場	※ 製作工場 (グレード ・ H ・ M ・ R ・ J ◎ 指定なし) (7.1.3) 施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない (7.1.4)	○ 2. 材料	鋼材 (7.2.1)(表7.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>規格等</th></tr><tr><td>SS400</td><td>図面による</td><td>※ JIS規格</td></tr><tr><td>SN490C</td><td>図面による</td><td>※ JIS規格</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※ JIS規格</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※ JIS規格</td></tr></table> 高力ボルト (7.2.2) ※ トルシアン形高力ボルト(セットの種類2種(S 10 T)) ・ JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F 10 T)) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F 8 T相当)) 径 () 普通ボルト (7.2.3)(表7.2.3) ボルト(※ 六角ボルト ・) ナット(※ 六角ナット ・) ボルト径 () アンカーボルト (7.2.4) 構造用材質 (※ SNR400 ・) 建方用材質 (※ SS400 ・) 形状及び寸法 () ターンバックル (7.2.6) ターンバックル胴の種類: ※ 割枠式 ・ () ターンバックルボルトの種類: ※ 羽子板ボルト ・ () デッキプレート (7.2.7) 構造用材質 () 形状及び寸法 () スタッド (7.2.8) 種類 () 柱底均しモルタル (7.2.9) ・ 無収縮モルタル(製造所:評価名簿による) スカラップ (7.2.10) ※ 改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」別図3.11) ・ () 材料試験 ※ 規格品証明書を提出	種類の記号	使用箇所	規格等	SS400	図面による	※ JIS規格	SN490C	図面による	※ JIS規格			※ JIS規格			※ JIS規格	○ 3. 作業一般	仮組 ・ 実施する ※ 実施しない (7.3.10) 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)
	種別	普通コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)																																																																																															
		15	18	21	24	27	30																																																																																										
	部品	捨て・土間 躯体																																																																																															
	構造体強度補正值(N/mm ²)																																																																																																
	6	3																																																																																															
	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																																																																																														
	所要スランブ(cm)	※ 15 ◎ 18 ・	※ 18 ・																																																																																														
	種別	適用箇所	JAS種別	合板厚さ	塗装																																																																																												
	・ A種		※ 表面加工品 ・ B-C	※ 12 ・ 15	※ 有 ・ 無																																																																																												
	・ B種		・ 表面加工品 ※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無																																																																																												
	・ C種		・ 表面加工品 ※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無																																																																																												
水和熱(J/g)	7日 352以下 28日 402以下																																																																																																
全アルカリ(%)	0.75以下																																																																																																
塩素(%)	0.02以下																																																																																																
種類の記号	使用箇所	規格等																																																																																															
SS400	図面による	※ JIS規格																																																																																															
SN490C	図面による	※ JIS規格																																																																																															
		※ JIS規格																																																																																															
		※ JIS規格																																																																																															
○ 2. 電気保安技術者	※ 適用する (1.3.3)	○ 2. 仮設工事	1. 監督員事務所 ※ 設ける(規模: ・ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) (2.3.1) ・ 5号(100㎡程度) ・ 設けない ・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による) 仕上げは下表を標準とする。 <table><tr><th>部位等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table>	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り	屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	○ 2. 工 事 用 水	構内既存の施設 ※ 利用できない ◎ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ随時給水の申請を行い、水道メーターを設置すること。	○ 3. 工 事 用 電 力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)	○ 4. 敷 地 調 査	平板、周辺設備マンホール等の取り合い。	○ 5. そ の 他	※ 表示板の大きさ等: ※ 下図による。 設置位置は監督員との協議による。また、取付けは、強風等に対し安全な工法とする。 (参考例) <table><tr><td>市章 150*150程度</td><td>シボマーク 150*150程度以上</td></tr><tr><td colspan="2">工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</td></tr><tr><td colspan="2">発注者 鹿児島市長</td></tr><tr><td colspan="2">設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</td></tr><tr><td colspan="2">監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</td></tr><tr><td colspan="2">施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</td></tr><tr><td colspan="2">工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</td></tr></table>	市章 150*150程度	シボマーク 150*150程度以上	工事名 ○○○○○○○○新築本体工事		発注者 鹿児島市長		設計者 鹿児島市○○局○○部○○課		監理者 鹿児島市○○局○○部○○課		施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○		工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		○ 1. 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める	○ 2. 地 均 し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。	○ 3. 建設発生土の処理	※(掘中馬)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し	○ 4. 山 留 め	・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)	○ 1. 砂 利 地 業	材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込碎石 (4.6.2) 厚さ ※ 60 ・ () (4.6.3)	○ 2. 砂 地 業	厚さ ※ 30 ・ () (4.6.3)	○ 3. 捨コンクリート地業	厚さ ※ 50 ・ () (4.6.2)(4.6.4)	○ 4. 床 下 防 湿 層	施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.2)(4.6.5) 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ () 厚さ ※ 0.15 ・ () 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がり、は、250mm程度とする。	○ 1. 鉄 筋 の 種 類	※ JIS G3112 ・ JIS S117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><th>種類の記号呼び名(mm)</th></tr><tr><td>◎ SD295 D16以下</td></tr><tr><td>◎ SD345 D19以上</td></tr><tr><td>・ SD390 D29以下</td></tr><tr><td>・</td></tr></table> ・ 高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工: () ※ 図面による	種類の記号呼び名(mm)	◎ SD295 D16以下	◎ SD345 D19以上	・ SD390 D29以下	・	2. 溶 接 金 網	・ 鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径: ※ 図示による (5.2.2)	○ 3. 継 手 及 び 定 着	柱及び梁の主筋 (※ D19以上 ・) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 (※ D16以下 ・) ※ 重ね継手 ・ ()	○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による ・ 構造特記仕様書による ・ 図示による ・ 耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><th>施工箇所</th><th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)			○ 5. 帯 筋	形の種別 ◎ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)	6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない	7. 壁開口部の補強	一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※ B形 ・ 図示	○ 8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ◎ 土間 ◎ 大走り ・ ()	○ 9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ・ (別図7.1)(表7.1～3)	10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)	○ 11. 各 部 配 筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。																	
部位等	仕 上 げ																																																																																																
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																																
内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り																																																																																																
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																																
市章 150*150程度	シボマーク 150*150程度以上																																																																																																
工事名 ○○○○○○○○新築本体工事																																																																																																	
発注者 鹿児島市長																																																																																																	
設計者 鹿児島市○○局○○部○○課																																																																																																	
監理者 鹿児島市○○局○○部○○課																																																																																																	
施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○																																																																																																	
工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日																																																																																																	
種類の記号呼び名(mm)																																																																																																	
◎ SD295 D16以下																																																																																																	
◎ SD345 D19以上																																																																																																	
・ SD390 D29以下																																																																																																	
・																																																																																																	
施工箇所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																																																																																																
○ 4. 技能士	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ コンクリート圧送施工 ・ 型枠施工 ◎ 及び ・ ブロック建築 (1.5.2) ・ 鉄工(・ 構造物鉄工作業 ・ 製缶作業) ◎ エーメル・パネル施工 ・ 石材施工(石張り作業) ・ 防水施工(・ ウレタン系塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ アスファルト防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗装防水工事作業) ・ タイル張り ・ 建築大工 ・ かわらぶき ・ 建築板金(内外装板金作業) ◎ 左官 ・ サッシ施工 ・ ガラス施工 ・ カーテンウォール施工 ・ 建具製作(・ 木製建具 手加工作業 ・ アルミ製室内建具製作作業 ・ 木製建具 機械加工作業) ・ 内装仕上げ施工(・ ボード仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業) ・ 畳製作 ・ 表装 ・ 造園 ・ 熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業) ・ 樹脂接着剤注入施工	○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、 (1.1.4) 工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。 また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)	○ 6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。	○ 7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	○ 8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事由発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうボードの有無を明記するとともに、せつこうボードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。	○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	○ 10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。	○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) データデータ i) データ提出媒体:「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式: CADデータ(国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの)及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・ 取扱い説明書 部数部(建設戸数÷2戸分)	○ 12. 工事写真	<table><tr><th>区分</th><th>分類</th><th>規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原画の大きさ</th><th>備考</th></tr><tr><td>※ 着工前</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 工事中</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 完成時</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td>枚</td><td>※ 1部</td><td>・ 60×90以上 ・ 24×36以上</td><td>外観4面 主要内部</td></tr></table> ・ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真	区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考	※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部	13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)	○ 14. 既存建物との取合い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。	15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ・ 非住宅(測定対象室()) 測定項目 ・ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン) ・ 6項目(上記5項目及びパラジクロロベンゼン)	16. 部分使用	・ 有(部分使用の場所等)	17. 指定部分	・ 有(範囲、時期については監督員の指示による)																																										
区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考																																																																																											
※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																																																																																												
※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																																																																																												
※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部																																																																																											

Ver.B60401

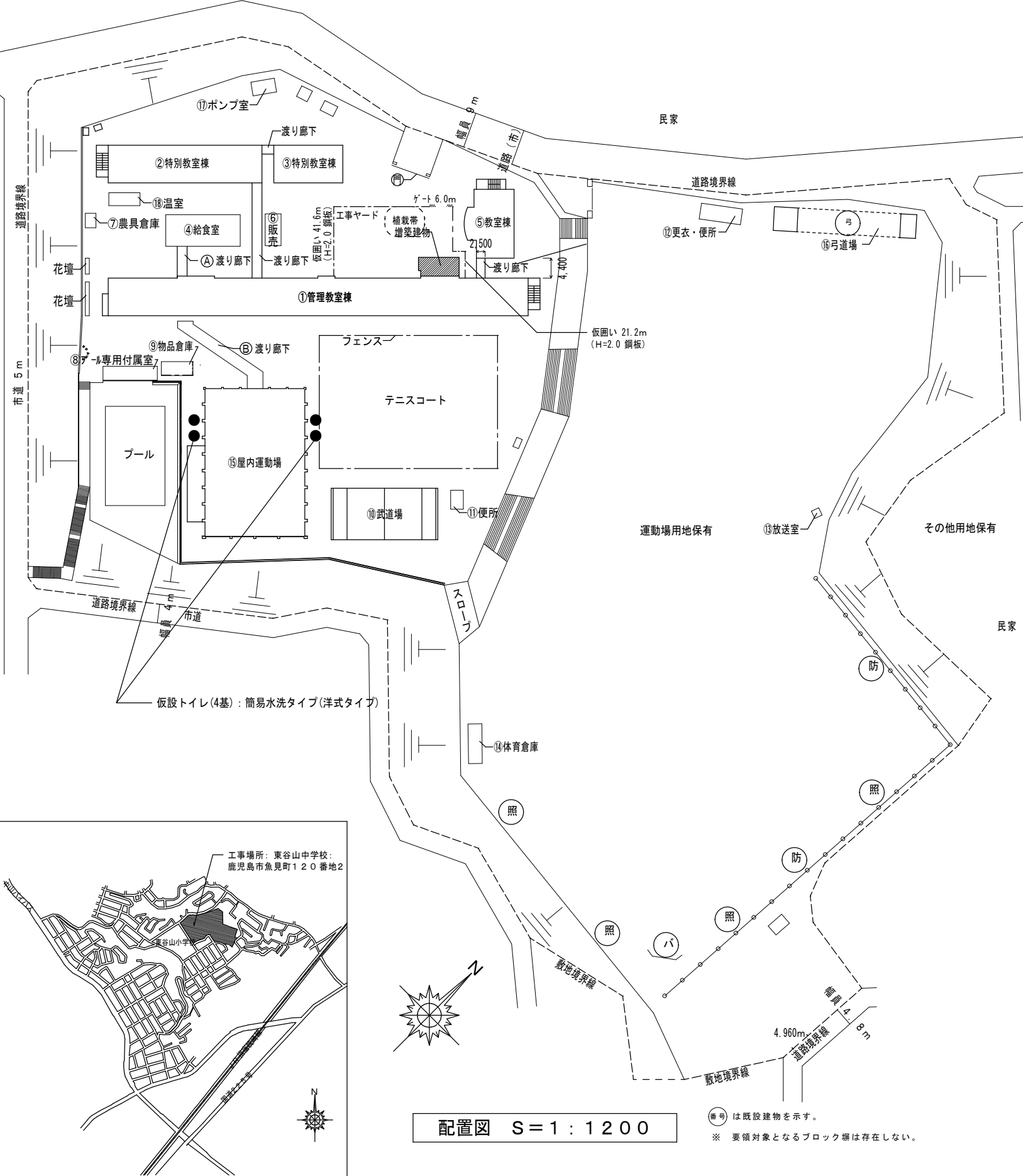
章		適用		項目		特記事項		章		適用		項目		特記事項																									
7 鉄骨工事	○ 4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・K形 ◎ (鉄骨構造標準図による) (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 () (7. 6. 12) 溶接部の試験 ※ 外観試験 (a)() (b)() ※ 超音波探傷試験 ※ 行う AOQL(工場溶接) ※ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・ ()																																					
	○ 5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種別 鋼製スリーブ内面(※ A種 ・ B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)																																					
	○ 6. 耐 火 被 覆	種類 (耐火材吹付け) (7. 9. 2) 材料 (吹付けロックウール) 工法 (吹付工法(半乾式)) (7. 9. 3) 耐火性能(1時間耐火) (7. 9. 3)																																					
	○ 7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 10. 2) アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状()寸法() (7. 10. 3) ・ アンカーフレーム 形状()寸法() ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・ A種 ※ B種 ・ C種) (表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※ A種 ・ B種)厚さ()																																					
	○ 8. 軽 量 形 鋼	ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・ () (7. 11. 2)																																					
8 コンクリートブロック工事	○ 9. 溶 融 亜 鉛 め っ き 工	亜鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) <table><tr><th>亜鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適 用 部 位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr></table> 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理 ・ () (7. 12. 5)			亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																								
	亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位																																				
	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																					
	B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																					
	C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																					
○ 1. 補 強 コ ン ク リ ー ト フ ロ ッ ク 造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法() 正味厚さ () 各部の配筋 ※ 図示による (8. 2. 5)																																						
2 コンクリートブロック帳壁及び塀	ブロックの種類 ※ 表8. 3. 1 (8. 3. 2) 配筋 (8. 3. 4) <table><tr><th></th><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td></td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr></table> 壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() 区分(一般・コーナー、平パネル)単位荷重()厚さ()幅()長さ() (8. 4. 2) 耐火性能() 外壁パネル構法 構法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() (8. 4. 3) 耐火目地材()				縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10－400@	D10－400@		1－D13	1－D13																										
	縦 筋	横 筋	開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																			
D10－400@	D10－400@		1－D13	1－D13																																			
○ 3 A L C パ ネ ル	種類()形状()厚さ()幅() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)																																						
4 押出成形セメント板	種類()形状()厚さ()幅() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・ A種 ・ B種)工法()目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)																																						
9 防水工事	1. 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) <table><tr><th>工程種別</th><th>適用箇所</th><th>仕 上 げ 塗 料 塗 り</th><th>厚 さ</th></tr><tr><td>・ S－F1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.2mm ・</td></tr><tr><td>・ S－F2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※ 1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M2</td><td></td><td></td><td>※ 1.5mm ・</td></tr></table> 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4) 可塑性移行防止用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ・ ()			工程種別	適用箇所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ	・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・	・ S－F2			※ 1.5mm ・	・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・	・ S－M2			※ 1.5mm ・															
	工程種別	適用箇所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ																																			
	・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.2mm ・																																			
	・ S－F2			※ 1.5mm ・																																			
	・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※ 1.5mm ・																																			
・ S－M2			※ 1.5mm ・																																				
2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工程種別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr><tr><td>・ X-2 (密着工法)</td><td>※ 屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 施 工 箇 所 備 考 ・ Y-1 地下外壁 ・ Y-2 屋内 保護層 ・ 適用する ・ 適用しない			工程種別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根		・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																												
工程種別	施 工 箇 所	備 考																																					
・ X-1 (絶縁工法)	※ 屋根																																						
・ X-2 (密着工法)	※ 屋根																																						
○ 3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※ 9. 7. 3(1)(7～ウ) ・ () (9. 7. 3) 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5)																																						
4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金こて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)																																						
5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																						
10 石工事	1. 共 通 事 項	石の割付け ・ () ・ 図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議 ・ 図示による (10. 1. 5) ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない																																					
	2. 材 料	テラゾ (10. 2. 1) 種類及び大きさ ※ 大理石(15～12mm) ・ () テラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物 仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き																																					
	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※ 表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内 () 寸法 ※ 9. 7. 3 ・ ()																																					
	○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7)																																					
	○ 3. 材 質	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状・寸法</td><td>耐凍害性</td><td>耐滑り性</td><td>役物</td><td>色</td></tr><tr><td>昇降口</td><td>50角</td><td>・ 有 ◎ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td>ホーチ</td><td>50角</td><td>・ 有 ◎ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>◎ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td>汚垂石</td><td>図示</td><td>◎ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ◎ 無</td><td>・ 有 ◎ 無</td><td>◎ 標準 ・ 特注</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 標準 ・ 特注</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・ 実施する ◎ 実施しない) タイル見本焼き(・ 実施する ◎ 実施しない)			施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	昇降口	50角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注	ホーチ	50角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注	汚垂石	図示	◎ 有 ・ 無	・ 有 ◎ 無	・ 有 ◎ 無	◎ 標準 ・ 特注			・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注					
施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	耐滑り性	役物	色																																		
昇降口	50角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注																																		
ホーチ	50角	・ 有 ◎ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 有 ・ 無	◎ 標準 ・ 特注																																		
汚垂石	図示	◎ 有 ・ 無	・ 有 ◎ 無	・ 有 ◎ 無	◎ 標準 ・ 特注																																		
		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 標準 ・ 特注																																		
○ 4. セメントモルタルによるタイル張り	・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ◎ (圧着張り) ・ () 工法 ◎ (湿式工法) ・ ()																																						
○ 5. 有 機 系 接 着 剤 によるタイル張り	・ 外装タイルにおける目地詰め (・ 行う ・ 行わない) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法) (11. 3. 5)																																						
12 木工事	○ 1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1) 難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 ()地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたものの 指定部分 ・ 構造材全て ・ その他(・) 含水率 構造材 ※ 20%以下とする。 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種																																					
	○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	「JAS1083」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類の見え掛り面は上小節、 それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・ ()																																					
	○ 3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による																																					
	○ 4. セメントモルタルによるタイル張り	・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ◎ (圧着張り) ・ () 工法 ◎ (湿式工法) ・ ()																																					
	○ 5. 有 機 系 接 着 剤 によるタイル張り	・ 外装タイルにおける目地詰め (・ 行う ・ 行わない) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法) (11. 3. 5)																																					
13 屋根及びとい工事	○ 1. 長 尺 金 属 板 葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) <table><tr><th>屋根葺き形式</th><th>材 種 (板・コイル)</th><th>表 面 処 理</th><th>板厚 (mm)</th></tr><tr><td>・ 心木なし瓦葺葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</td><td>◎ フッソ樹脂塗装</td><td>※ 0.4 ・ 0.5</td></tr><tr><td>◎ 立て平葺</td><td>・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)</td><td>・ 亜鉛めっき塗装</td><td>・ 0.6 ・ 0.8</td></tr><tr><td>・ 横葺</td><td>・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</td><td>・ 焼付塗装</td><td>・ 0.8 ・ 1.0</td></tr><tr><td></td><td>・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</td><td></td><td>・ 1.2 ・</td></tr><tr><td></td><td>・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎ 鼻隠し・ケラバ</td><td>◎ 圧膜型カラー溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板</td><td></td><td>※ 0.6</td></tr></table> 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面 ・ 1類 ・ 2類 ・ 3類 裏面 ・ 1類 ・ 2類 ・ () めっき付着量 ・ () 下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば納め			屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚 (mm)	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	◎ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5	◎ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0		・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2 ・		・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)			◎ 鼻隠し・ケラバ	◎ 圧膜型カラー溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板		※ 0.6							
	屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚 (mm)																																			
	・ 心木なし瓦葺葺	・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	◎ フッソ樹脂塗装	※ 0.4 ・ 0.5																																			
	◎ 立て平葺	・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・ 亜鉛めっき塗装	・ 0.6 ・ 0.8																																			
	・ 横葺	・ 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・ 焼付塗装	・ 0.8 ・ 1.0																																			
	・ 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)		・ 1.2 ・																																				
	・ 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)																																						
◎ 鼻隠し・ケラバ	◎ 圧膜型カラー溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板		※ 0.6																																				
2. 折 板 葺	材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高()mm 山ピッチ()mm 形式 ※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※ 有り ・ 無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による																																						
○ 3. と い	とい (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※ 図示による 外部縦どい受け金物 ※ ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※ 図示による																																						
○ 4. 保証書及び期間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																						
株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖 園 周 一 郎	東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課																																						
	A－3																																						
	Ver.B60401																																						

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																																																				
14 金 属 工 事	○ 1. 一 般 事 項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ○ 実施しない (14. 1. 3)		○ 2. 鋼 製 建 具	(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)		・ 耐候性塗料塗り(DP) ○ 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 2)(表 18. 7. 1) ・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表 18. 7. 2) ・ コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 4)(表 18. 7. 3) ○ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表 18. 8. 1～4) ○ 塗り種別(下地:コンクリート、モルタル、プラスター、せつこうボード等) ・ A種 ※B種 ・ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※B種 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) (18. 9. 2)(表 18. 9. 1) ・ 塗り種別 ・ A種 ※B種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表 18. 10. 1) ・ 木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形) ・ A種 ※B種 ・ オイルステイン塗り(OS) (18. 11. 2)(表 18. 11. 1) ・ 塗料 ・ () ・ 図示による ・ 木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表 18. 12. 1) ・ 塗り別 ・ A種 ※B種																																																			
	○ 2. 表 面 処 理	○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)			製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)																																																					
	<table><tr><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ AB－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>※BB－1種(無着色)</td><td>アルミ建具</td></tr><tr><td>・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合:) ・ () ・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4) <table><tr><th>表面処理方法</th><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・ A種</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・ D種</td><td></td></tr><tr><td>・ E種</td><td></td></tr><tr><td>・ F種</td><td></td></tr></table>		種 類		施 工 箇 所	・ AB－1種(無着色)			・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ AC－1種(無着色)		・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BA－1種(無着色)		・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		※BB－1種(無着色)	アルミ建具	・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BC－1種(無着色)		・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ C種		表面処理方法	種 類	施 工 箇 所	溶融亜鉛めっき	・ A種		・ B種		・ C種		電気亜鉛めっき	・ D種		・ E種		・ F種		3. ステンレス製建具 材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ () (16. 6. 3) 表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ () (16. 6. 4) 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)												
種 類	施 工 箇 所																																																									
・ AB－1種(無着色)																																																										
・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																										
・ AC－1種(無着色)																																																										
・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																										
・ BA－1種(無着色)																																																										
・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																										
※BB－1種(無着色)	アルミ建具																																																									
・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																										
・ BC－1種(無着色)																																																										
・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																										
・ C種																																																										
表面処理方法	種 類	施 工 箇 所																																																								
溶融亜鉛めっき	・ A種																																																									
	・ B種																																																									
	・ C種																																																									
電気亜鉛めっき	・ D種																																																									
	・ E種																																																									
	・ F種																																																									
○ 3. 軽 量 鉄 骨 天 井 下 地	野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1) 屋外 ・ 19形 ※25形 ○ 野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) (900mm) (14. 4. 3)(表14. 4. 2) ○ 野縁の間隔(屋外) (900mm) ・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ・ () (14. 4. 4) ・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※図示による ・ () ○ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ ()		4. 木 製 建 具	建具材の含水率 ※A種 ・ B種 ・ C種 (16. 7. 2)(表16. 7. 1) かまち戸の樹種 かまち () 鏡板 () ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙 枠 ・ 木製枠 ・ 鋼製枠 () くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ・ () フラッシュ戸 表面板の厚さ ※表16.7.6 (16. 7. 3) 見込み寸法 かまち戸(※36mm ・) ふすま戸(※19.5 ・ 21 ・ 18) (16. 7. 3) 戸ぶすま(※30mm ・) 紙張り障子(※30mm ・)																																																						
	○ 4. 軽 量 鉄 骨 壁 下 地	スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)		5. 建 具 用 金 物	※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1) マスターキー ※製作する ・ 製作しない 鍵箱 ※必要 (組用) ・ 不要																																																					
		<table><tr><th>種 類</th><th>部 材</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 50形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>○ 65形</td><td>○ スタッド ○ ランナ</td><td>図示</td></tr><tr><td>・ 90形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>○ 100形</td><td>○ スタッド ○ ランナ</td><td>図示</td></tr></table>		種 類	部 材	施 工 箇 所	・ 50形	・ スタッド ・ ランナ		○ 65形	○ スタッド ○ ランナ	図示	・ 90形	・ スタッド ・ ランナ		○ 100形	○ スタッド ○ ランナ	図示	6. 重 量 シ ャ ッ タ ー	(16. 11. 2～5) <table><tr><th>種 類</th><th>耐 風 圧 性 能</th><th>開 閉 機 能</th><th>シャッターケースの設置</th><th>危 害 防 止 機 構</th></tr><tr><td>・ 管理用シャッター</td><td>・ 50 ・ 80</td><td>※ 上部電動式</td><td>・ 有 ・ 無</td><td rowspan="4">※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火シャッター</td><td>・ 120 ・</td><td>(手動併用)</td><td></td></tr><tr><td>・ 屋内用防火シャッター</td><td></td><td>・ 上部手動式</td><td>※ 有</td></tr><tr><td>・ 防煙シャッター</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構	・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式	・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)		・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有	・ 防煙シャッター																		
種 類		部 材	施 工 箇 所																																																							
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ																																																									
○ 65形	○ スタッド ○ ランナ	図示																																																								
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ																																																									
○ 100形	○ スタッド ○ ランナ	図示																																																								
種 類	耐 風 圧 性 能	開 閉 機 能	シャッターケースの設置	危 害 防 止 機 構																																																						
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置 ・ シャッターの二段降下方式																																																						
・ 外壁用防火シャッター	・ 120 ・	(手動併用)																																																								
・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有																																																							
・ 防煙シャッター																																																										
5. 金 属 成 形 板 張 り	(14. 6. 2)(14. 6. 3)		7. 軽 量 シ ャ ッ タ ー	開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2) 耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3) スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)																																																						
	<table><tr><th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法(mm)</th><th>厚 さ(mm)</th><th>表面処理</th></tr><tr><td>・ スパンドレル形</td><td>・ 押出し</td><td>※ アルミニウム製</td><td></td><td></td><td>(14.2.1～3、表14.2.1～2による)</td></tr><tr><td>・ ロール</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ パネル形</td><td>※ プレス</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)		形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚 さ(mm)	表面処理	・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)	・ ロール	・					・ パネル形	※ プレス					8. ガ ラ ス	JIS規格品 (16. 14. 2) ※ 材料、厚みは図示による																														
	形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚 さ(mm)	表面処理																																																				
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)																																																					
・ ロール	・																																																									
・ パネル形	※ プレス																																																									
○ 6. アルミニウム製 笠 木	(14. 7. 2)(14. 7. 3)		9. ガ ラ ス 留 め 材	アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3) ・ ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用) 鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) 木製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)																																																						
15 左 官 工 事	○ 1. モ ル タ ル 塗 り	材料 (15. 3. 2) モルタル ○現場調査材料 ・ 既調査材料(材料は監督員の承諾による) 防水モルタルの防水剤 製造所(監督員の承諾を得るものとする。) ・既製目地材 形状()	10. ガ ラ ス ロ ッ ク 積 み	JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5) 表面形状() 呼び寸法() 厚さ() 壁用金属枠及び補強材 () 力骨 <table><tr><th>材 質</th><th>寸 法</th><th>形 状</th></tr><tr><td>※ ステンレス鋼(SUS304)</td><td>※ 径5.5mm</td><td>※ はしご形状腹筋及び単筋</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> シーリング材 () 金属製化粧カバー 材質() 寸法() 形状() ガラスブロックの目地幅の寸法 平積み ※8～15mm ・ () 曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・ () 伸縮調整目地位置 ※6m以下 ・ () 目地部の力骨の補強方法 ※ 製造所の仕様 ・ ()		材 質	寸 法	形 状	※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋	・	・	・																																												
	材 質	寸 法	形 状																																																							
	※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋																																																							
・	・	・																																																								
○ 2. 仕 上 塗 材 仕 上 げ	材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2) JIS A 6909(建築用仕上塗材) <table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ 形 状 等</th></tr><tr><td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>※ 外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>○ 複層仕上塗材</td><td>※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E</td><td>※ 巾す肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック</td></tr></table>	種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等	・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	○ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ 巾す肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック	○ 1. 材 料	※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。																																														
種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等																																																								
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																																								
○ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ 巾す肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック																																																								
16 建 具 工 事	○ 1. アルミニウム製 建 具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1, 2)	○ 2. 素 地 ご し ら え	○ 木部 不透明塗料塗り (※ A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1) 透明塗料塗り (・ A種 ※ B種) ○ 鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※ C種) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2) (耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする) ・ 亜鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3) ○ モルタル及びせつこうプラスター面 (・ A種 ※ B種) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4) ○ コンクリート及びALC/パネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※ B種) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5) (耐候性塗料塗り(DP)、2液形ポリウレタンエマル塗り、アクリルシオン樹脂エマル塗り、 常温乾燥形ふっ素エマル塗りについては、表18. 2. 6による) ○ せつこうボード及びその他ボード面 継目処理工法 (※ A種 ・ B種) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7) その他 (・ A種 ※ B種)																																																						
	<table><tr><th>種 別</th><th>外 部 に 面 す る 建 具</th><th>内 部 建 具</th><th>枠見込み(mm)</th></tr><tr><td>※ 普通ドア セット、サッシ</td><td>※ コンクリート系 鉄骨下地</td><td>・ A種 ○ B種</td><td>※ 70 ・</td></tr><tr><td></td><td>・ C種</td><td></td><td>※ 100 ・ 図示</td></tr><tr><td>・ 木下地</td><td>・ D種</td><td>・ E種</td><td>※ 70</td></tr><tr><td>・ 防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 耐震ドアセット</td><td>面内変形追随性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面処理(表14.2.1による)</td><td>※ BB-1種 ・</td><td>※ AC-1種 ・</td><td></td></tr></table> 網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)		種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)	※ 普通ドア セット、サッシ	※ コンクリート系 鉄骨下地	・ A種 ○ B種	※ 70 ・		・ C種		※ 100 ・ 図示	・ 木下地	・ D種	・ E種	※ 70	・ 防音ドアセット	遮音性の等級()			・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()			・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()			表面処理(表14.2.1による)	※ BB-1種 ・	※ AC-1種 ・		○ 3. 塗 料 塗 り	○ 錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6) <table><tr><th>下 地</th><th>塗 料 種 別</th><th>塗 り 種 別</th></tr><tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>SOP ※ A種</td><td>見え掛り部分 ※ A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ・ A種 ※ B種</td><td>見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種</td></tr><tr><td>DP 1回目 ※ C種</td><td>表18. 3. 4</td></tr><tr><td>2・3回目 ※ D種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP ※ A種 ・ B種</td><td>鋼製建具 ※ A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G ※ C種</td><td>その他 ・ A種 ※ B種</td></tr><tr><td>DP ※ B種</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2) 木部塗り種別 (屋外) ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3) (屋内) ・ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く) 鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4) ○ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表 18. 5. 1) 塗り種別 ・ A種 ※ B種 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1) 塗り種別 ・ A種 ※ B種		下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別	鉄鋼面	SOP ※ A種	見え掛り部分 ※ A種 ・ B種	EP-G ・ A種 ※ B種	見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種	DP 1回目 ※ C種	表18. 3. 4	2・3回目 ※ D種		亜鉛めっき鋼面	SOP ※ A種 ・ B種	鋼製建具 ※ A種 ・ B種	EP-G ※ C種	その他 ・ A種 ※ B種	DP ※ B種			
	種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)																																																						
※ 普通ドア セット、サッシ	※ コンクリート系 鉄骨下地	・ A種 ○ B種	※ 70 ・																																																							
	・ C種		※ 100 ・ 図示																																																							
・ 木下地	・ D種	・ E種	※ 70																																																							
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()																																																									
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()																																																									
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()																																																									
表面処理(表14.2.1による)	※ BB-1種 ・	※ AC-1種 ・																																																								
下 地	塗 料 種 別	塗 り 種 別																																																								
鉄鋼面	SOP ※ A種	見え掛り部分 ※ A種 ・ B種																																																								
	EP-G ・ A種 ※ B種	見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種																																																								
	DP 1回目 ※ C種	表18. 3. 4																																																								
	2・3回目 ※ D種																																																									
亜鉛めっき鋼面	SOP ※ A種 ・ B種	鋼製建具 ※ A種 ・ B種																																																								
	EP-G ※ C種	その他 ・ A種 ※ B種																																																								
	DP ※ B種																																																									
○ 2. 置 敷 き	畳の種別 (和室) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (19. 6. 2)(表 19. 6. 1) ・ D種 (・ KT-I ・ KT-II ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N) (柔道場) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖園 周一郎			東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－4 鹿児島市建設局建築部建築課 A－4																																																					

章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項		章		適用		項 目		特 記 事 項																										
19	内装工事	○	6.	せっこうボード、 その他ボード及び 合 板 張 り	せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)												6.	階 段 滑 り 止 め	材種 ※ SUS ・ () (20. 2. 7) 形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有 幅 (mm) ・ 35 ※ 40 取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)																													
					⓪ 7. 床 目 地 棒														(20. 2. 8) 床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 ・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製 H 型 (幅40 内外厚さ2)																													
					8. 黒 板 及 び ホワイ トホ ー ト	(20. 2. 9)													・ 黒板												種 類		寸 法 (mm)		色 彩		備 考											
						・ ホワイ トボード													※ 研出し ・ 焼付け				※ 緑 ・ 黒		※ 曲面		・ スクリーン付引分け																					
																			※ ほうろう白板				※ 白		・ 曲面		・ スクリーン付引分け																					
					黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。 (製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)														9. 鏡												厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10)																	
					○	10.	表 示	・ 対人衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し ⓪ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。 (20. 2. 11) ⓪ 室名表示 ※ 図示による												11. ブ ラ イ ンド												(20. 2. 13)																
								・ 横形												※ アルミニウム合金		※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式		※ 25 ・		※ 鋼製																						
					・ 縦形														・ アルミスラット ・ クロススラット		※ 2本操作コード式		・ 80 ・ 100		12. カーテン及び カーテンレール												レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ () (20. 2. 16) (表 20. 2. 1) 材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材 (アルマイト仕上げ) ・ ステンレス製 工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上 ・											
					21	排水工事	○	1.	屋 外 雨 水 排 水	材料 ※ 図示による												○	2.	縁 石 及 び 側 溝	材料 ※ 図示による																							
○ 1. 路 盤												・ 厚さ: ※ 図面による (22. 3. 2) ・ 材料: ※ 再生クラッシャーラン RC-40 ・ クラッシャーラン C-40 ⓪ 図面による (22. 3. 3)																																				
20	ユニット及びその他の工事	○	2.	舗装工事	○	2.	アスファルト舗装	・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 4. 2) ・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ () ・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3) ・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ () (22. 4. 4) ・ 切取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) ・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない												○	3.	コンクリート舗装	・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 5. 2) ・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3) ・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ () ・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm																									
								4.	透水性アスファルト 舗 装	・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 7. 2) ・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする																																						
										5.	ブロック系舗装	・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 1) ・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 8. 2) ・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ()																																				
								6.	砂 利 敷 き			・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22. 9. 2) ・ 種別: ・ A種 ・ B種																																				
								20	ユニット及びその他の工事	○	1.	フリーアクセス フロア	床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2) 表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ) 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・ 寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・ 適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・ (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・ (最上階) ※ 1.0以上 ・ 耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・ 空調用孔あきパネル 枚数 () 材質 () コンセント開口 適用室 () コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。 試験方法は、JIS A 1450 (フリーアクセスフロア試験方法) による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。												○	2.	可動間仕切り (既製間仕切り)	(20. 2. 3)																				
													・ 構造形式															表面板及び厚さ		パネル仕上げ		パネル見込み																
													※ パネル式															鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・		※ 焼付塗装(常備色程度) ・		※ 60以上 ・ 50																
													・ スタッド式																																			
													・ スタッドパネル式															鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・		※ 焼付塗装(常備色程度) ・		※ 30以上 ・																
													スタッド アルミニウム製 40角																																			
品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による																																																
3.	移動間仕切り (スライディングウォール)	パネル操作方法 () (20. 2. 4) パネル表面材の材質 (※ 鋼板 ・) パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・) パネル圧接装置操作方法 () 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上)) ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ウ) ・) 固定方法 (・ あと施工アンカー(材質: ・ 、寸法:) ・ 製造所 評価名簿による																																														
		4.	トイレブース	表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20. 2. 5) ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型 製造所 評価名簿による																																												
				○	5.	手すり及びタラップ	(20. 2. 6) (20. 2. 12)																																									
・ 種 類												材 料 の 種 別		表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2による)																																		
・ 手すり												※ ステンレス SUS304		※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・ #400																																		
												・ 鉄(亜鉛めっき)		(外部) ※ C種 ・ (内部) ・																																		
												・ アルミ		(外部) ・ (内部) ・																																		
⓪ タラップ												※ ステンレス SUS304		※ 研磨無し ・																																		
												・ 鉄(亜鉛めっき)		(内外部) ※ C種 ・																																		
ステンレス SUS430を使用する箇所 ()																																																
												株式会社 OKI Design												東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事																								
												一級建築士 第 322987 号												建築工事特記仕様書 5-5																								
												沖園 周一郎												鹿児島市建設局建築部建築課																								
																								A-5																								
																								Ver.B60401																								

工事等概要				
工事名称	東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事			
地名地番	鹿児島市魚見町120番地2			
用途地域	第一種低層住居専用地域	許容建ぺい率	60%	許容容積率 80%
防火指定	建築基準法第22条指定地域			
主要用途	中学校			
工事種別	新築 [増築] 改築 移転 用途変更 大規模の修繕 大規模の模様替			
工事内容	解体工事：昇降口			
	増築工事：EV、バリアフリートイレ、昇降口			
	環境配慮工事：石綿除去（詳細はA-07）			
敷地面積	34,131.0㎡			
	申請部分	申請以外の部分	解体部分	合計
建築面積	49.34㎡	3,754.44㎡	9.97㎡	3,793.81㎡
延床面積	125.88㎡	8,920.99㎡	9.97㎡	9,036.90㎡
容積対象床面積	88.20㎡	8,920.99㎡	9.97㎡	8,999.22㎡
建ぺい率	11.12%			
容積率	26.37%			
耐火建築物	耐火建築物			
構造	既存部分：RC造4階建て 増築部分：鉄骨造4階建て			
敷地内の最高の高さ	15.600m			
増築部分の最高の高さ	15.580m			
最高の軒の高さ	15.130m			

既存面積表				
棟番号・施設名	階数	建築面積(㎡)	延床面積(㎡)	
① 管理教室棟	4	1,031.09	4,087.07	
② 特別教室棟	4	368.60	1,474.40	
渡り廊下	4	60.00	240.00	
③ 特別教室棟	4	165.30	661.20	
渡り廊下	4	6.60	26.40	
④ 給食室	1	150.40	150.40	
⑤ 教室棟	3	191.37	574.11	
渡り廊下	3	11.00	33.00	
⑥ 販売	1	32.00	32.00	
⑦ 農具倉庫	1	10.00	10.00	
⑧ プール専用付属室	1	47.95	47.95	
⑨ 物品倉庫	1	28.00	28.00	
⑩ 武道場	1	349.70	349.70	
⑪ 便所	1	15.36	15.36	
⑫ 更衣・便所	1	42.00	42.00	
⑬ 放送室	1	3.24	3.24	
⑭ 体育倉庫	1	35.00	35.00	
⑮ 屋内運動場	1	1,015.95	1,015.95	
⑯ 弓道場	1	48.60	48.60	
⑰ ポンプ室	1	21.00	21.00	
⑱ 温室	1	25.61	25.61	
Ⓐ 渡り廊下	1	18.75	-	
Ⓑ 渡り廊下	1	76.92	-	
既存建物面積 合計		3,754.44㎡	8,920.99㎡	



求積図

増築部分1階 求積図 1:200

既存 管理教室棟

増築部分2～4階 求積図 1:200

既存 管理教室棟

①	$4.750 \times 2.100 = 9.97$	④	$9.375 \times 1.550 = 14.53$	⑦	$4.875 \times 1.550 = 7.55$
②	$2.900 \times 3.250 = 9.42$	⑤	$2.900 \times 3.250 = 9.42$	Ⓐ	$3.050 \times 0.550 = 1.67$
③	$7.300 \times 3.250 = 23.72$	⑥	$2.800 \times 3.250 = 9.10$		
解体部分床面積：① = 9.97 m ²					
増築部分床面積：1階：② + ③ + ④ = 47.67 m ² 2～4階：(⑤ + ⑥ + ⑦) × 3 = 78.21 m ² 延床面積：125.88 m ²			エレベーターの昇降路の部分：② + ⑤ × 3 = 37.68 m ²		
増築部分建築面積：② + ③ + ④ + Ⓐ = 49.34 m ²			容積対象床面積：88.20 m ²		

株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖園 周一郎 印	東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事	
	工事等概要・付近見取図・ 配置図・求積表	A-06
	鹿児島市建設局建築部建築課	

工事区分 増築 エレベーター・トイレ等

	建 築	機 械	電 気	備 考
外 部 仮 設 足 場	○			
外 部 改 修 ・ 塗 装	○			
室 内 仕 切 壁	○			
仮 設 仕 切 り 壁	○			
天 井 改 修	○			
内 部 足 場	○			
天 井 点 検 口 （ 開 口 ・ 開 口 補 強 共 ）	○			
天 井 開 口 ・ 開 口 補 強 （ 照 明 器 具 ）	○			
天 井 開 口 ・ 開 口 補 強 （ 天 井 換 気 扇 ）	○			
建 具	○			
犬 走 り は つ り 仕 上 げ	○			
設 備 配 管 ・ ダ ク ト 用 ス リ ー プ （ 地 中 梁 ・ 壁 等 ）		○	○	
同 上 用 開 口 補 強	○			
衛 生 器 具 ・ 手 す り 等 の 裏 板		○		
壁 付 け 衛 生 器 具 周 り の コ ー キ ン グ		○		
屋 内 消 火 栓		○		
誘 導 標 識	○			

工事区分 既存 廊下流し改修

流し本体（排水金具含む）	○			
配管接続、既存配管撤去		○		
天井改修	○			
内部足場	○			
仮設流し台設置		○		
1 階土間はつり復旧	○			

工事区分 屋外

仮囲い	○			
仮設トイレ設置	○			
アスファルトはつり・補修	○	○	○	
植栽・花壇 撤去	○			
設備基礎	○	○	○	

石綿含有建材の対象物及び処理方法について

◎石綿含有建材の除去作業について

1. 既存建材における石綿含有の有無
- ・ 未調査（以下の既存建材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）

◎ 調査済（ ◎有 ・ 無 ）

【調査箇所】

外部：庇鼻吹付タイル、外壁・軒裏アクリルリシン

内部：天井パルプセメント板、内壁A E P塗装、床長尺シート 計 6 か所

【含有箇所】

外部：該当なし

内部：天井パルプセメント板、内壁A E P塗装、床長尺シート 計 3 か所

2. 法令等の遵守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。

大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。

また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

3. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

4. 施工計画

除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出すること。

施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。

5. 除去作業

1) 共通事項

- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
- ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- ⑥ 除去した石綿含有建材及び養生材、作業衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2) 除去作業（石綿含有仕上塗材等）

- ① 除去工法は、以下の処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
 - ・剥離剤併用手工具ケレン工法
 - ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

3) 除去作業（ケイ酸カルシウム板第1種を除く石綿含有成形板）

- ① 切断、破砕等することなくそのまま取り外すこと。
- ② 切断等以外の方法により作業実施が技術上困難なときは、薬液等により湿潤化すること。
- ③ 除去完了後、作業場内をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。

6. その他

石綿含有仕上塗材等の除去作業中は、石綿粉塵濃度を測定すること。

既存棟 外部仕上表						
昇降口屋根	モルタル防水(撤去)	犬走り	モルタルコテ押え (撤去)	樋	笠樋：VU100φ V.P.、銅み金物・重鉛メッキ OP (撤去) ルーフトレン：鋼鉄製コールタール焼付(撤去)	
昇降口底	庇 鼻：モルタル剛毛引き 吹付タイル(撤去) 庇上裏：ビニトップスバンドレル張り(撤去)	側 溝	コンクリート側溝 W=250(撤去) スチール製グレーチング(撤去)	建具	昇降口：アルミサッシ (撤去) 廊 下：アルミサッシ (撤去・新設)	
昇降口外壁	一 般：モルタル剛毛引き アクリルリシン吹付け(撤去) 正面側：47角モザイクタイル張り(撤去)	ポーチ	47角磁器モザイクタイル張り(撤去) 鋼製マット(撤去)			
昇降口巾木	モルタルコテ押え H=300、塩ビ目地 t=10(撤去)	廊下腰壁	既存撤去後、コンクリート壁新設の上複層塗材E			

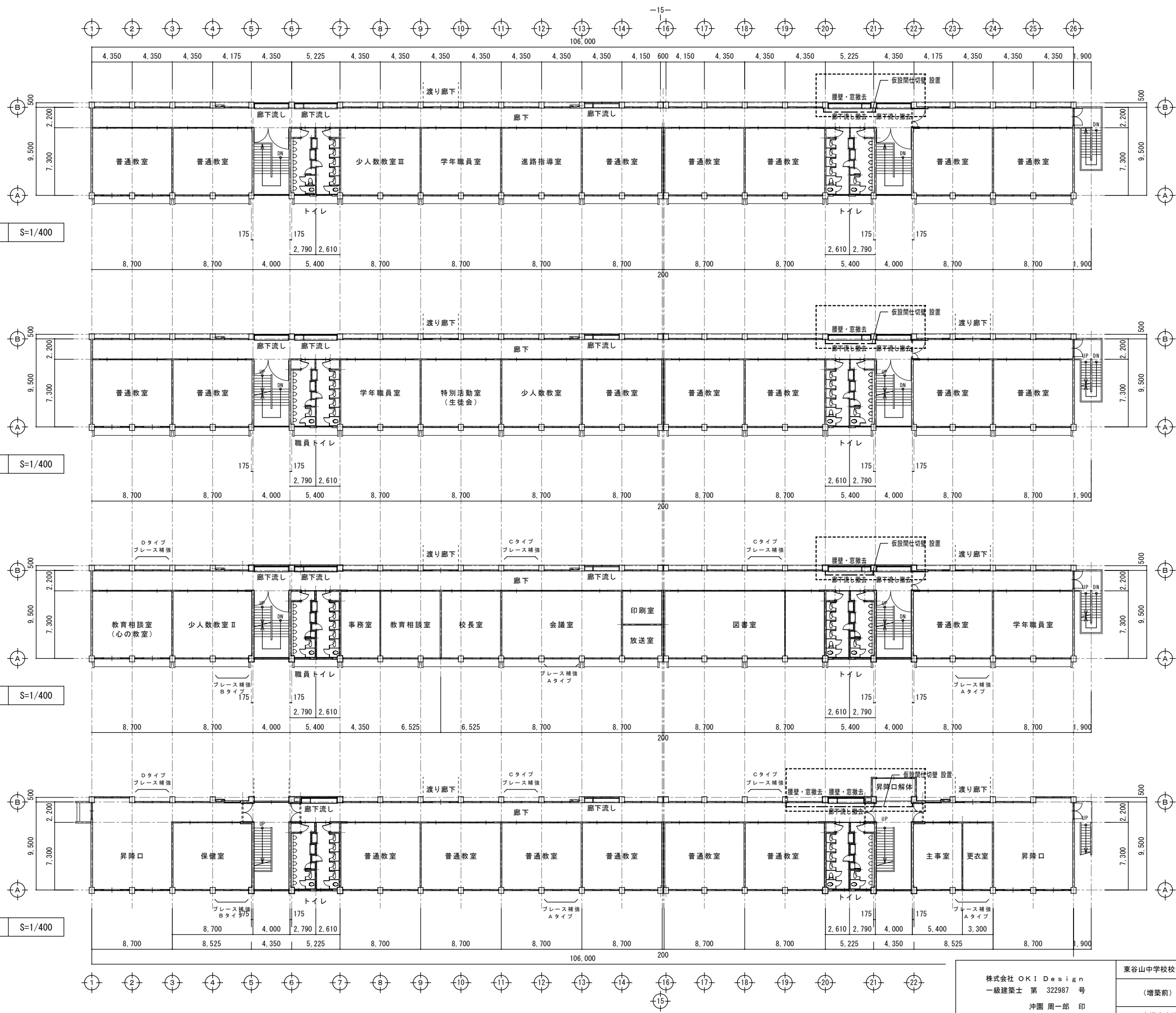
増築棟 外部仕上表 ※全て新設						
屋 根	t=25 硬質毛毛セメント板 ゴムアスファルトーフィングの上 t=0.5 フッ素樹脂塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 縦ハゼ葺き	犬走り	コンクリート金コテ押え	樋	笠樋：φ125 硬質強化ビニル管 ステンレス掘金物 箱樋：W=250 アルミ曲げ加工、横引ドレン	E X P、J アルミ製 (1時間耐火)
軒 裏	t=6.0 無石棉ケイ酸カルシウム板張りの上 E P G塗装	側 溝	コンクリート側溝 W=250 (スチール製グレーチング 細巾 ノンスリップ T-2 枠共) コンクリート側溝 W=150 (ステンレス製グレーチング 細目 ノンスリップ 枠共)	建具	アルミサッシ (A L C用)	
外 壁	A L C板 t=120 縦張り(耐火構造) 下地処理(C-1)の上 複層塗材E	ポーチ	コンクリートコテ押え モルタル下地 磁器質タイル張り			
巾 木	コンクリート打放補修					

既存棟 内部仕上表									
室 名	床	巾 木	H	腰 壁 ・ 壁		天 井	廻り縁	天井高	備 考
昇降口 (解体)	踏込部：47角モザイクタイル張り(撤去) 上り底：人造石研出し、真鍮目地棒(撤去) 一般：ビニル床シート張り(撤去)	踏込部：47角モザイクタイル張り(撤去) 一般：人造石研出し(撤去)	150	腰 壁	モルタルコテ押え H=1,800 V.P.塗装(撤去)	バルブセメント板 910×910×6 目透し A E P塗装(下地共撤去)	木製 O P	2,900 2,750	ビニールマット(撤去) 下足箱(撤去) 傘立て(撤去) 天井点検口(撤去)
				壁	モルタルコテ押え A E P塗装(撤去)				
廊 下 (改修前) ↓	ビニル床シート張り(撤去)	モルタルコテ押え V.P.塗装(塗装撤去)	90	腰 壁	モルタルコテ押え H=1,800 V.P.塗装(塗装撤去)	バルブセメント板 910×910×6 目透し A E P塗装(下地共撤去)	木製 O P (撤去)	2,750	人研ぎ廊下流し(撤去) 天井点検口(撤去) ステンレス製雑巾掛け(移設)
				壁	モルタルコテ押え A E P塗装(塗装撤去)				
廊 下 (改修後) ※全て新設	t=2.0 防滑性ビニル床シート張り	下地調整の上E P G塗装	90	腰 壁	下地調整の上E P G塗装	L G S下地 t=9.5 化粧石膏ボード張り	木製 O P	2,750	廊下流し(新設) 天井点検口(新設)
				壁	下地調整の上E P G塗装				

増築棟 内部仕上表 ※全て新設									
室 名	床	巾 木	H	腰 壁 ・ 壁		天 井	廻り縁	天井高	備 考
昇降口	一般：コンクリート金コテ押え t=2.0 防滑性ビニル床シート張り 管脱：コンクリートコテ押え モルタル下地 磁器質タイル張り	ビニル巾木	90	L G S下地 t=9.5 耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り E P G塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面t=50 グラスウール敷設		L G S下地 t=9.5 化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製	2,600～2,900	下足箱 掃除具入れ 傘立て ステンレス床見切 誘導標識 天井点検口 エキスパンションジョイント (アルミ製)
バリアフリー	コンクリート金コテ押え t=2.0 ビニル床シート (トイレ用) 張り	床シート巻上げ	100	L G S下地 t=9.5 耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り E P G塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設 面台：L G S下地 t=12 耐水合板の上 t=3.0 高強度メラミン不燃化粧板張り		L G S下地 t=9.5 化粧石膏ボード張り	塩ビ製	2,600	ビクトサイン 天井点検口 床点検口
車いす対応トイレ	コンクリート金コテ押え t=2.0 ビニル床シート (トイレ用) 張り	床シート巻上げ	100	L G S下地 t=9.5 耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り E P G塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設 面台：L G S下地 t=12 耐水合板の上 t=3.0 高強度メラミン不燃化粧板張り		L G S下地 t=9.5 化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製	2,600	ビクトサイン 天井点検口
廊 下	コンクリート金コテ押え t=2.0 防滑性ビニル床シート張り	ビニル巾木	90	L G S下地 t=9.5 耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り E P G塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設		L G S下地 t=9.5 化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製	2,600	天井点検口 エキスパンションジョイント (アルミ製)
E V (昇降路)	コンクリート金コテ押えの上 ケイ酸質系塗布防水	-	-	ビット立上り：コンクリート打放しの上 ケイ酸質系塗布防水 昇降路内部：A L C板 t=120 縦張り		-	-	-	
地下ビット	コンクリート金コテ押えの上 ケイ酸質系塗布防水	-	-	コンクリート打放しの上 ケイ酸質系塗布防水		コンクリート打放し	-	-	ステンレス製タラップ

特 記 事 項	1. 解体撤去工事	3. 改修部分 塗装工事 (建築改修工事共通仕様書平成31年版に依る)	4. その他	
	・改修建物の撤去工事については、躯体及び他の仕上材に悪影響を及ぼさない様に注意すること	・鉄 面：素地ごしらえは、R B種の上、錆止め塗料B種、S O P塗工程B種	・集成障フローリングは、J A S複合フローリング検定合格品とし、雄突上部7mmとすること	・ステンレス仕様：特記なき限り、室内はSUS430のH L程度、屋外はSUS304の#400程度を原則とする
	・部分的な仕上材撤去については、一通り区画の仕上材を専用切断機により切断し施工を行う	・木 面：素地ごしらえは、R B種の上、S O P塗り工程B種	・単層フローリング下地は、構造用合板 (J A S品、針葉樹1種2級C-D) を使用する	・木部、モルタル面とも出隅部は面取りを行うこと
	・既設取付金具については、取付面の下地部分を撤去し、金物をコンクリート面で切断後	・プラスター面：素地ごしらえは、R B種の上、シーラー下地、E P G工程B種	・厚9.5mm化粧石膏ボードは準不燃材料仕様とする	・フローリングの研磨剤樹脂塗装は、一液湿気硬化型4回塗りとすること(各工程はメーカー仕様による)
	・錆止め塗料 (J I S-K-5622) を塗布して部分補修を行う	・モルタル面：素地ごしらえは、R B種の上、シーラー下地、E P G工程B種	・各家具の背面 (各脂床より1m以内) は、防蟻処理を行うこと	・ライン色、ライン優先順位については、監督員と協議の上決定すること
	2. 左官工事	・屋 根 面：屋根用塗料 (フッ素)	・ラワン合板は1種とする	・ラ引引きは樹脂樹脂塗装2回目の後に行うこと (ラ引引き完了後3回目、4回目の樹脂樹脂塗装)
	・金物、鉄筋、錆部、躯体面より番線・金物の出ている場合、躯体面より切断の上十分銷落としを行い 防錆処理を施して復旧する		・室内の天井・床下地施工については、電気設備等の配線ルート等を事前に打合せの上、ルートを確保する下地施工とすること	・体育器具の詳細は各メーカー仕様によるが、施工に先立って監督員の承諾を得ること ・更衣室の換気扇は設備工事とする
				・フロリングの素地ごしらえ(研磨)については、『屋内スポーツフロアの企画から維持管理まで(公益財団法人 日本体育施設協会 屋内施設フロア部会)』による

左官工事 複層仕上塗材 リシン吹付	塗装工事 E P G：つや有り合成樹脂エマルションペイント C L：クリアラッカー U C：ウレタン樹脂ワニス S O P：合成樹脂調合ペイント D P：耐候性塗料塗り (3級)	認定番号 t=9.5 化粧石膏ボード t=9.5 耐水石膏ボード (ジージング石膏ボード) t=6.0 無石棉ケイ酸カルシウム板 t=5.5 難燃化粧板 (縁付シオジ板目有孔板) t=5.5 ラワン合板 (難燃材)	シックハウス対策 本工事の内装部分及び天井裏において使用する下記材料はF☆☆☆☆とする 表面材：クロス、塗装材、フローリング、化粧合板、その他木質建材 下地材：構造用パネル、集成材、L V L、M D F、パーティクルボード、合板、その他木質建材 接着剤：上記着工に用いる全ての接着剤 ※上記は国土交通大臣認定を受けた材料とする ・換気扇は設備工事とする	※ 水道法施行令第5条に基づき施工する ※ 下水道法10条第1項及び第3項に基づき施工する ※ 電気設備については電気事業法に基づき施工する ※ 法37条の指定建築材料は、すべて日本工業規格又は日本農林規格に適合したものを使用する ※ 配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の5に基づき施工する ※ 壁及び天井の室内に面する部分(廻り縁、窓台、その他これらに類する部分は除く)の仕上はすべて難燃材料以上とする
木材の樹種は下記の通りとする 構造材 杉 造作材 メルサウ：屋内運動場 (開閉式木製格子) 集成材 (タモ)：屋内運動場 (カーテンボックス)、控室 (階段) 杉上小節：上記以外 (巾木、壁見切縁、頓縁) 桧上小節：建具枠	認定番号 耐火構造 認定番号 屋根30分耐火構造 塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板 瓦棒葺き F P 0 3 0 R F-0 0 1 0 (耐火野地板等 t=25以上) 柱1時間耐火構造 t=120 A L C板 + t=25ロックウール吹付 F P 0 6 0 C N-9 4 5 8 梁1時間耐火構造 t=120 A L C板 + t=25ロックウール吹付 F P 0 6 0 B N-9 3 5 6 梁1時間耐火構造 t=25ロックウール吹付 F P 0 6 0 B N-9 4 0 8 外壁1時間耐火構造 t=120 A L C板 F P 0 6 0 N E-9 2 9 3 間仕切り壁1時間耐火構造 t=120 A L C板 告示1399号 床1時間耐火構造 t=150 鉄筋コンクリート造 告示1399号 E V乗場戸 遮煙性能付 特定防火設備 C A S-1 2 3 2 (2)	ウレタン塗膜防水仕様 ウレタン塗膜防水 特定化学物質無配合 (一液ウレタン) とする。 但し、特定対象材料については「特定化学物質及び四アルキド鉛等作業主任者」の常駐とする。 厚労省が定める特化物予防規則に準ずる。	株式会社 O K I D e s i g n 一級建築士 第 322987 号 沖園 周一郎 印	東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体内工事 仕上表 A-O8 鹿児島市建設局建築部建築課



4階 平面図 S=1/400

3階 平面図 S=1/400

2階 平面図 S=1/400

1階 平面図 S=1/400

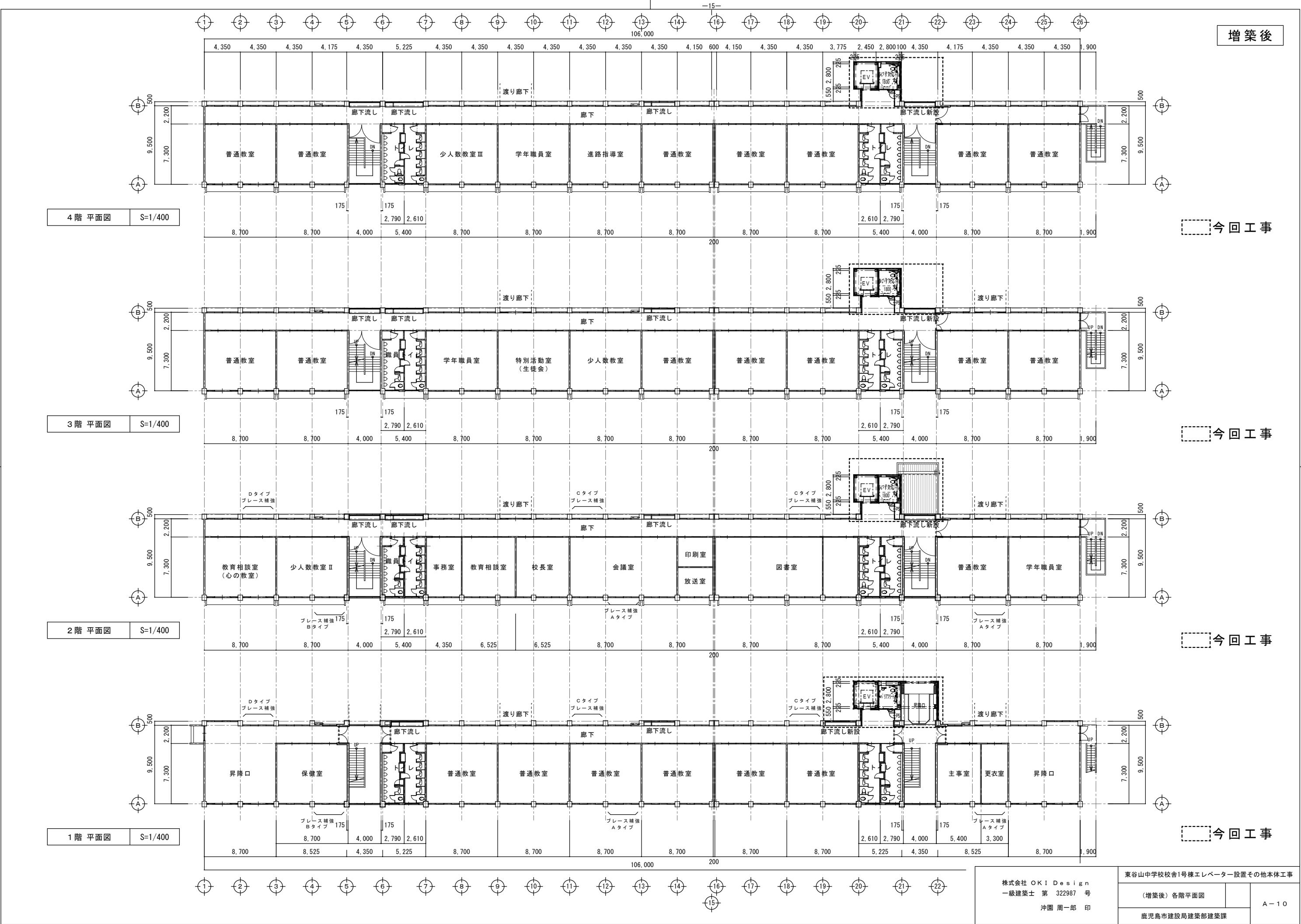
既存

今回工事

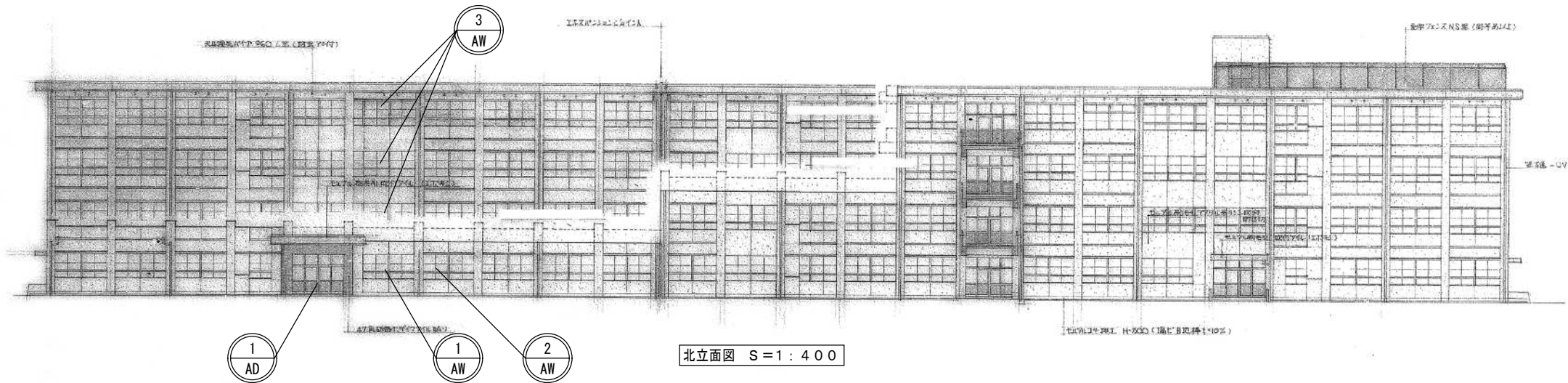
今回工事

今回工事

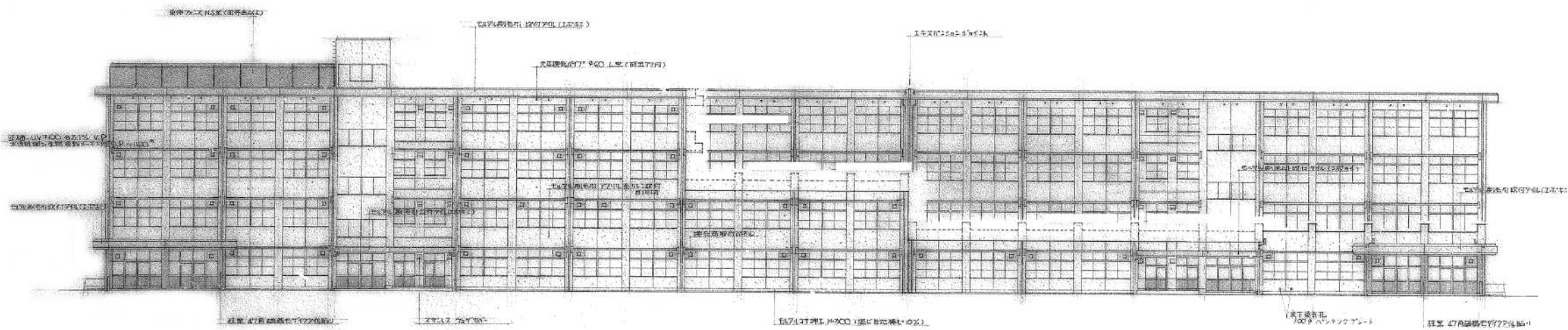
今回工事



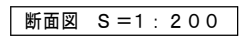
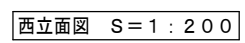
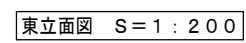
記 号	A D-1	昇降口	1ヶ所	A W-1	廊下	1ヶ所	A W-2	廊下	1ヶ所	A W-3	廊下	3ヶ所						
※ 図	※撤去			※撤去			※撤去			※撤去								
型 式	両袖・ランマ付引分けアルミドア			2連2段 引違い窓			2連2段 引違い窓			袖付 2連2段 引違い窓								
材 質	アルミ(下枠はスルス t=2.0)			アルミ			アルミ			アルミ								
仕 上	見 込 (mm)			見 込 (mm)			見 込 (mm)			見 込 (mm)								
ガ ラ ス	上部: t=6.8 網入透明ガラス 下部: t=3.0 7mm 網入透明ガラス			t=3.0 透明ガラス			t=3.0 透明ガラス			t=5.0 透明ガラス								
金 物	付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式								
備 考	三方7mm 網線 25×55、下枠スルス t=2.0			7mm 網線 25×55			7mm 網線 25×55			7mm 網線 25×55								

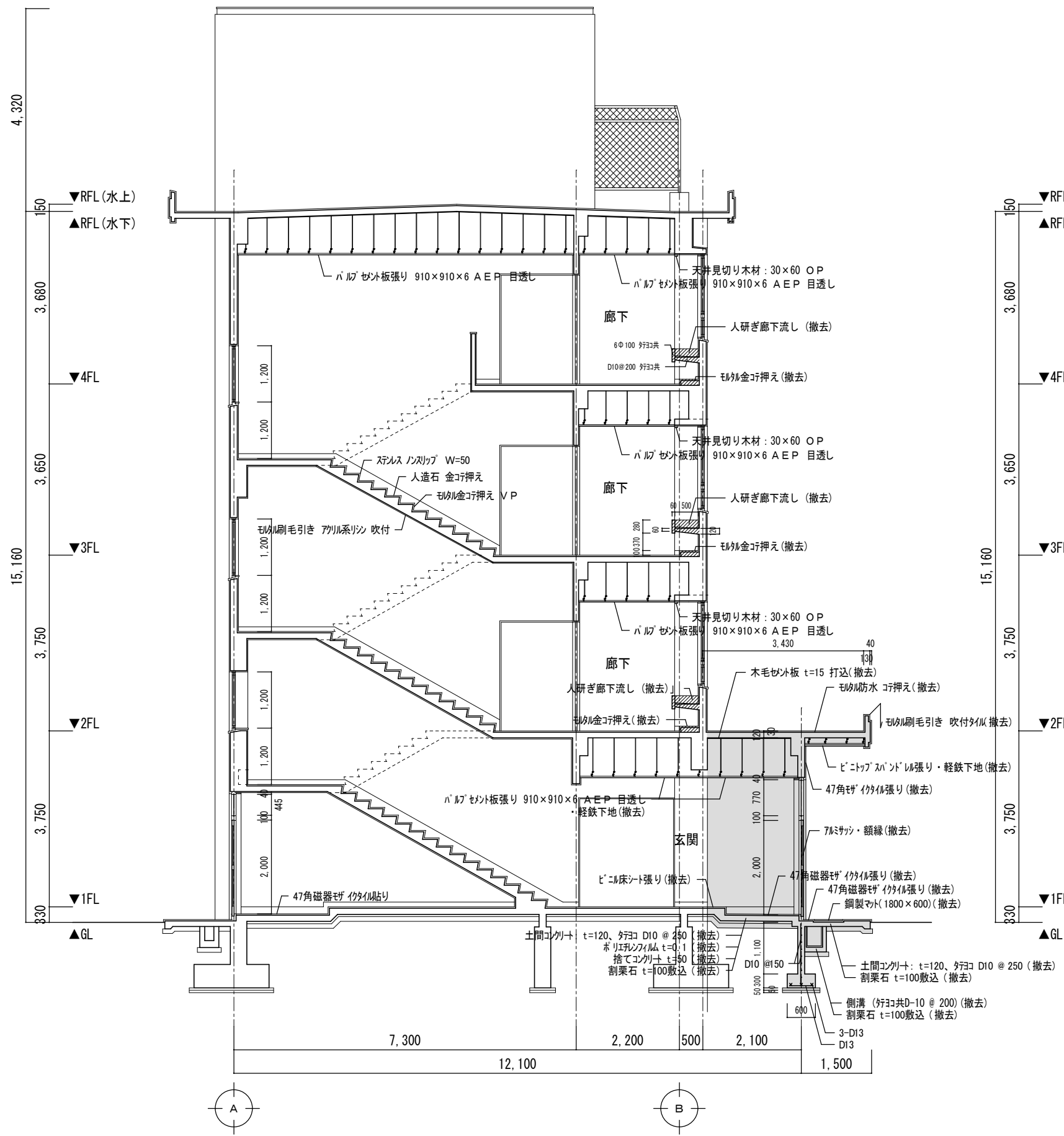


北立面図 S=1：400



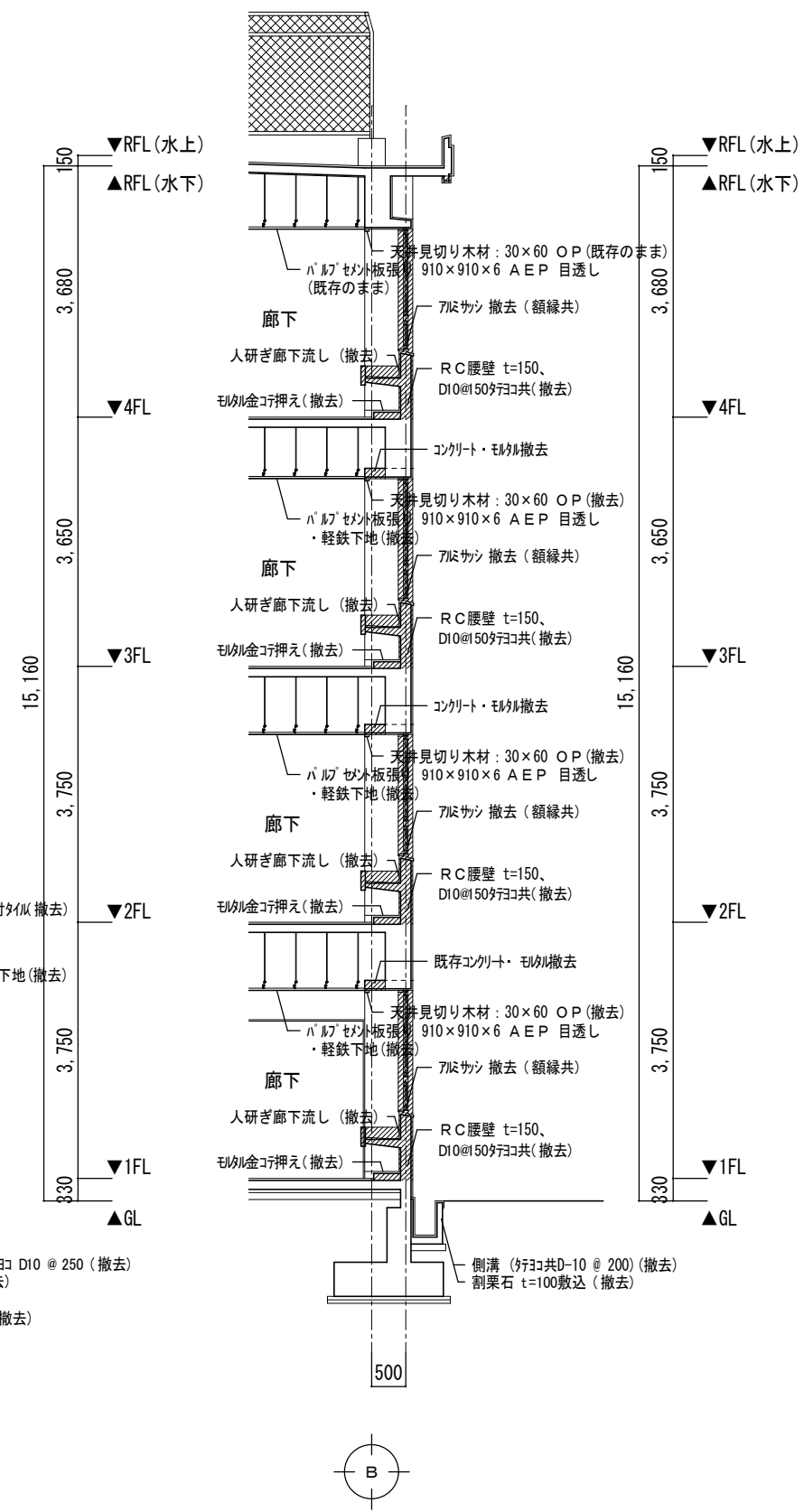
南立面図 S=1：400



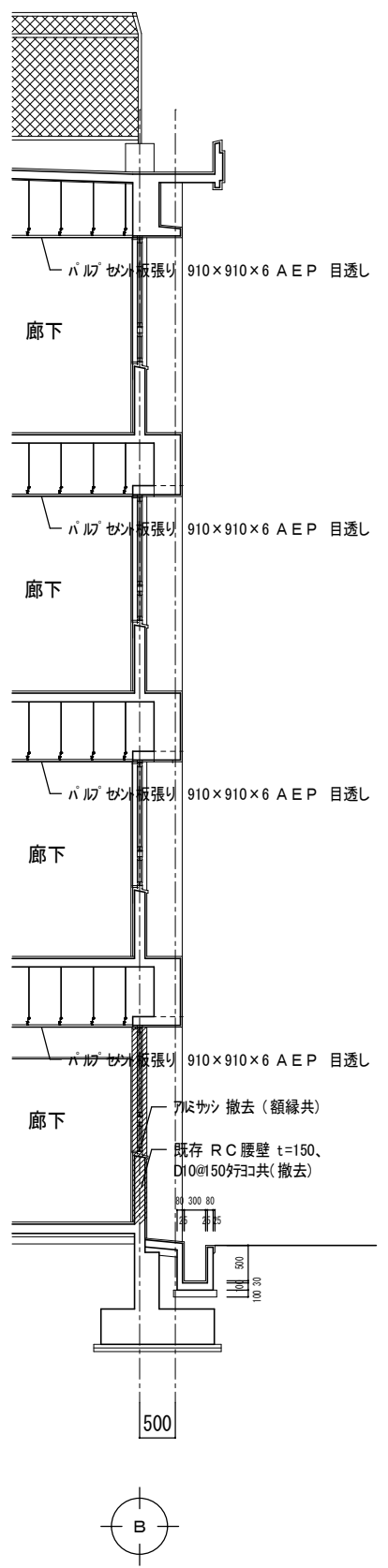


X21-X22通り間 矩計図 S=1:100

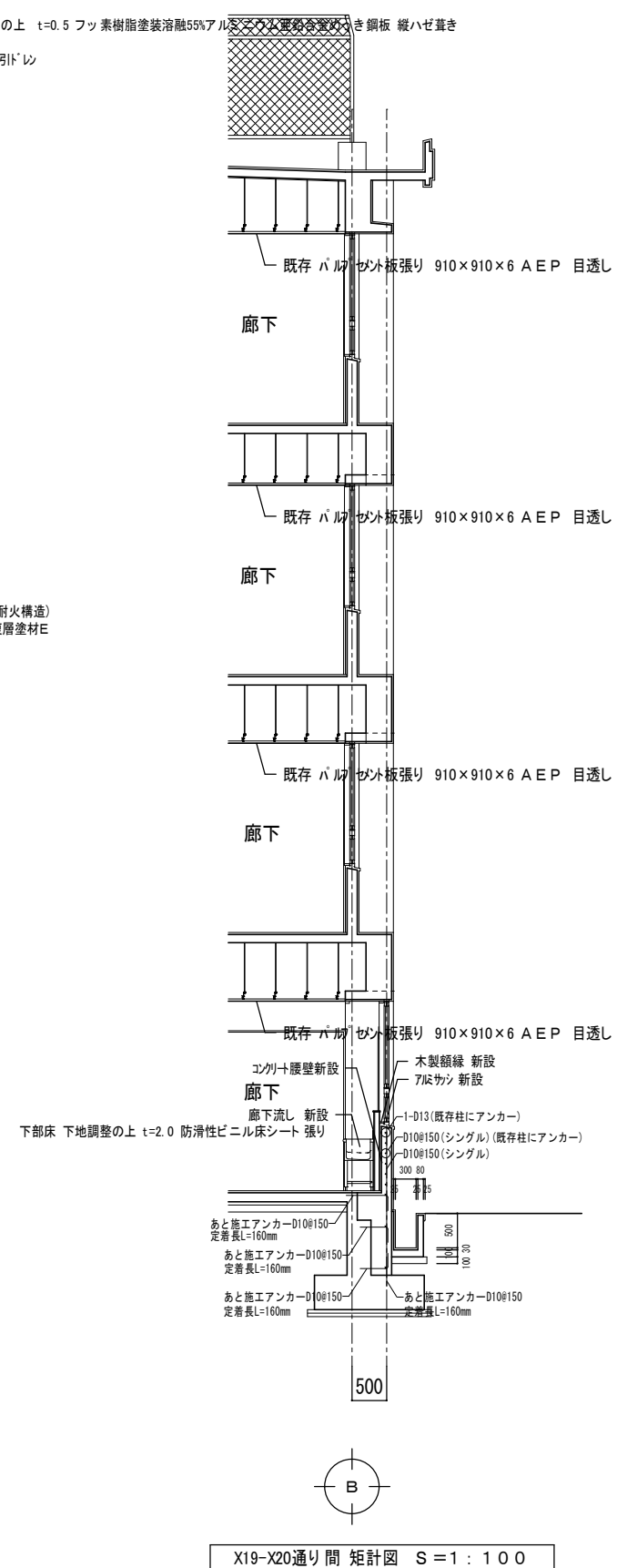
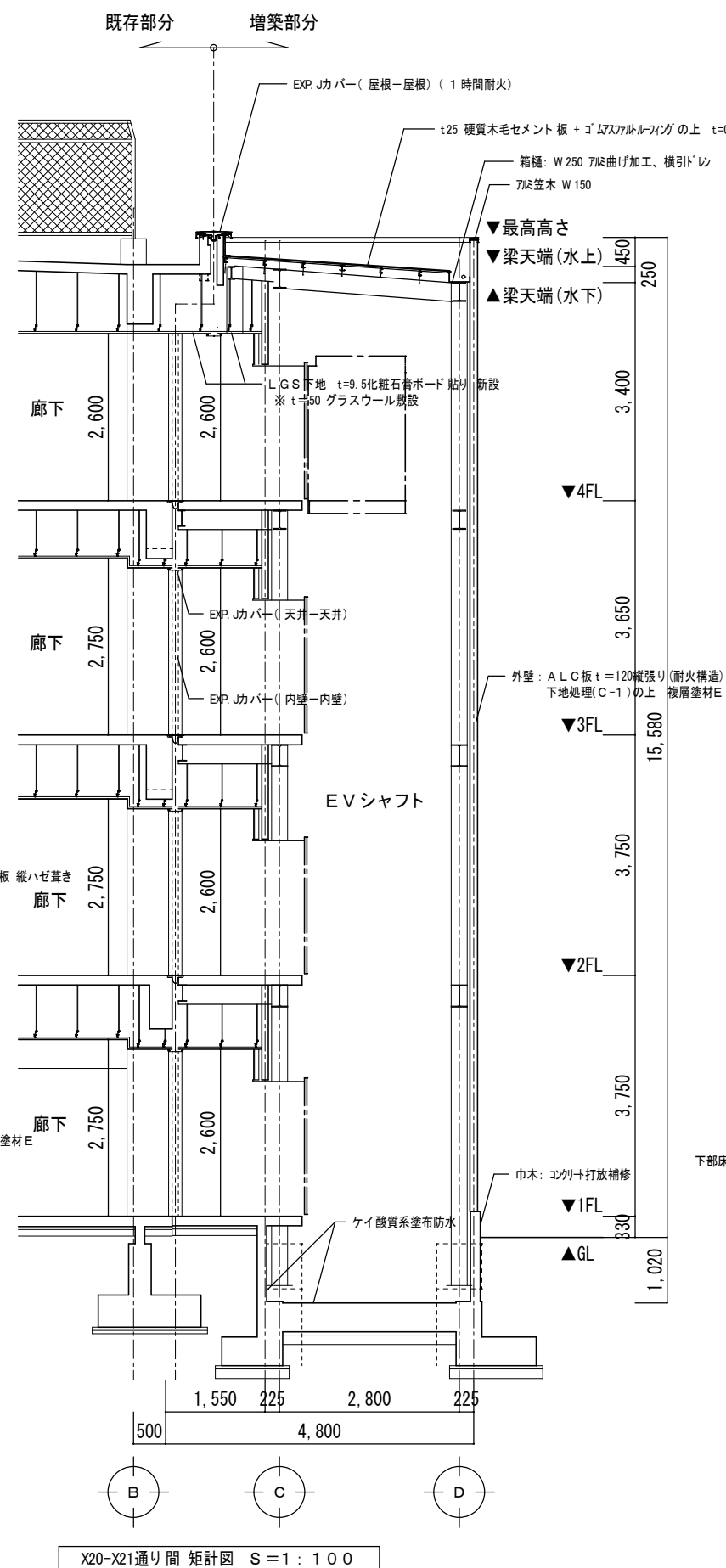
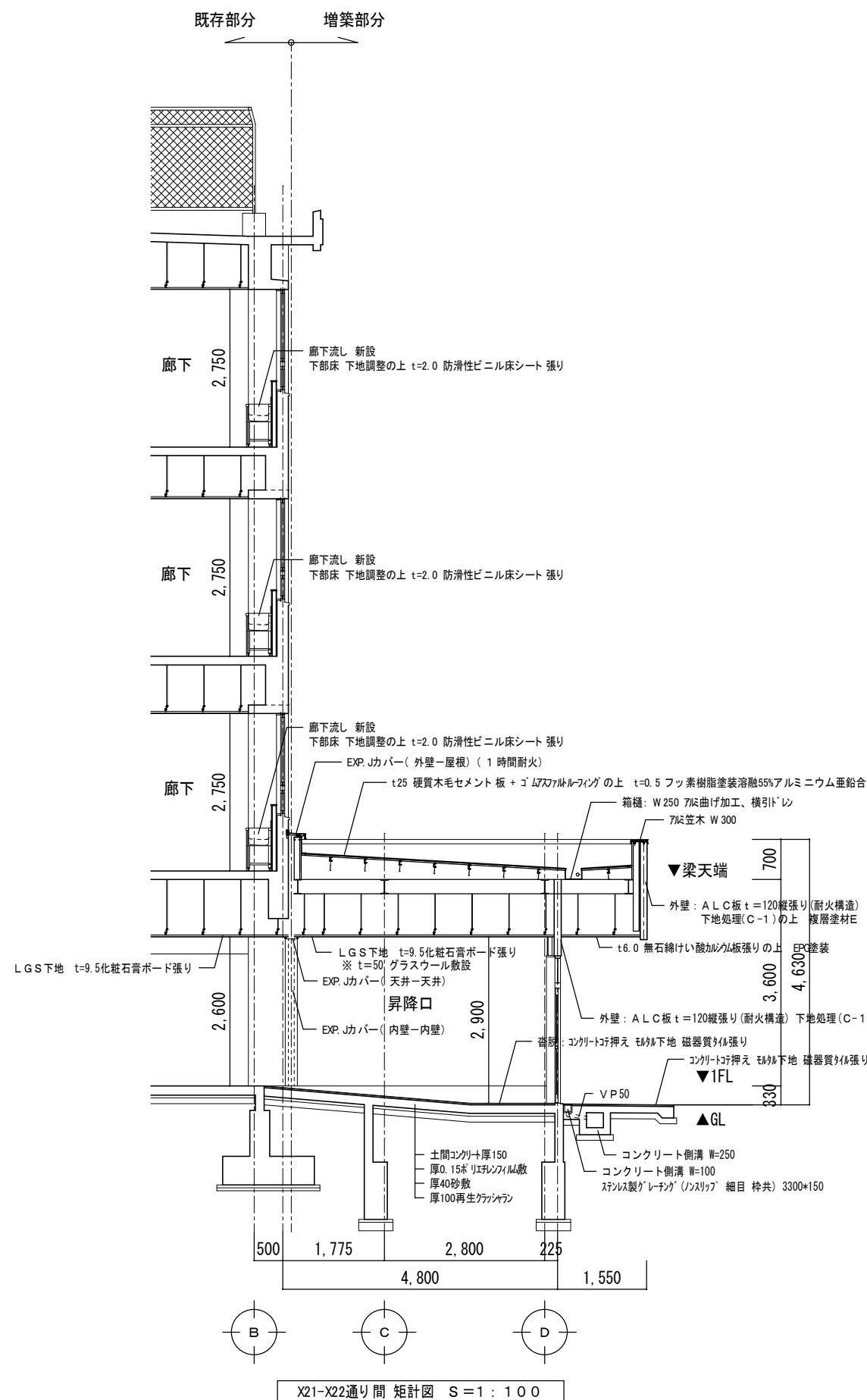
既存昇降口撤去範囲

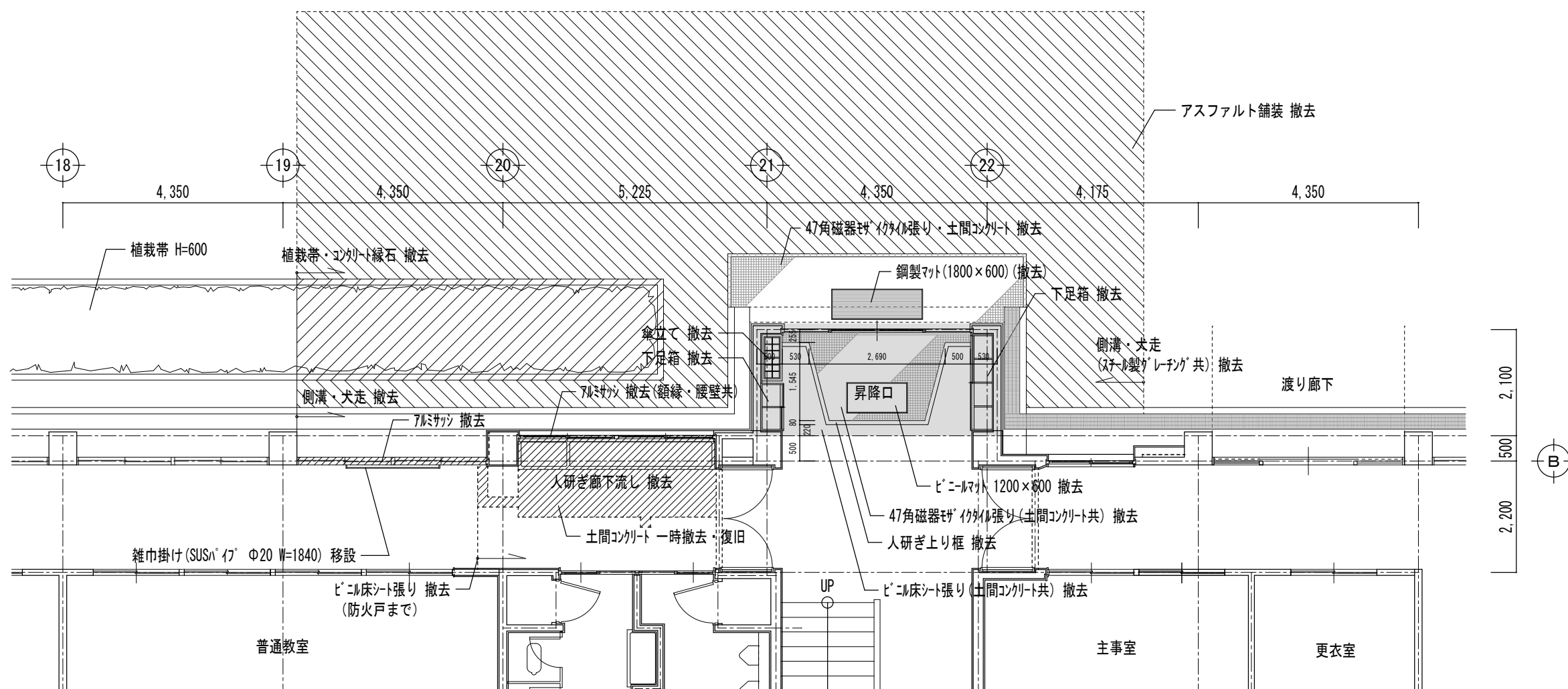
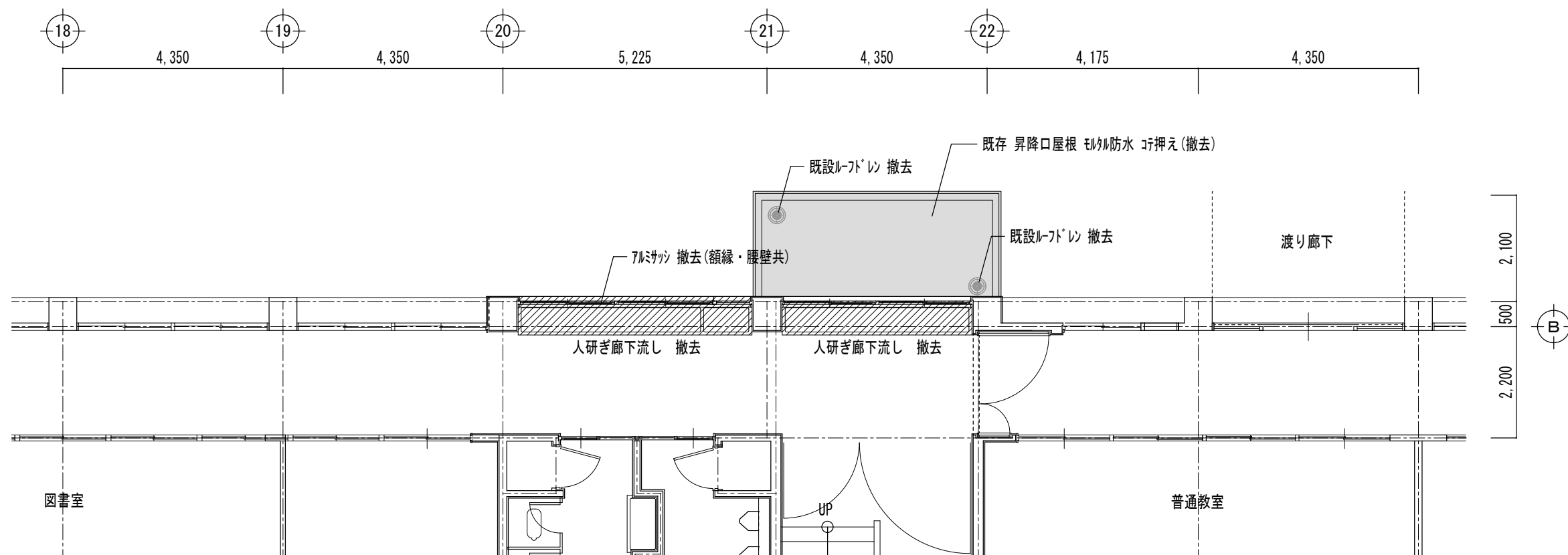


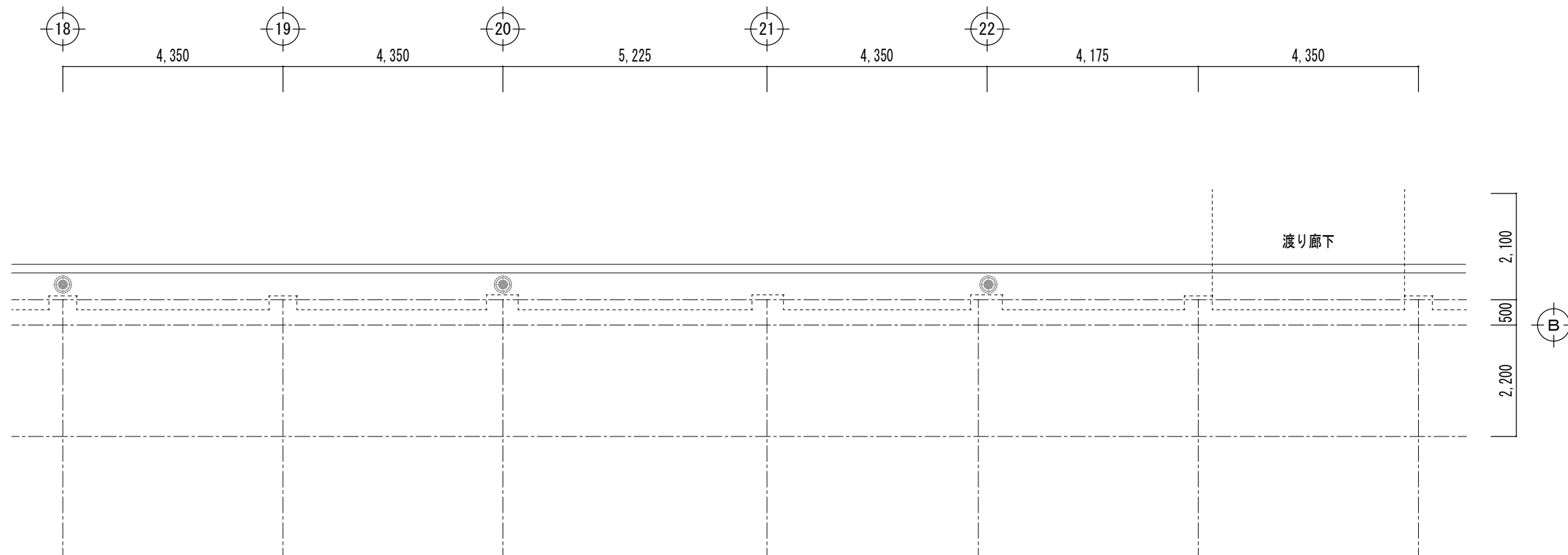
X20-X21通り間 矩計図 S=1:100



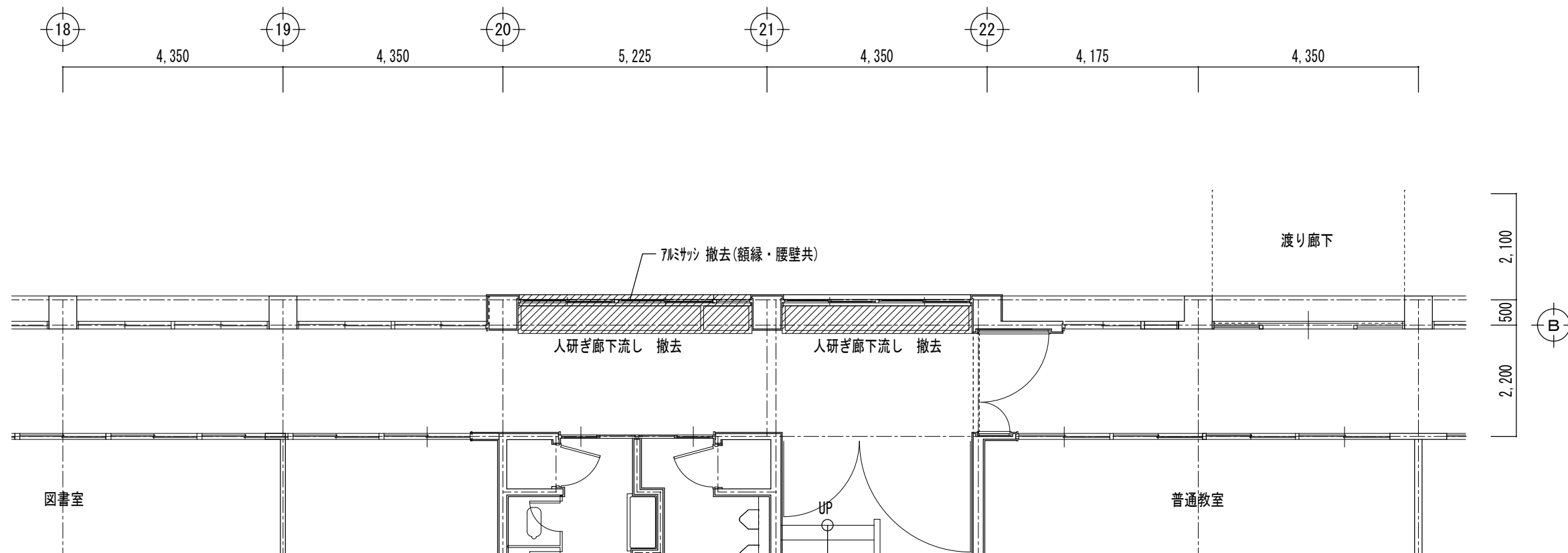
X19-X20通り間 矩計図 S=1:100







屋根伏図 S=1:100



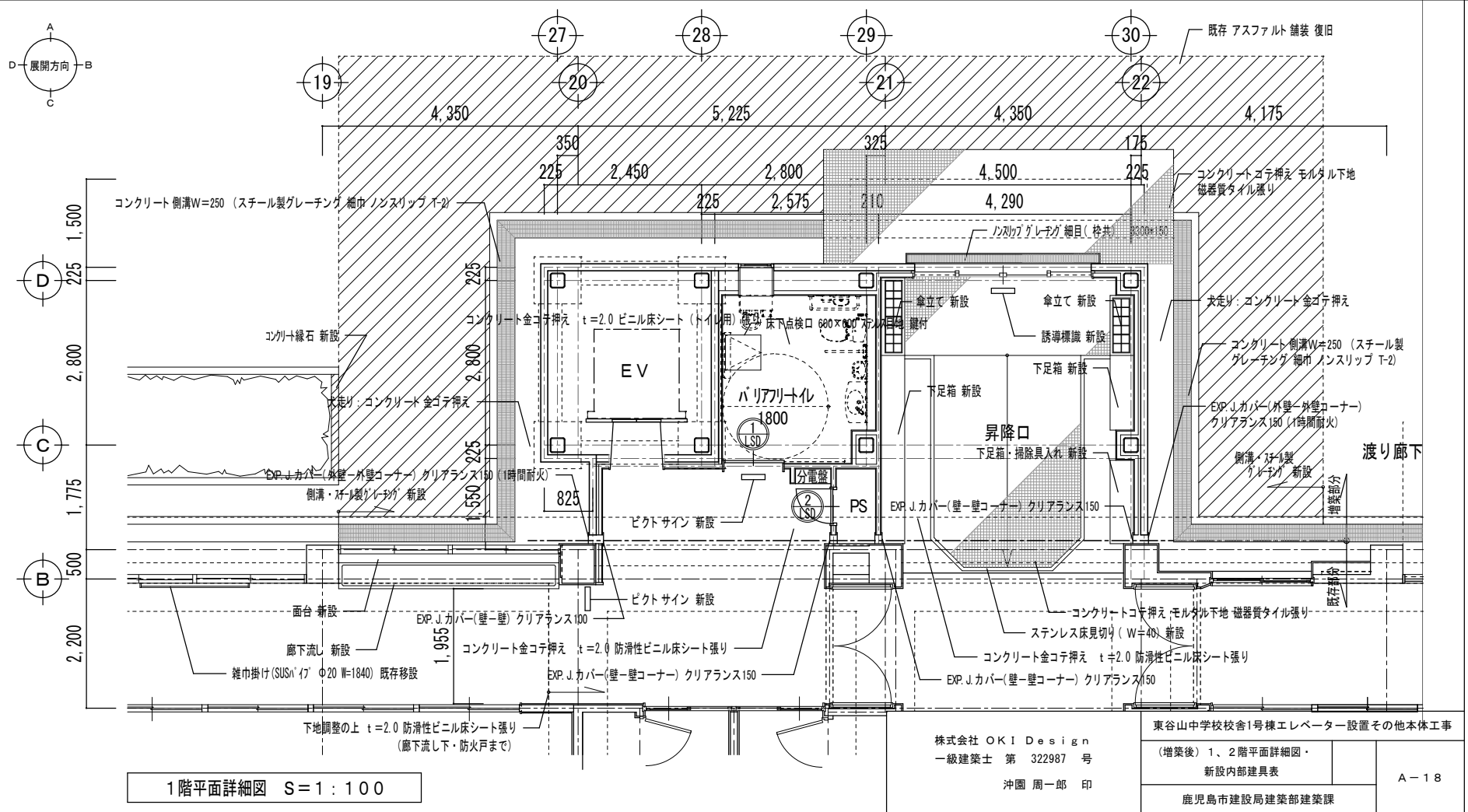
3・4階平面詳細図 S=1:100

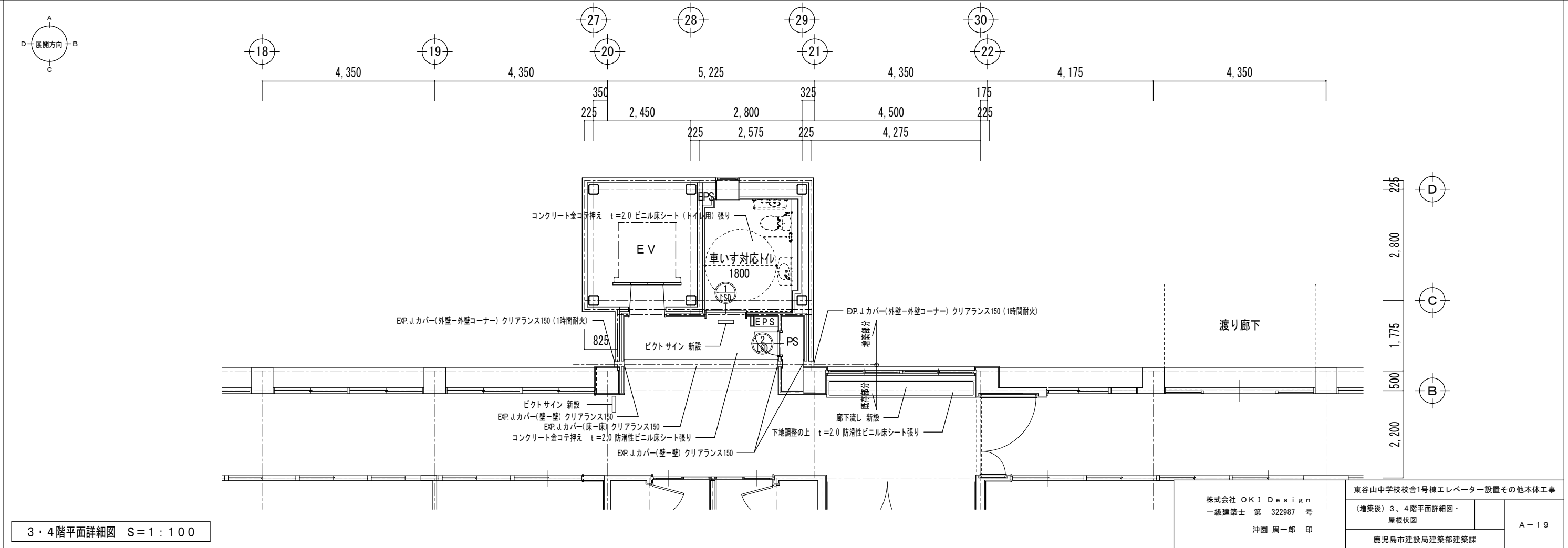
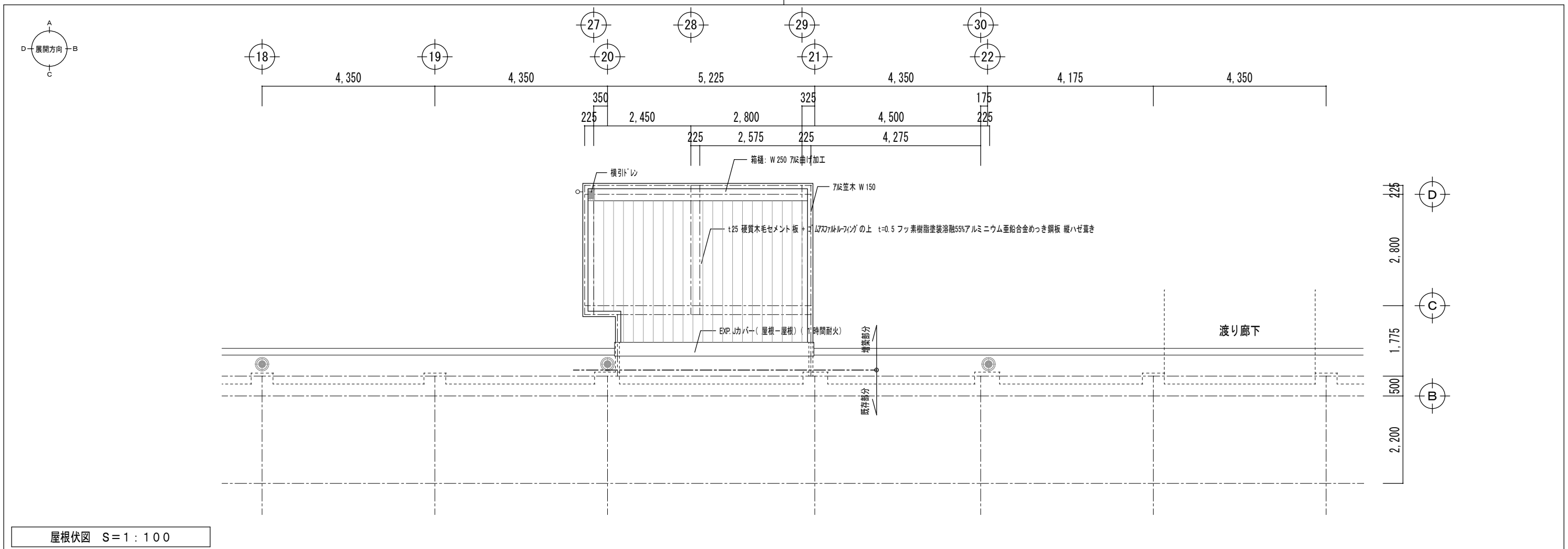
株式会社 OKI Design
一級建築士 第 322987 号
沖園 周一郎 印

東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事
(増築前) 3、4階平面詳細図・
屋根伏図
鹿児島市建設局建築部建築課

A-17

Figure 1 is a detailed plan view of the underground pit at a scale of 1:100. The diagram shows a rectangular pit with overall dimensions of 2,800 mm by 4,290 mm. The pit is divided into two main sections: the 'EVピット' (EV Pit) on the left and the '設備配管ピット' (Equipment/ piping Pit) on the right. The EV Pit section is 2,450 mm wide and 2,800 mm deep, while the Equipment/ piping Pit section is 4,500 mm wide and 2,800 mm deep. The pit is surrounded by a concrete wall with a thickness of 225 mm. The pit is located within the existing school building foundation, which is shown as a hatched area. The diagram also shows the location of the existing school building foundation, which is indicated by a dashed line. The pit is situated within the existing school building foundation, which is shown as a hatched area. The diagram also shows the location of the existing school building foundation, which is indicated by a dashed line. The pit is situated within the existing school building foundation, which is shown as a hatched area. The diagram also shows the location of the existing school building foundation, which is indicated by a dashed line.





増築棟 1階昇降口 展開図 S=1:100

増築棟 1階 昇降口 内部仕上表		
床	一般：コンクリート金コチ押え t=2.0 防滑性ビニル床シート張り 音脱：コンクリートコチ押え モルタル下地 磁器質タイル張り	FL-300±0
巾木	ビニル巾木	H90
腰壁	-	
壁	LGS下地 t=9.5耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り EPG塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設	
天井	LGS下地 t=9.5化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製 CH=2600~2900
備考	下足箱 掃除具入れ 傘立て ステンレス床見切 誘導標識 天井点検口 エキスパンションジョイント(アルミ製)	

増築棟 1～4階 バリアフリー・車いす対応トイレ 展開図 S=1:100

増築棟 1～4階 バリアフリー・車いす対応トイレ 内部仕上表		
床	コンクリート金コチ押え t=2.0 ビニル床シート(トイレ用)張り	FL±0
巾木	床シート巻上げ	H100
腰壁	面台：LGS下地 t=12 耐水合板の上 t=3高強度がシ不燃化粧板張り 腰壁：t=3高強度がシ不燃化粧板張り	
壁	LGS下地 t=9.5耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り EPG塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設	
天井	LGS下地 t=9.5化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製 CH=2600
備考	ビオケル 天井点検口 床下点検口(1階のみ)	

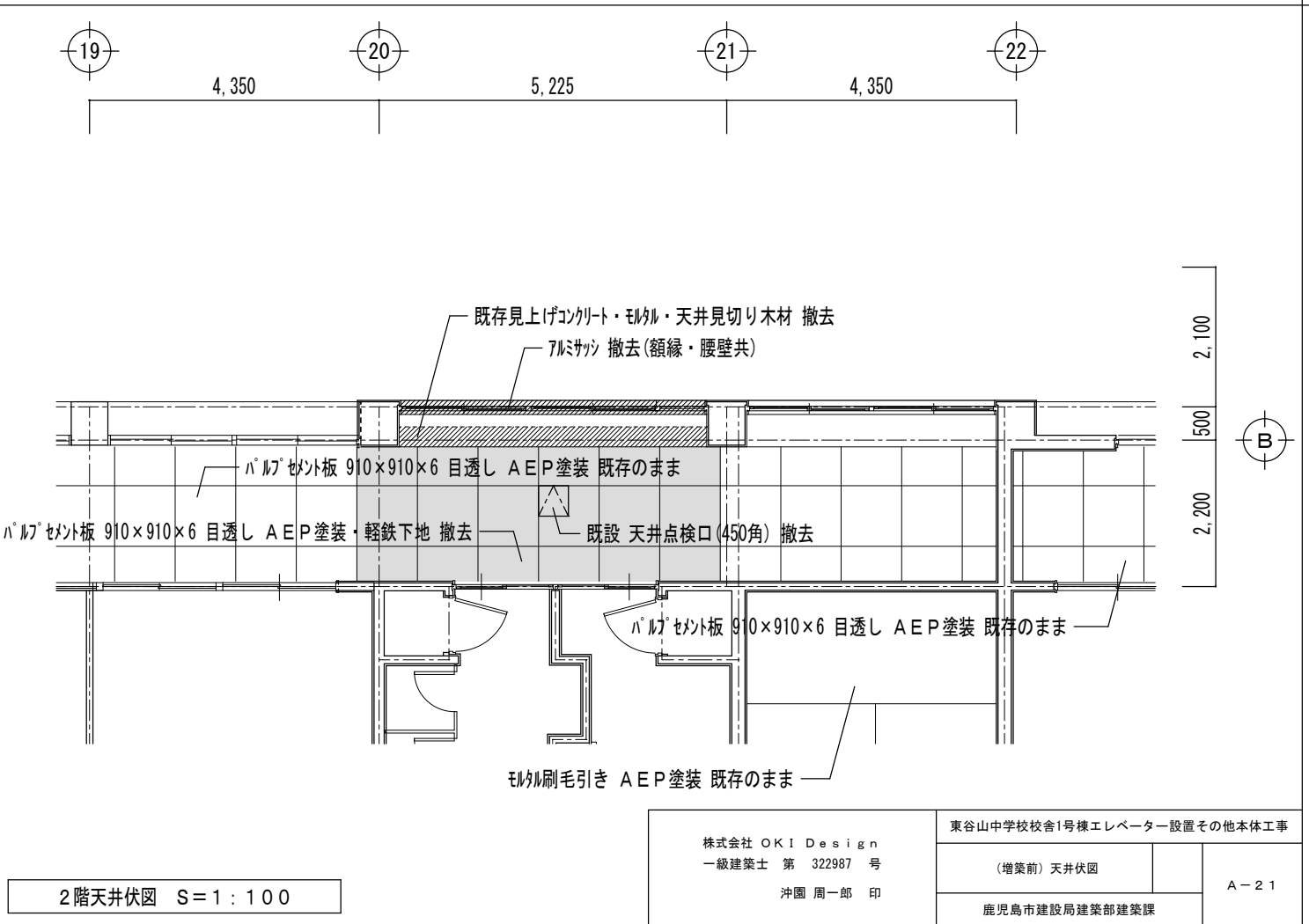
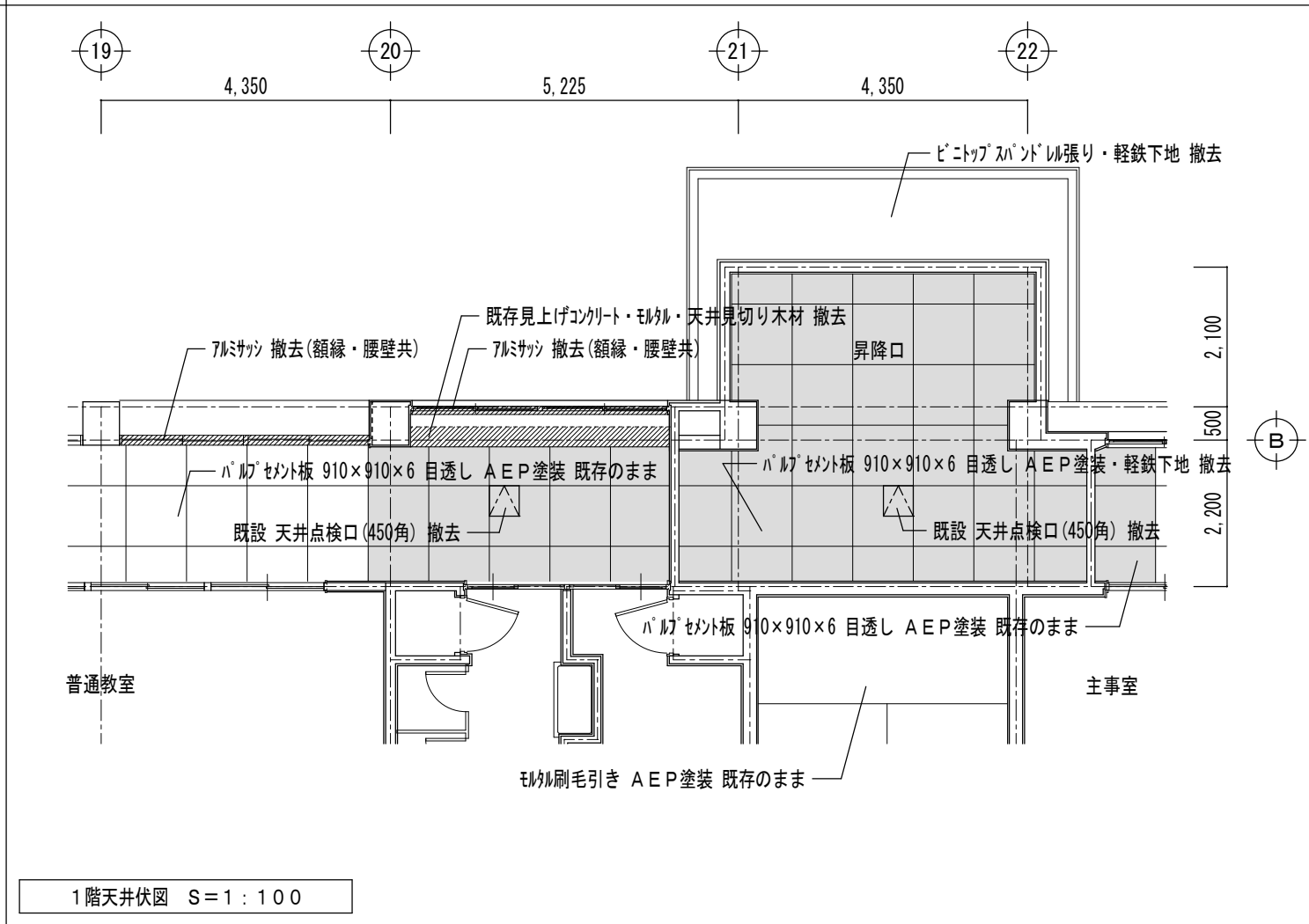
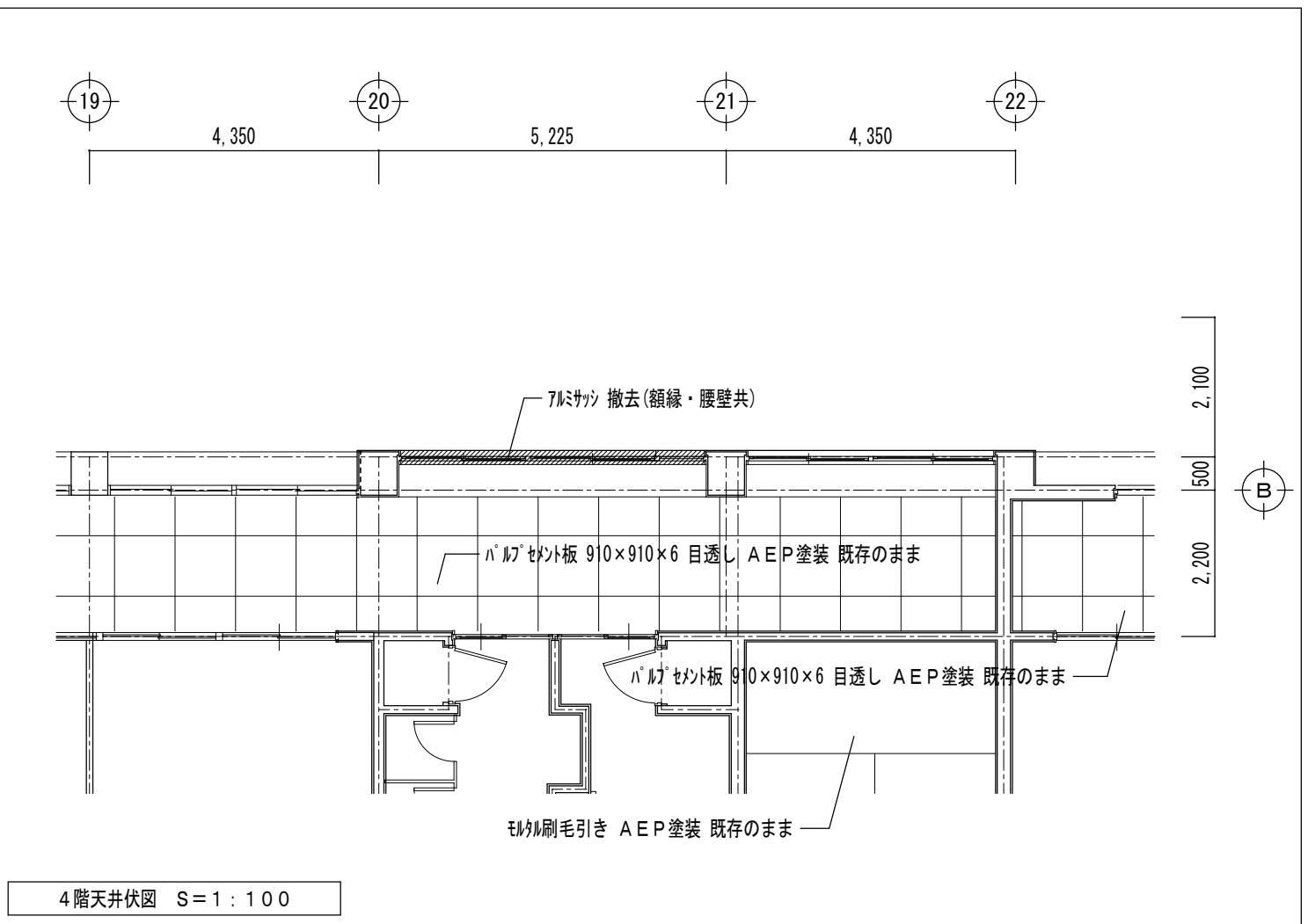
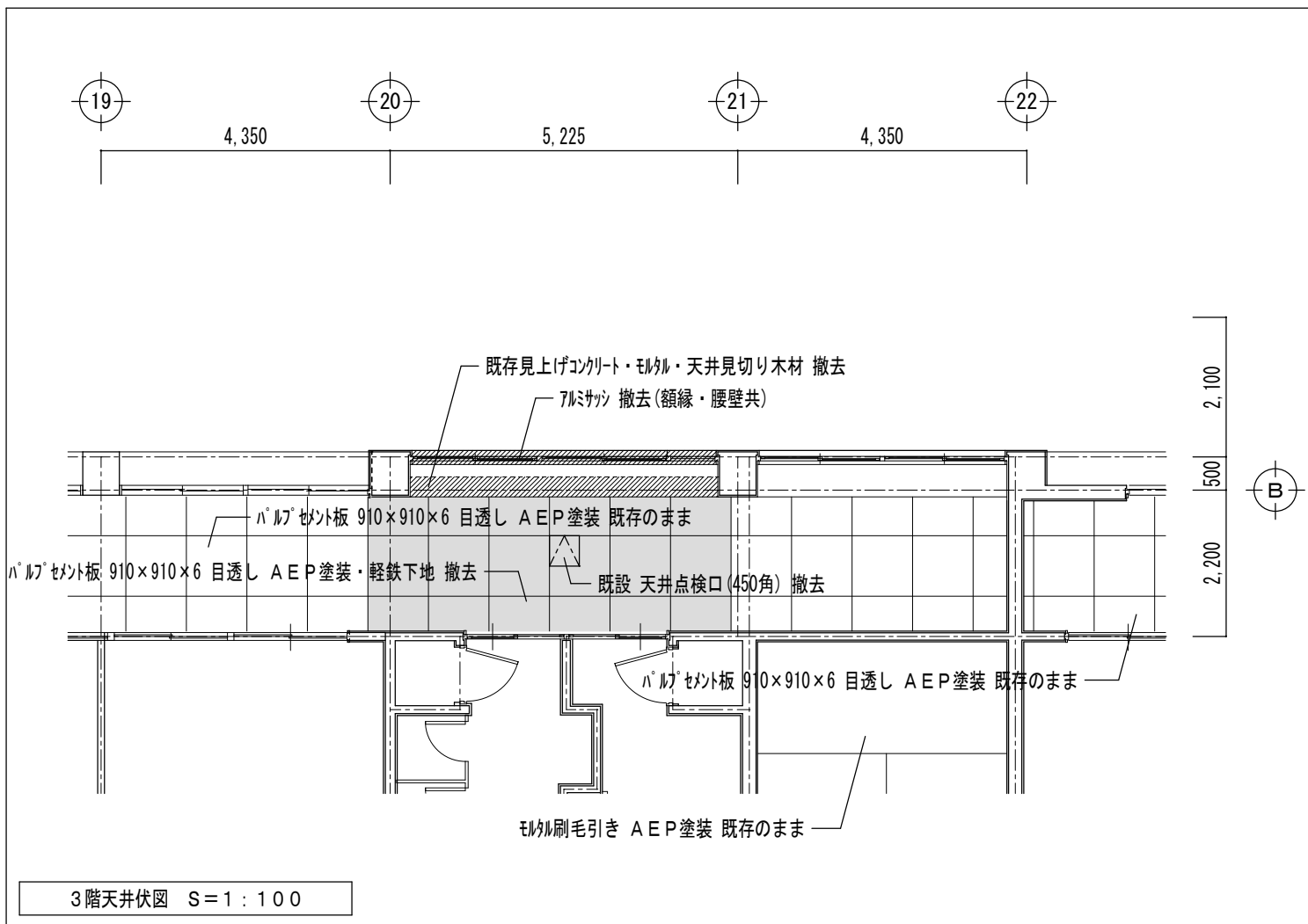
増築棟 1～4階 廊下 展開図 S=1:100

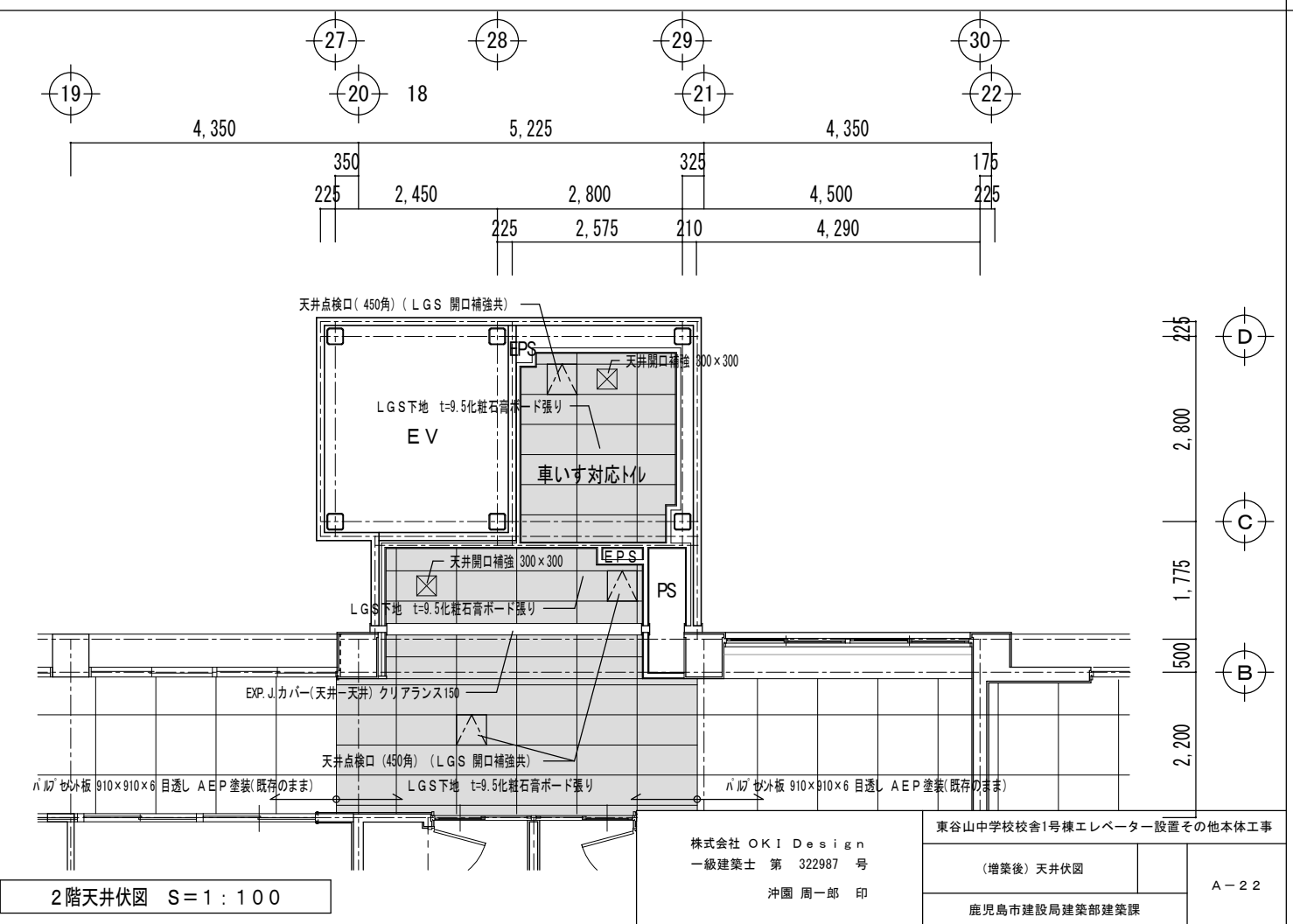
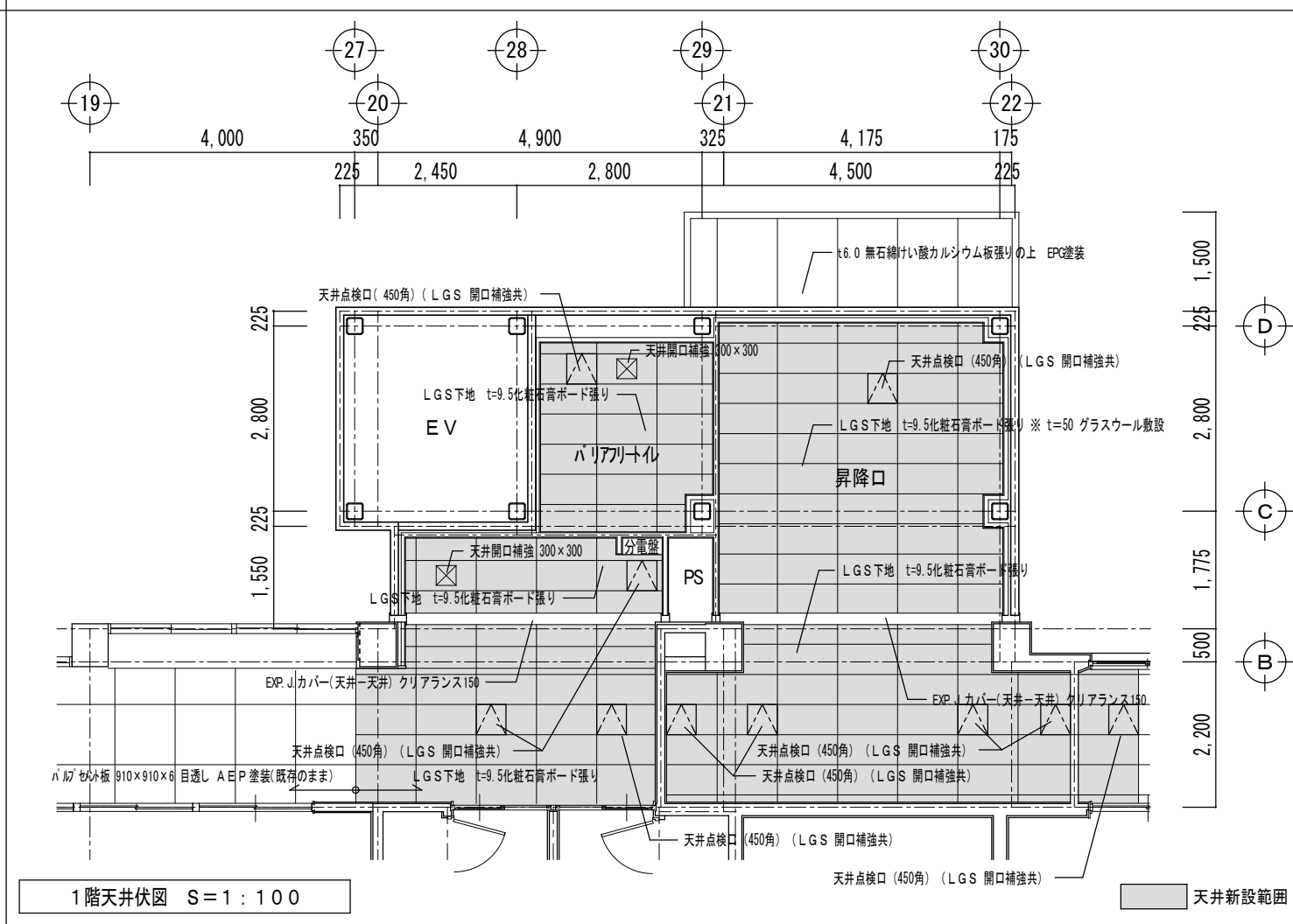
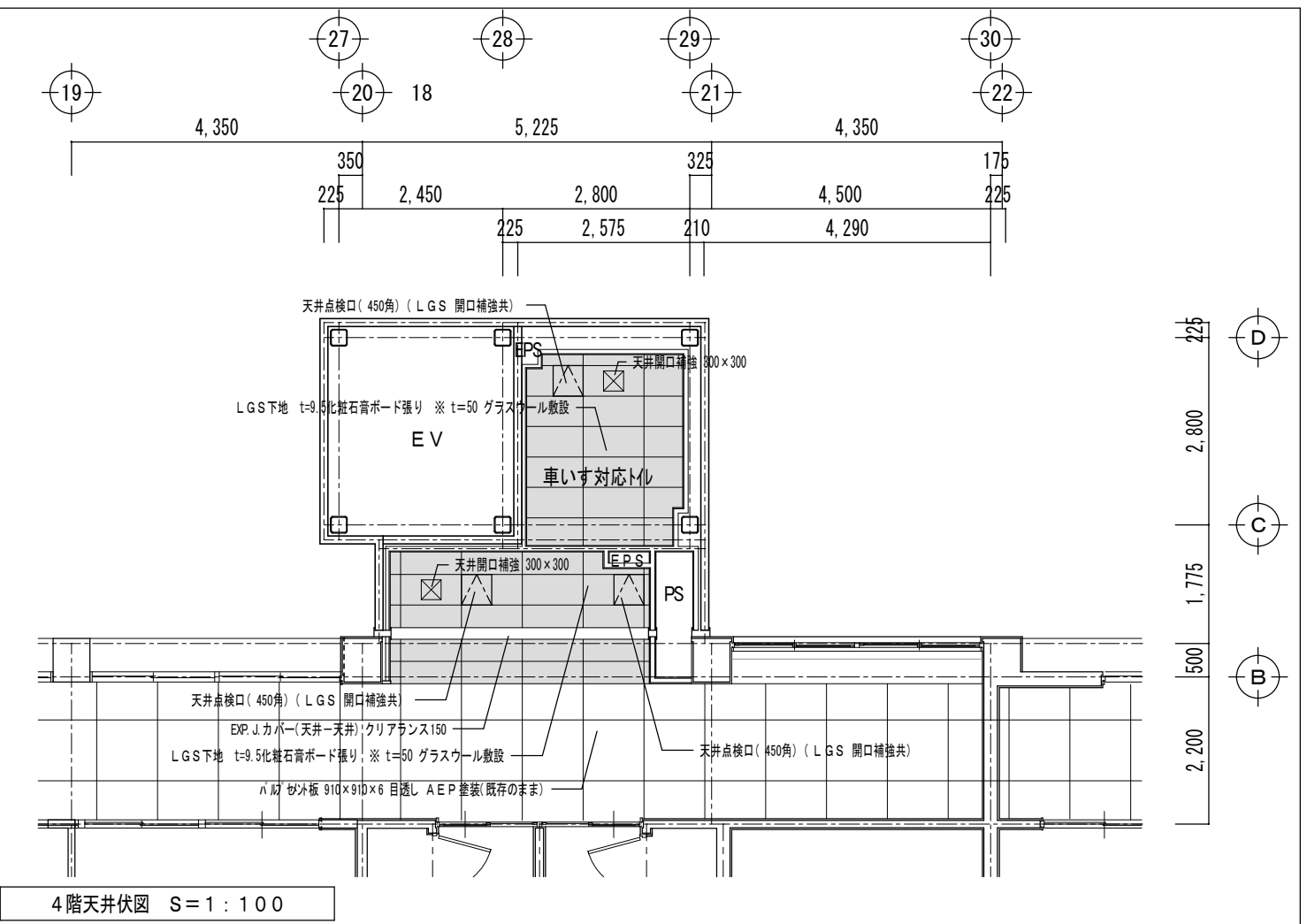
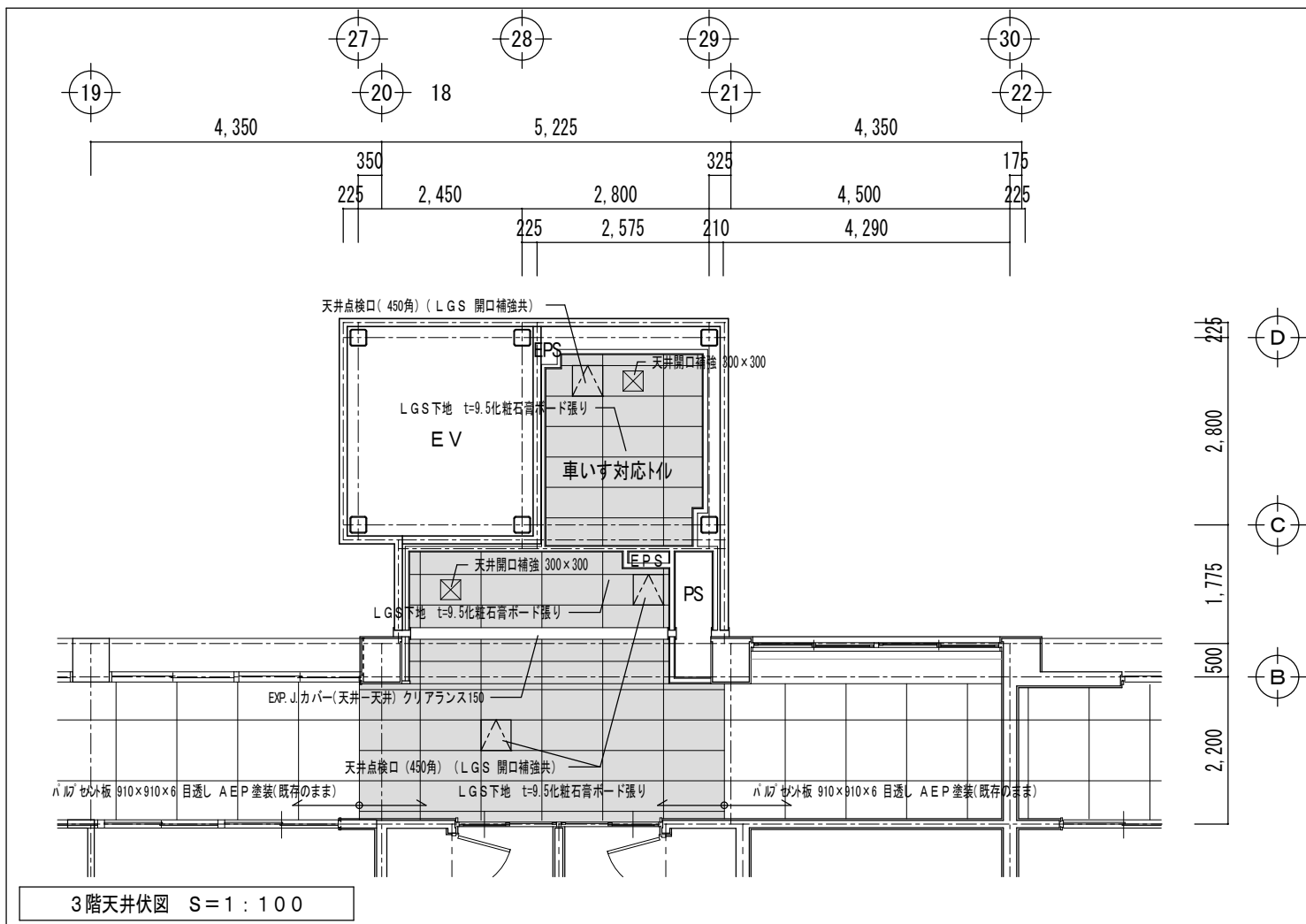
増築棟 1～4階 廊下 内部仕上表		
床	コンクリート金コチ押え t=2.0 防滑性ビニル床シート張り	FL±0
巾木	ビニル巾木	H90
腰壁	-	
壁	LGS下地 t=9.5耐水石膏ボード張りの上 t=6.0 ケイ酸カルシウム板張り EPG塗装 (アルミコーナー見切) ※外壁面 t=50 グラスウール敷設	
天井	LGS下地 t=9.5化粧石膏ボード張り ※ t=50 グラスウール敷設(外部に面する部分)	塩ビ製 CH=2600
備考	天井点検口 エキスパンションジョイント(アルミ製)	

株式会社 OKI Design
一級建築士 第 322987 号
沖園 周一郎 印

東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事
(増築後) 展開図
鹿児島市建設局建築部建築課

A-20





エレベーター仕様			
基本仕様	号 機 名	N0.1	
	型 式	機械室レス標準型エレベーター	
	用 途	乗用兼車いす用	
	定格積載質量/定員	750kg/11人乗	
	定 格 速 度	45m/min	
	運 転 方 式	乗合全自動方式（乗り捨て方式）	
	制 御 方 式	インバータ制御方式（マイコン制御）	
	停 止 階	4箇所（1～4 階）	
	か こ 寸 法	間口1400mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm	
	出入口寸法	幅900mm 高さ2100mm	
管制運転	戸 型 式	2枚戸中央開き	
	電 動 機	AC 3.5kW	
	動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz	
	照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz	
	連絡装置	同時通話式インターホン	
	設置場所		
	監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります）	
	管制運転	地 震	有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）
		火 災	有り（火報と連動した検点による自動式）
		停 電	有り
自家発電		無し	
乗場仕様	三 方 枠	1～4階 大枠 ステンレスヘアライン仕上	
	乗 場 戸	1～4階 鋼板塗装仕上（5分ツヤ）	
	基 板	1～4階 無し	
	敷 居	1～4階 ステンレス製	
	ホールランタン	1～4階 無し	
	インジケーター	1～4階 縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上	
	ホールボタン	1～4階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S1AA認証） インジケーターに絡込	
	天 井	スタンダード（メーカー標準）（天井照明色：白色）	
	前 側 板	化粧鋼板	
	側 板	化粧鋼板	
かご仕様	戸	化粧鋼板	
	出入口上部	化粧鋼板	
	床	樹脂タイル（2T）	
	幅 木	化粧鋼板（アルミナムシルバー）	
	敷 居	ステンレス製	
	ボタ ン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（S1AA認証）	
	操 作 盤	カバー ステンレスヘアライン仕上	
	インジケーター	カラー液晶表示（黄・黄・白）操作盤に絡込	
	車いす用ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（S1AA認証）	
	操作盤	カバー ステンレスヘアライン仕上	
耐震クラス	矢くばり	無し	
	操作盤	カバー 無し	
	鏡	ステンレス製	
	ハンドレール	ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上（2方向）	
	監 視 盤	無し	
	耐震クラス	AⅡ	

- ・三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、基板高さ1250mm以上を超える時は別途見積りとなります。
- ・工事使用料：10日未満（10日以上使用の場合、また積載量：1000kg以上場合は別途見積りとなります）
- ・エレベーター出入口側の壁がALCの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、ALC留めの金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工をお願いします。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件
・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。 設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階の エレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、 火災感知信号を自動火災警報室を介してエレベーター制御盤に供給してください。

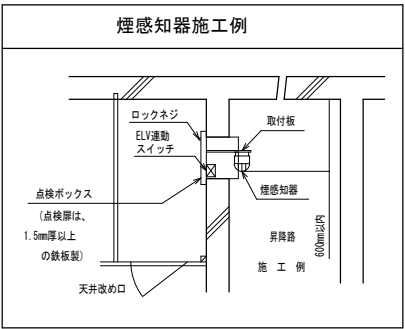
特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あり入りガラス窓付の場合は防火設備となります）

N0.1	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
ビット冠水退避運転（基本仕様）	
可変速機能（最大50m/min）	
音声案内装置（日・英2か国語、緊急時4か国語）	
防振対策付	
遮煙性能付乗場戸（大臣認定品）（火災、停電付）（1～4階）	
点字注意統板付（横型）	
車いす仕様付	
視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字統板付）	
運転休止スイッチ（1階に取付）	
インジケータに全階休止灯付	
戸当り目地付（かご戸）（ひとまはまれ検知機能用）	
フェッシャプレート付	
メンテナンスサービス提供用カメラ付	
昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）	
車いす呼び戸開き時間延長	
一般呼び戸開き時間延長	
発音式ボタン（かご）	
多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）	
乗り場側利用者検知機能付	
かご戸袋引き込まれ感測機能付	
戸開き時間延長ボタン付	
非常放送・一般放送用スピーカ付（かご天井上）	
スピーカー用アッテネータをかご上に設置	
ひとまはまれ検知機能付（3mm以上のひとまはまれ検知仕様）	
かご内荷棚り（ステンレスヘアライン仕上、床からH=300mm）	
かご側板保護マツ（高さ：床面から1800mm（取付範囲は荷棚り上端から））付	
かご床マツ付	
かご内操作盤スイッチボックス内の波型スイッチによるサービスホール（ホール対象階1～4階）（各階個別）	
乗場キースイッチによるホールボタン自動登録（設置階1～4階）（各階個別）	
煙感知器点検用ドアスリッ付付	
公共建築工事標準仕様書（R4）適用	
4mmレール使用	
ステンレス材一式：SUS304	
	-非-

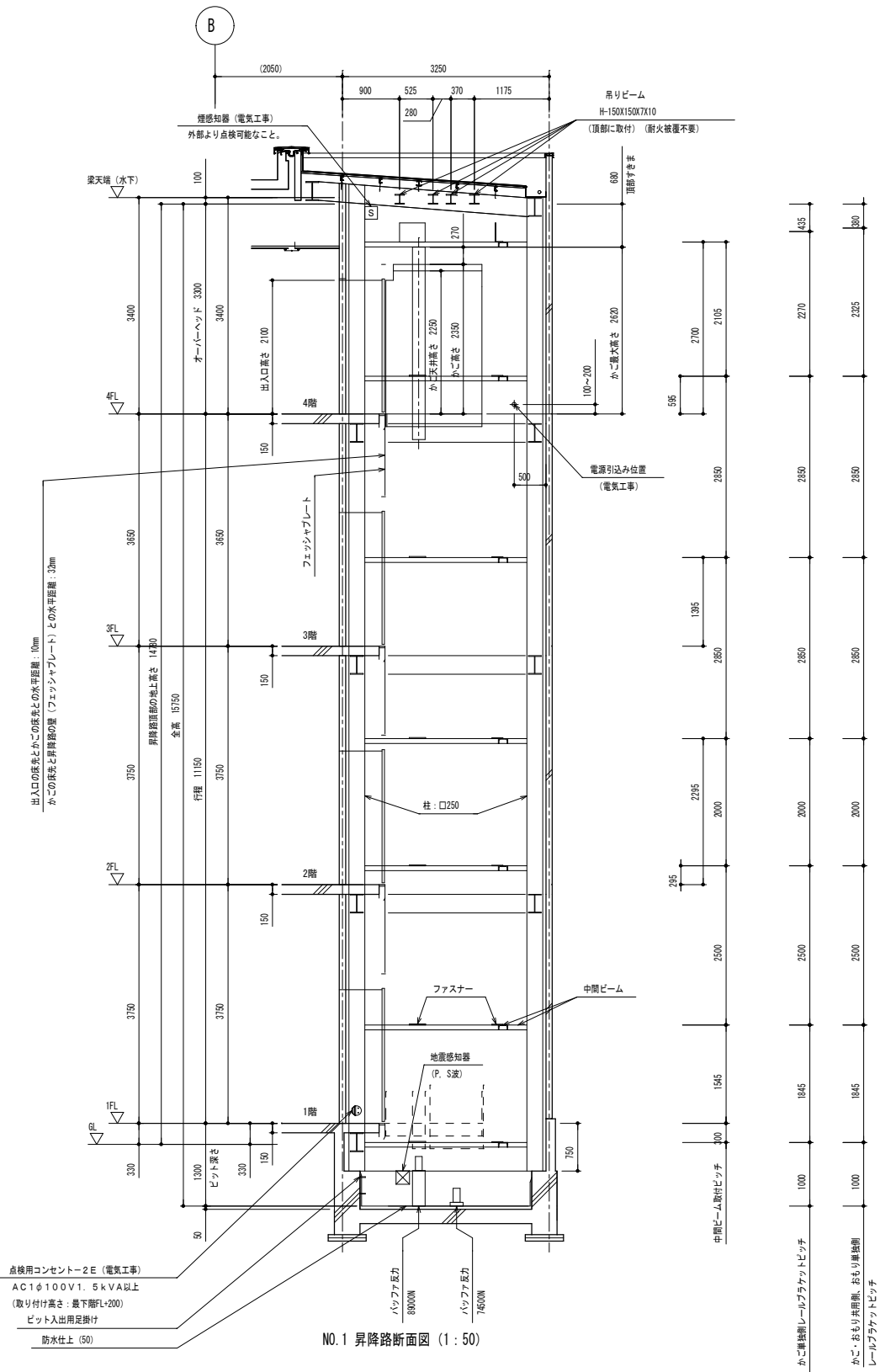
電気設備				
号機名	N0.1			
動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz 14mm ² x1回路 (OV) /台			
	線サイズ (mm ²)	8	14	22
	最大引込距離 (m)	74	128	196
	MCB容量	40A/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 5.5mm ² x1回路/台			
	アース線	3.5mm ² (D種) /台		
インターホン用配管配線（電話線）	FOPEV0.9-5P/台（300mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	OPEV0.9-1P、配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）			
ビット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上 x1個/台 （最下階FL=200の出入口付近に設置）			
火災報知信号無電圧a接点支給及び配管配線	即応電圧2024V 接点容量1A以上/台			
一般乗非常放送用スピーカ用配管配線	SP1.2-3C/台			
防犯カメラ用配管配線（昇降路外）	同軸ケーブル 5C-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設置ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で行込み			

労基法適用（本設用）：有（設置箇・設置報告）・

標準型エレベーターの荷役制限について
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

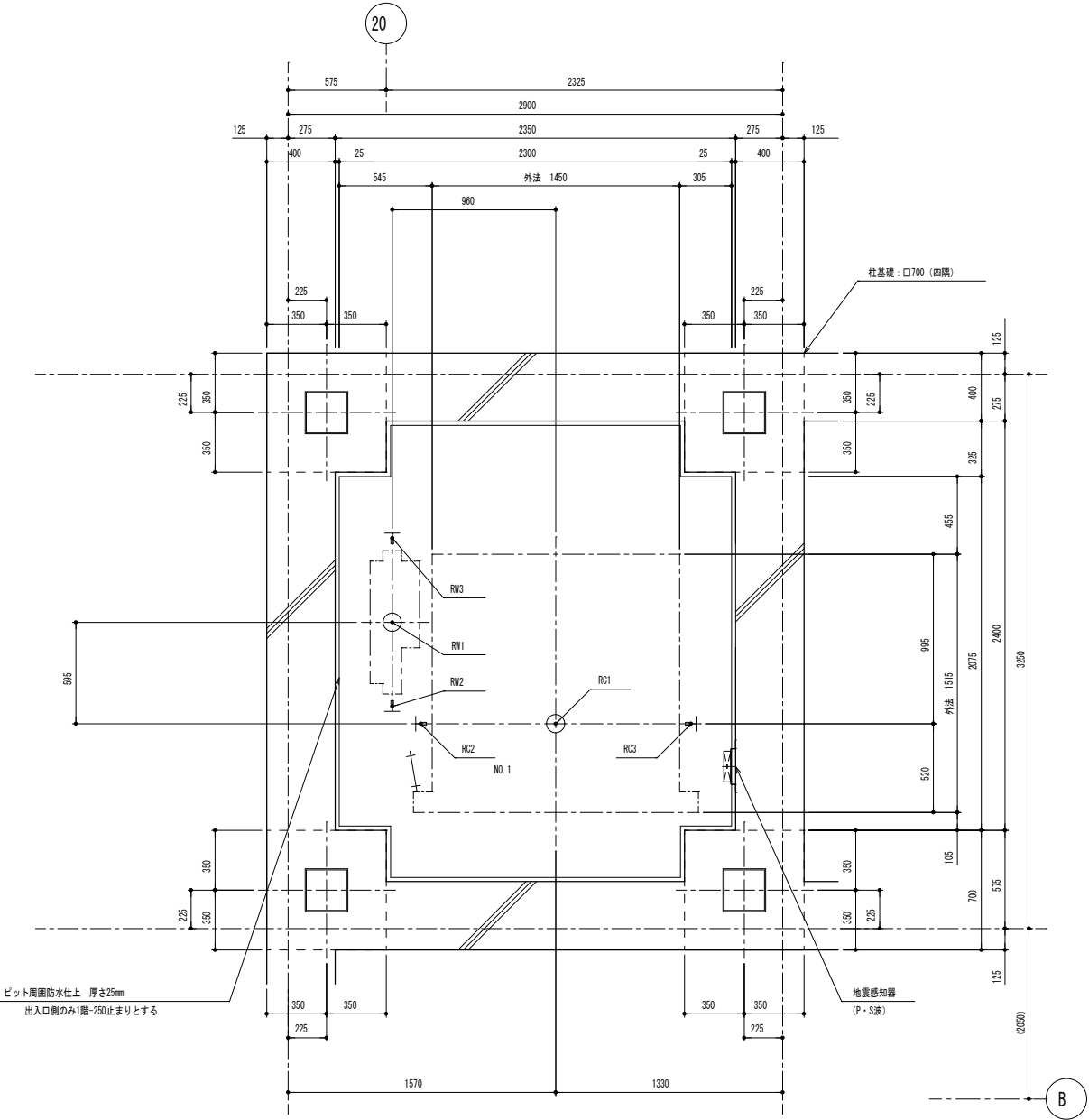
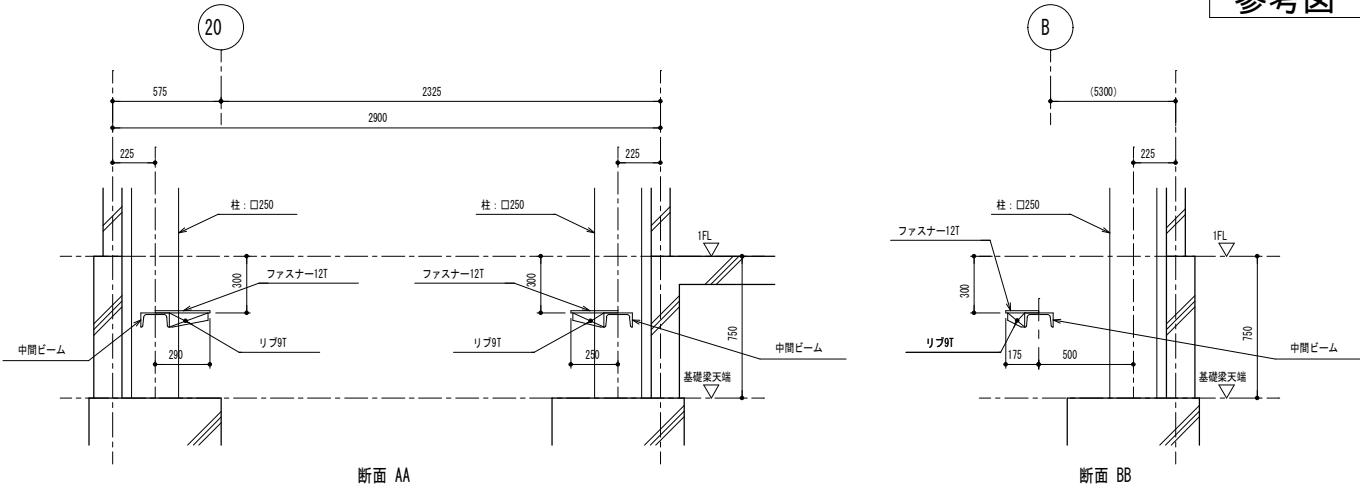


工事区分					
号機名	N0.1				
項目	工事名	建築	電気	空調	ELV
1	昇降路の築造と振差修正工事				
	1) 壁または囲いは隙間なきものとする				
	2) 昇降路の壁又は囲いは出入口の戸は、任意の50cm ² の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと				
	3) コンクリート厚さは150mm以上とする				
2	昇降路内軌骨鉄造箇の構造耐火処理工事および補修工事				
3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事				
4	エレベーター据付後の出入口壁および床その他建築仕上及び補修工事				
5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理				
6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事（ふさぎ板またははうす材）				
7	ビット内防水仕上工事（ビット仕上の水平度は1/200以下）				
8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合のビット間仕切り工事（H=1800以上）				
9	オーバーヘッド・ビット寸法が図面と異なる場合のはつり・埋め戻し工事				
10	ビット点検用タラップまたは梯子の設置工事				
11	ビット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）				
昇降路	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常））				
	自家兼乗用電源識別接点・火災時管制用接点（防犯カメラ等）用配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）				
	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ込み工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）				
	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事（監視盤設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み）				
15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造）（点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）				
16	昇降路頂部の煙感知器点検用FL連動停止スイッチ取付				
17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路最上階までの配管（最小径25mm）、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）				
18	昇降路出入口側内壁（数階下および出入口上部）とかご前壁が25mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事				
19	昇降路出入口側内壁（数階下および出入口上部）とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				
20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事				
21	昇降路頂部への吊りビーム設置工事				
22	昇降路内の中間ビーム、ファスナープレート、立柱設置工事				
23	レール・三方枠・敷居・ホールボタン・インジケータなどの固定用鋼材設置工事および振差修正工事				
24	不停止階の昇降路後出口部の設置工事（階台寸129条の70にによる）				
25	かごドレン式クーラー設置時のビット排水工事				
26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事				
27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事				
28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事				
その他	1 エレベーター一部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）				
	2 エレベーター重量部品搬入の際の仮設置機種の貸与				
	3 エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保				
	4 エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）				
5	エレベーター運転調整用電力の供給（動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに本設電源配管経路で引き込み）				
6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事				
7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事				
8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の金網・デッキプレートなどの撤去工事				
9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の蓋き材支給および施工				
10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事（庇、水切り等）				
11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事				
12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し				
13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事				
14	ALC眼目の補修、コンクリート型枠抑え用セパルト（Pコン）の撤去				
15	非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事				
16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工				
17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事				



参考図

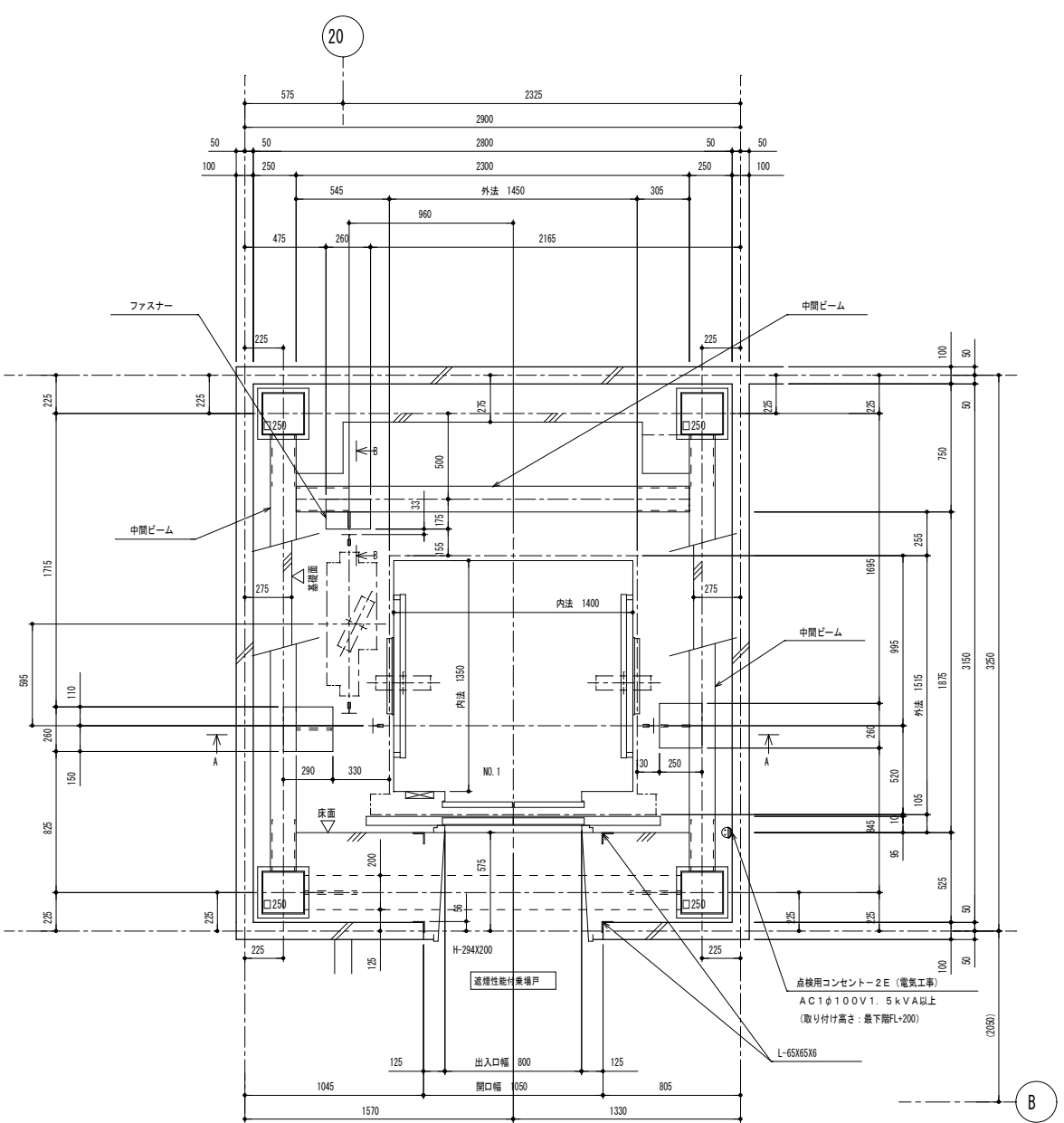
参考図



ピット反力値 (N)						
号機名	短期荷重			長期荷重		
	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	89000	74500	6000	26000	40000	29000

コンクリート厚さは150mm以上とする
コンクリート基準圧縮強度21N/mm²以上とする

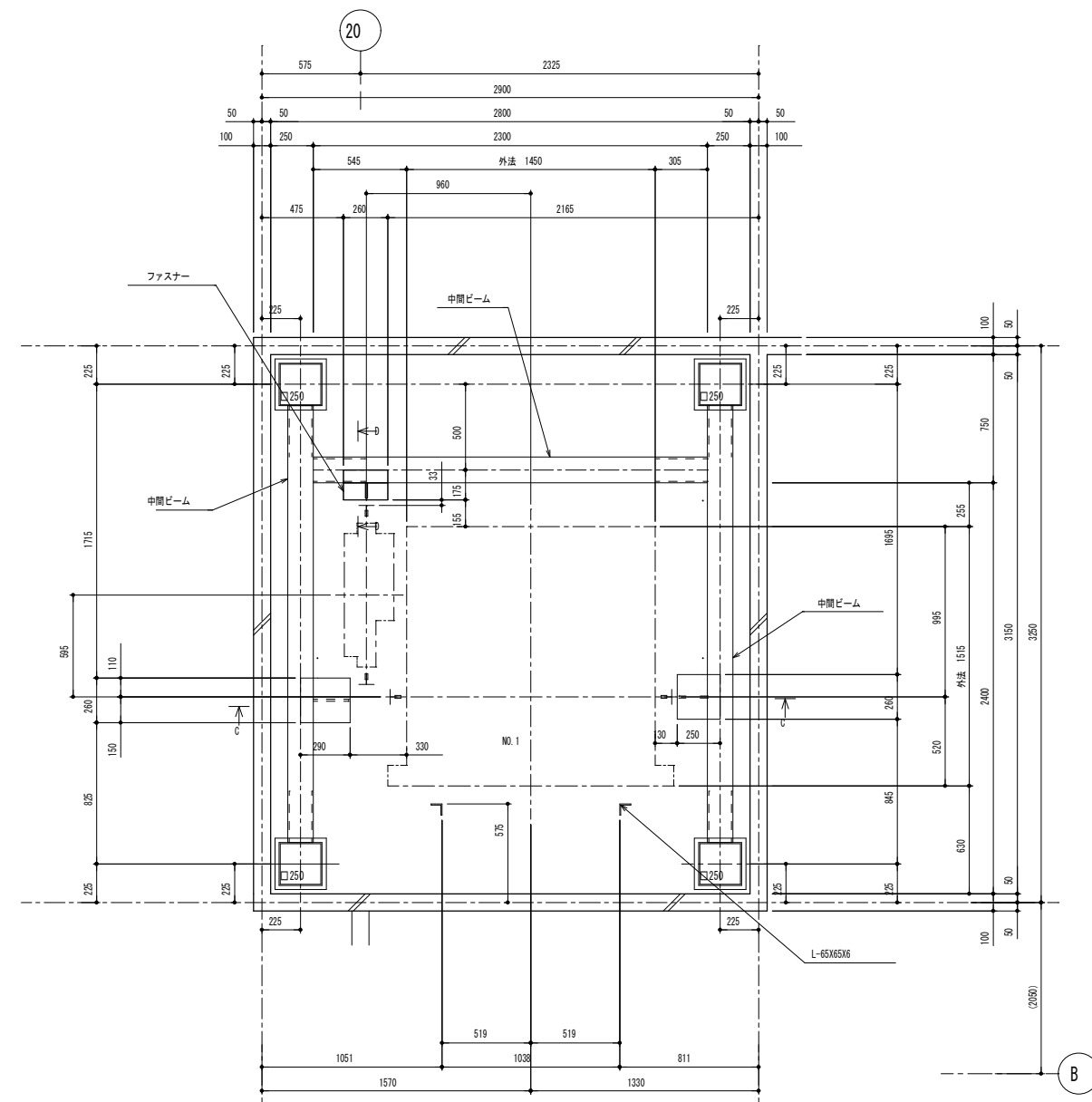
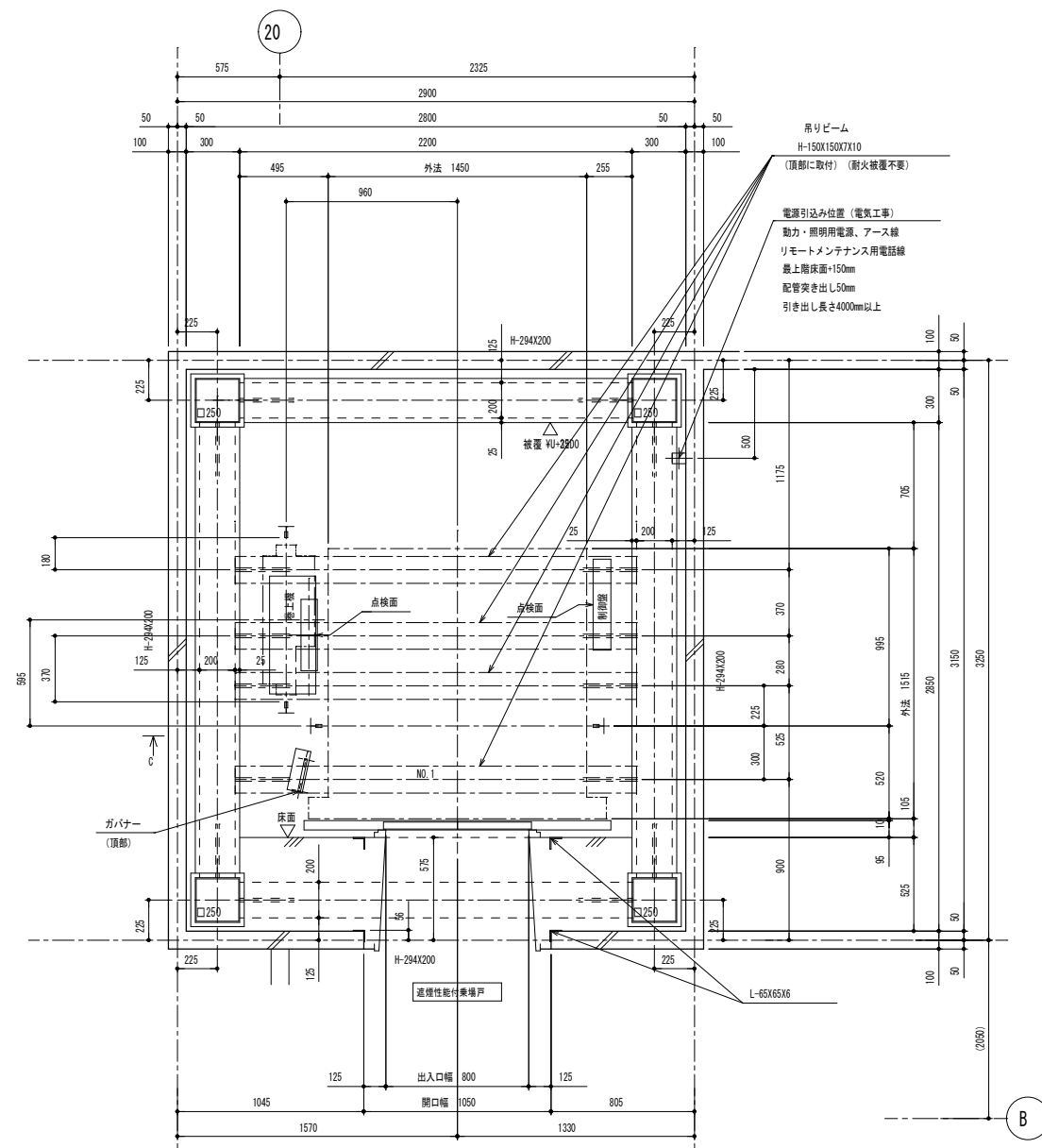
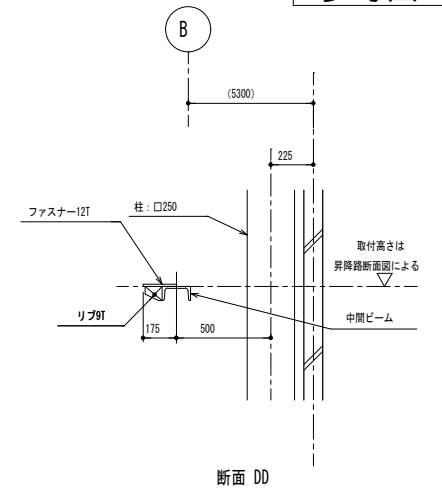
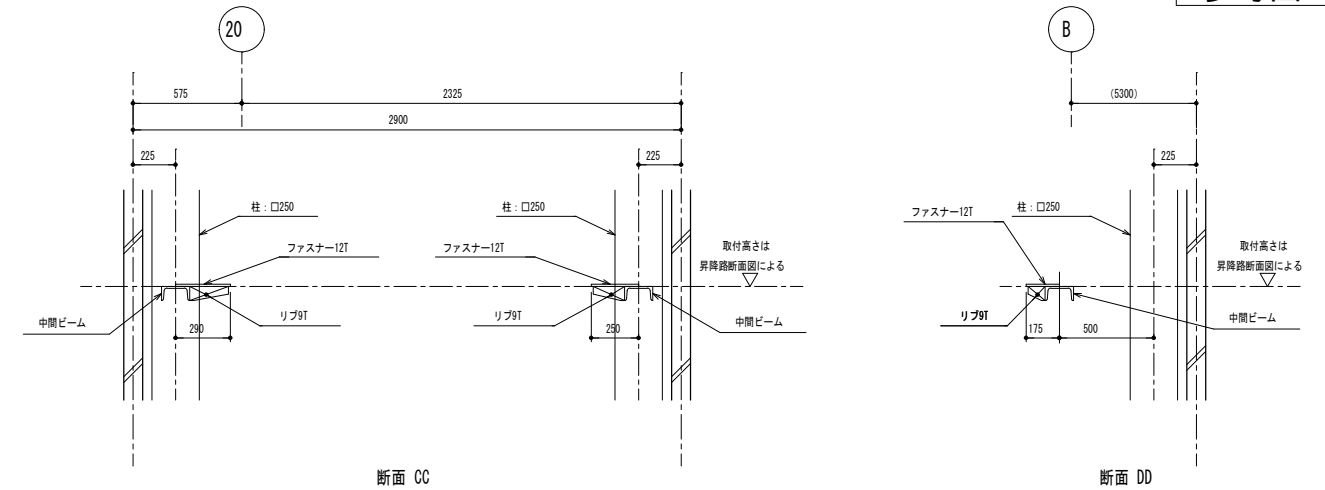
ピット平面図 (1:40)



1階 昇降路平面図 (1:40)

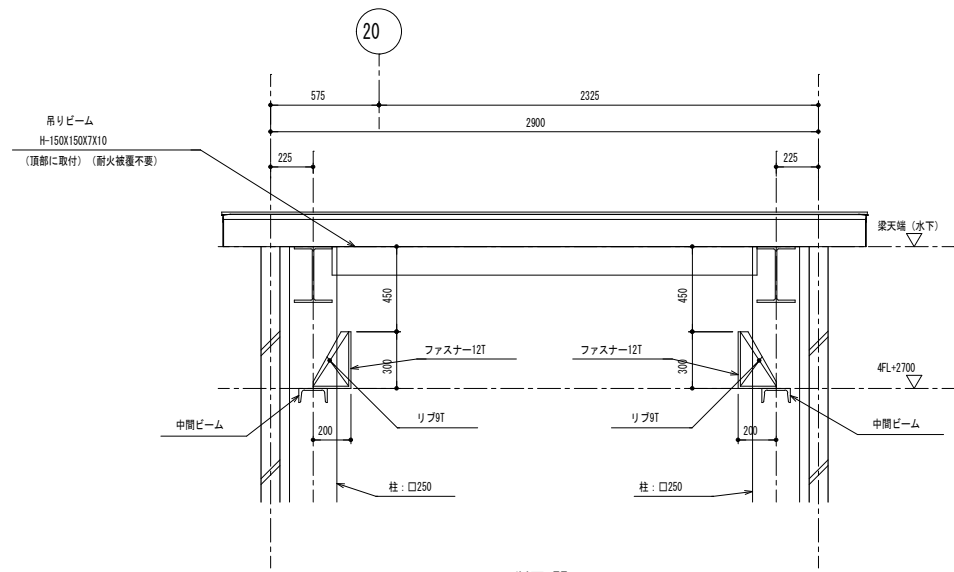
ファスナー12T、補強リブ9T
中間ビーム: U-150X75X9-3列

参考図

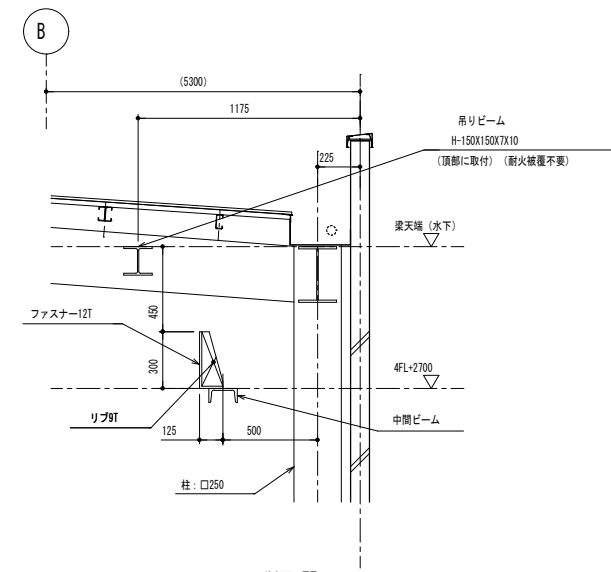


中間ビーム取付階 昇降路平面図 (1:40)

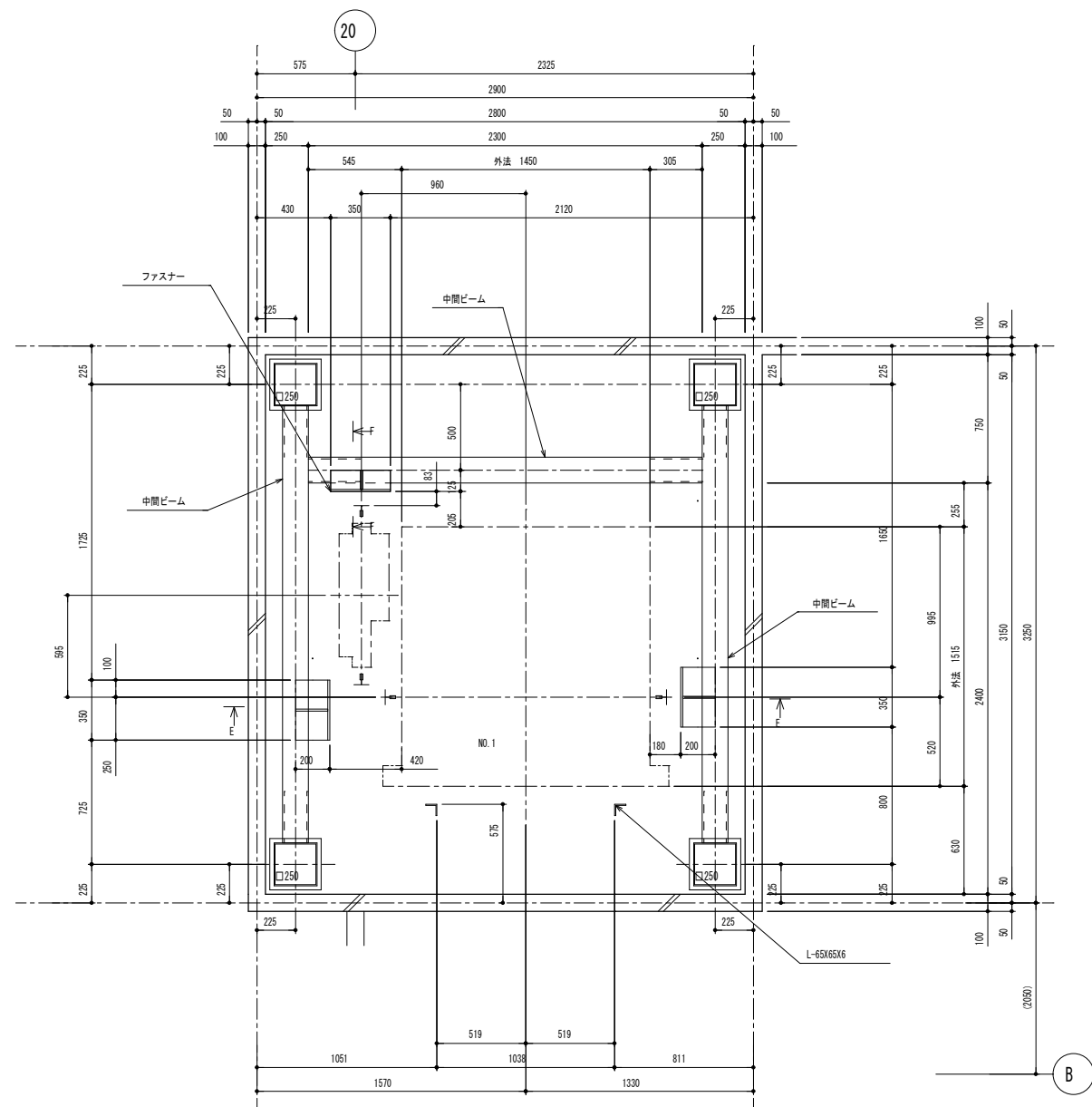
ファスナー12T、補強リブ9T
中間ビーム：U-150X75X9-3列



断面 EE



断面 FF



中間ビーム取付階 昇降路平面図 (1:40)

(4FL+2700)

ファスナー12T、補強リブ9T
中間ビーム: U-150X75X9-3列

耐震クラス: A14

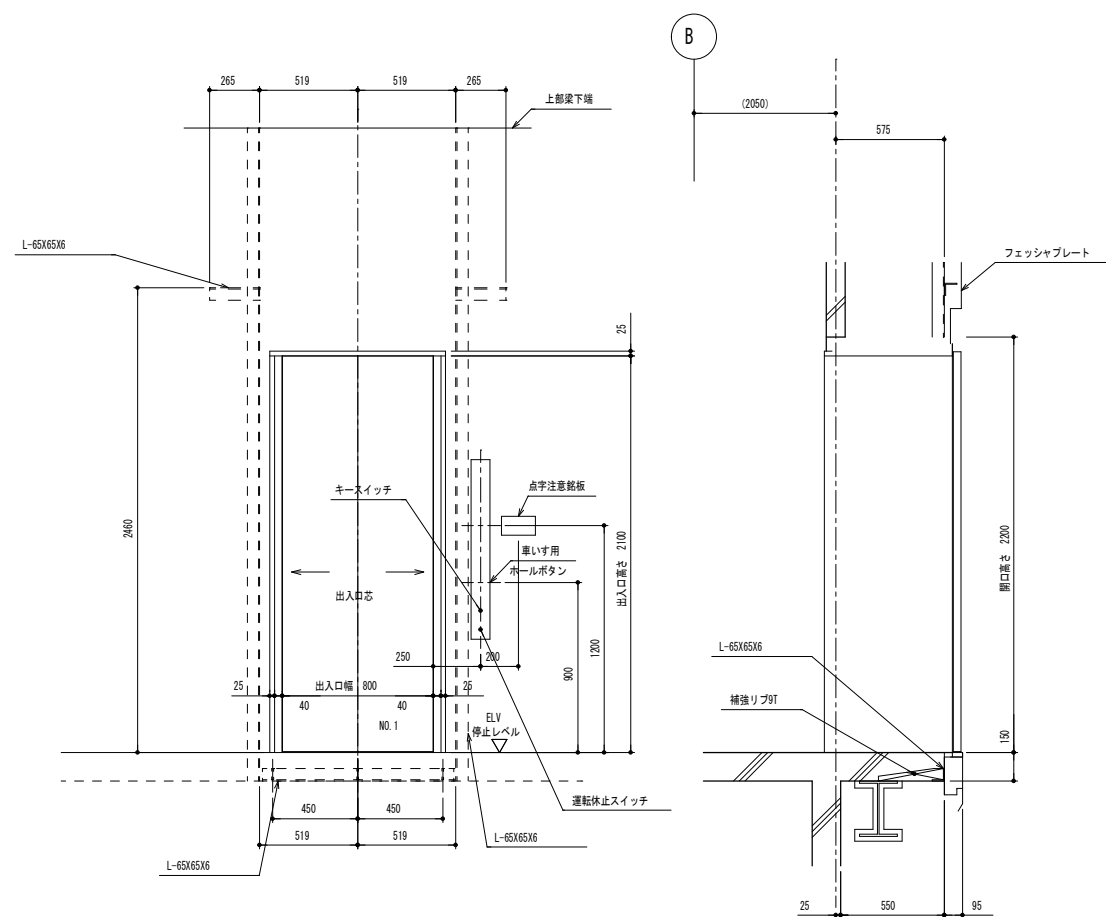
ガイドレール
部分荷重 (N)

	かご側		ウェート側	
	P X	P Y	P X	P Y
NO.1	4800	2900	7550	3800

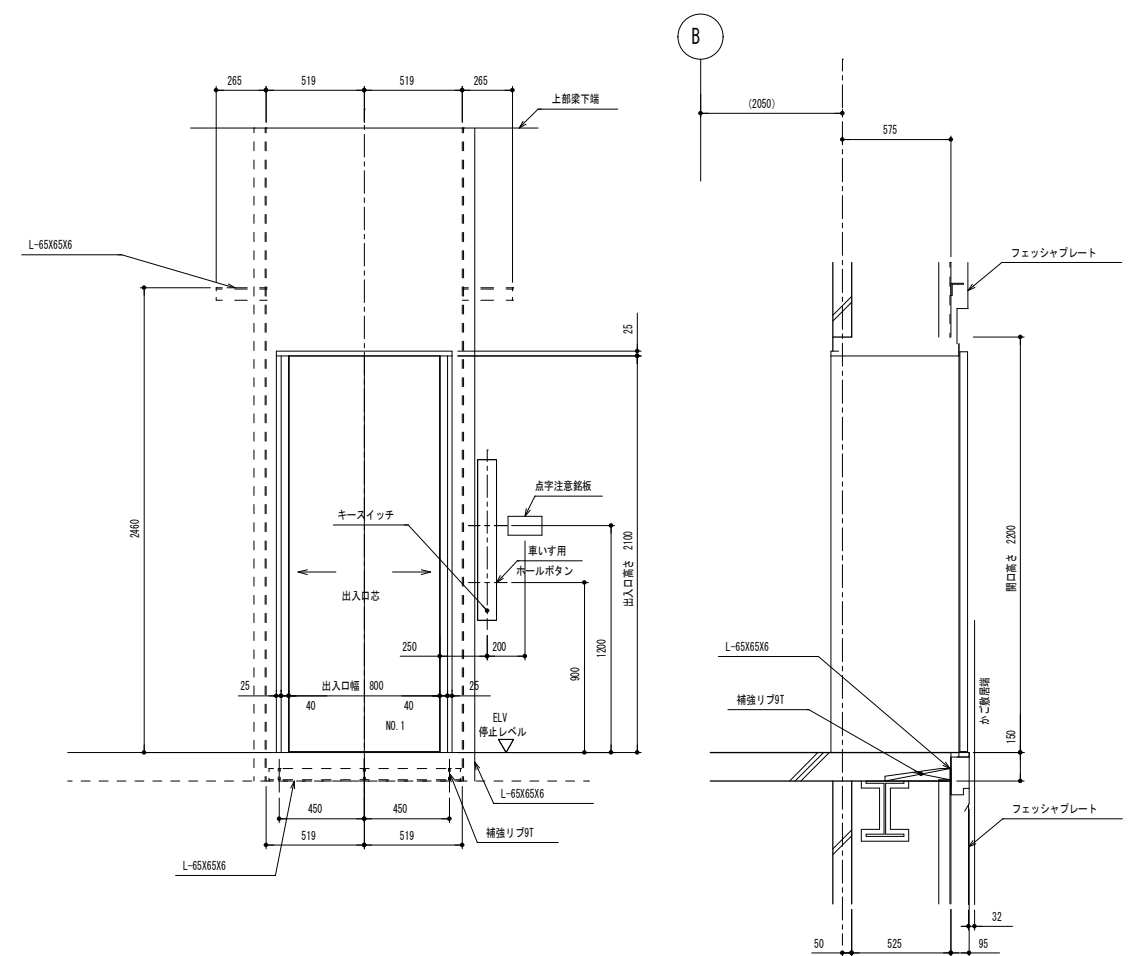
注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重

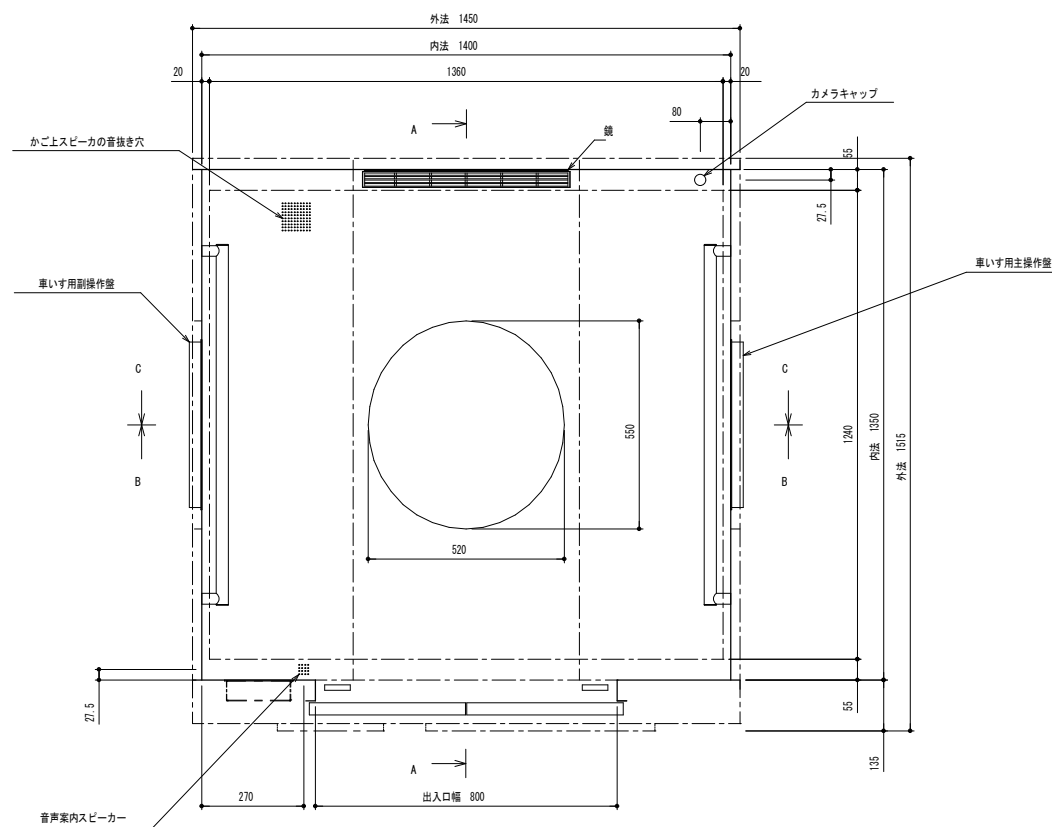
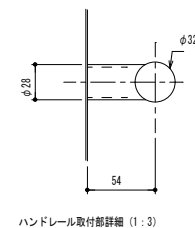
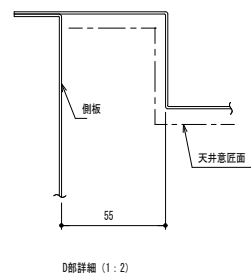
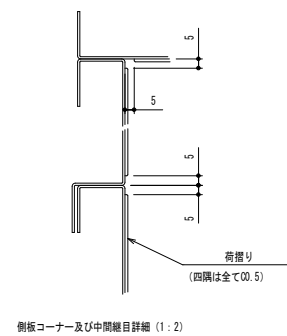
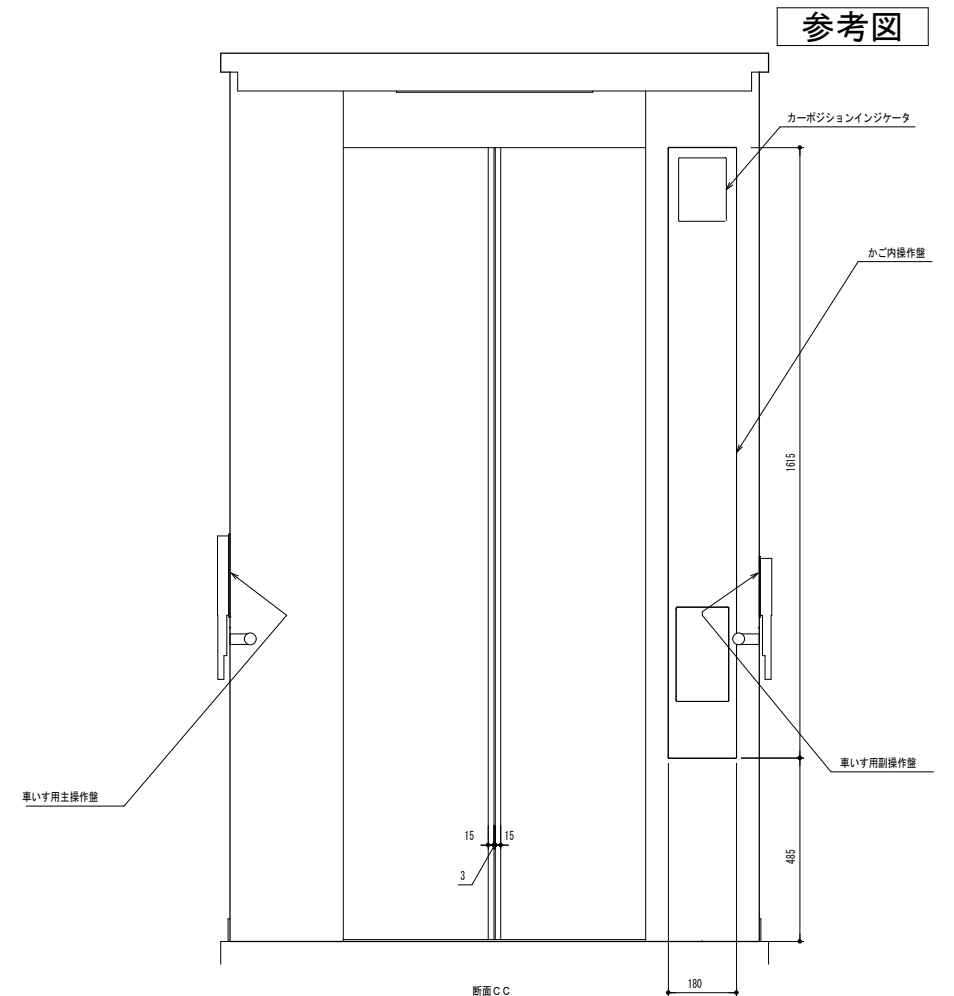
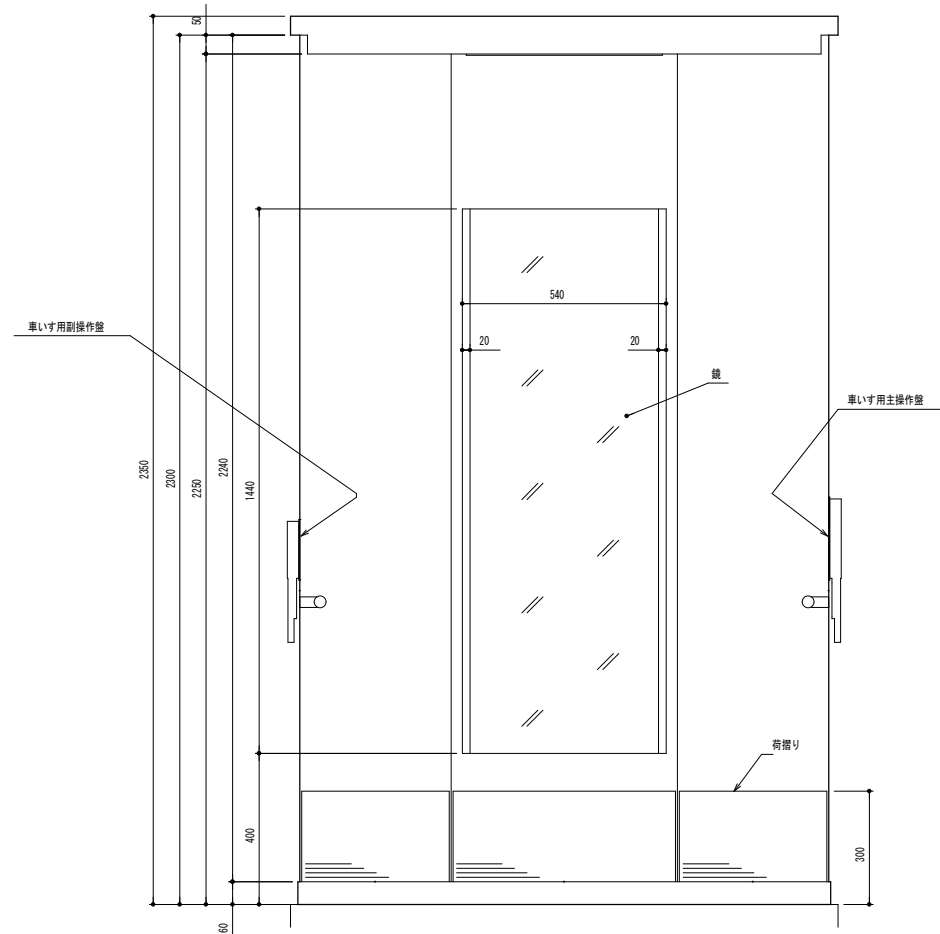
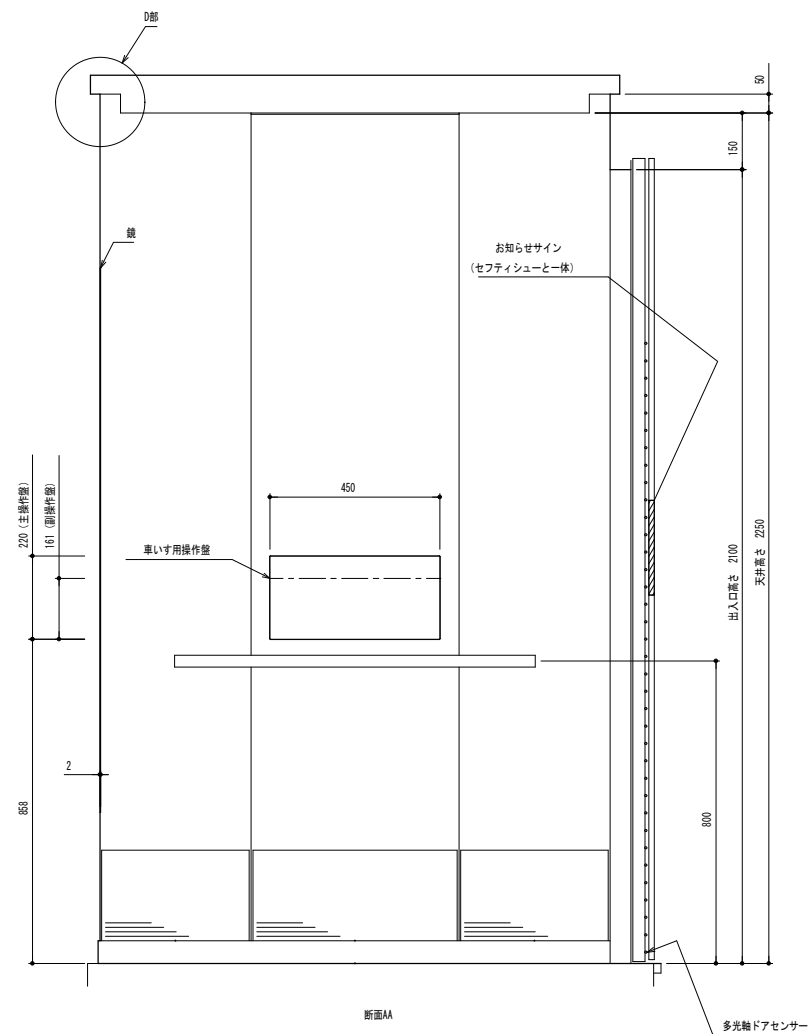
参考図



1階 出入口正面及断面図 (1 : 40)

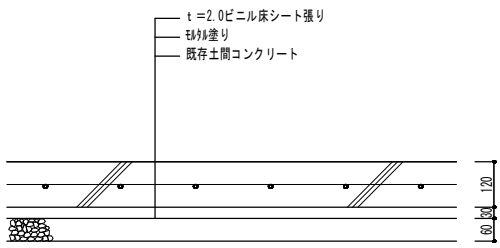
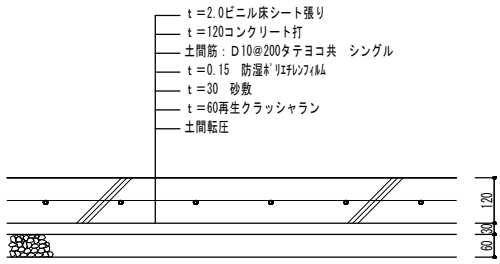
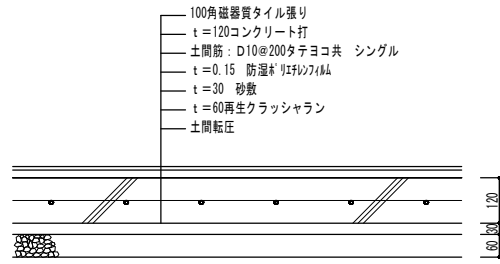
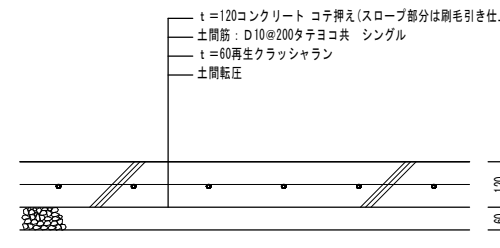
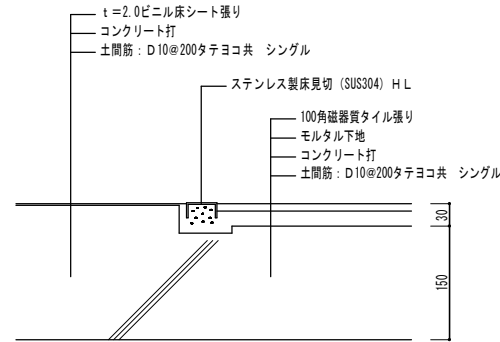
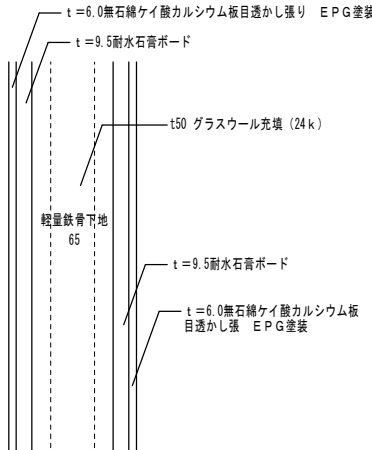
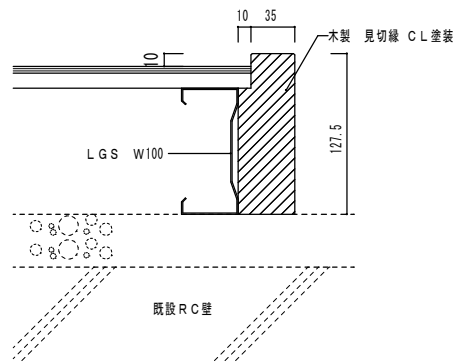
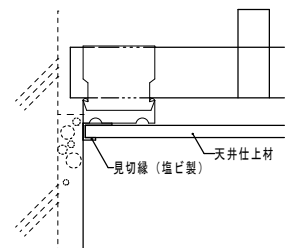
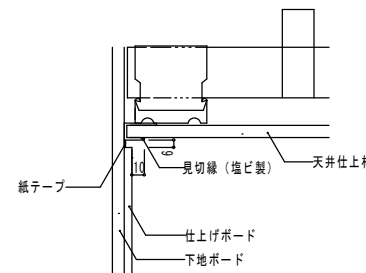


2～4階 出入口正面及断面図 (1 : 40)

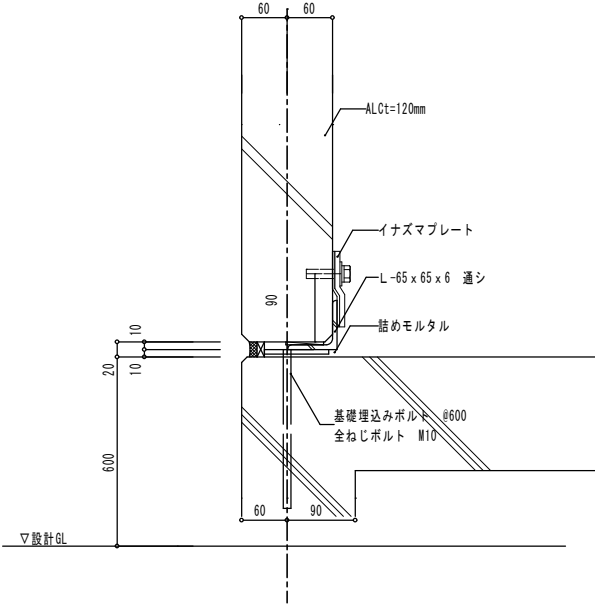
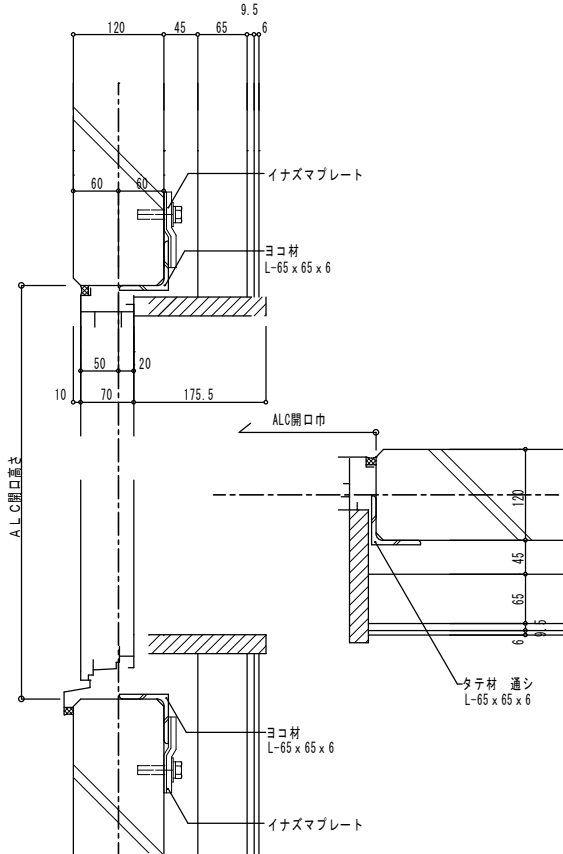
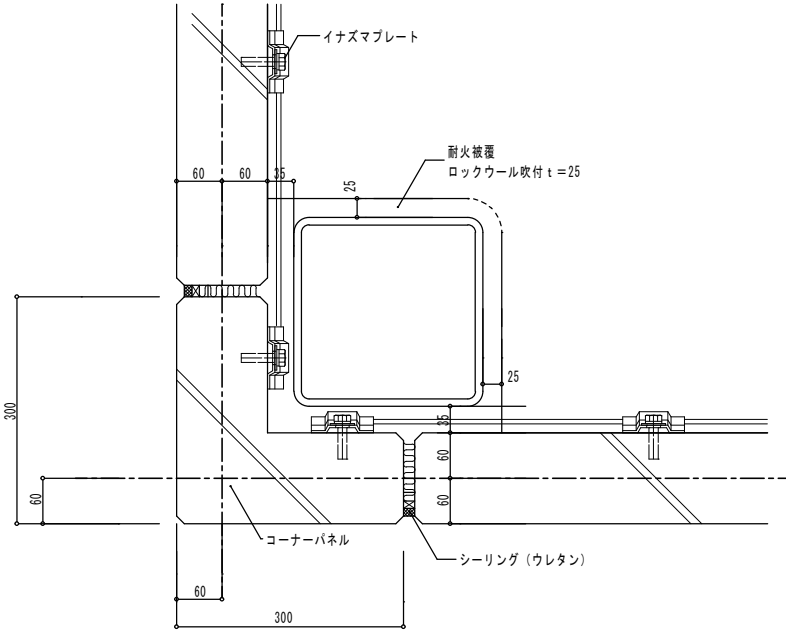
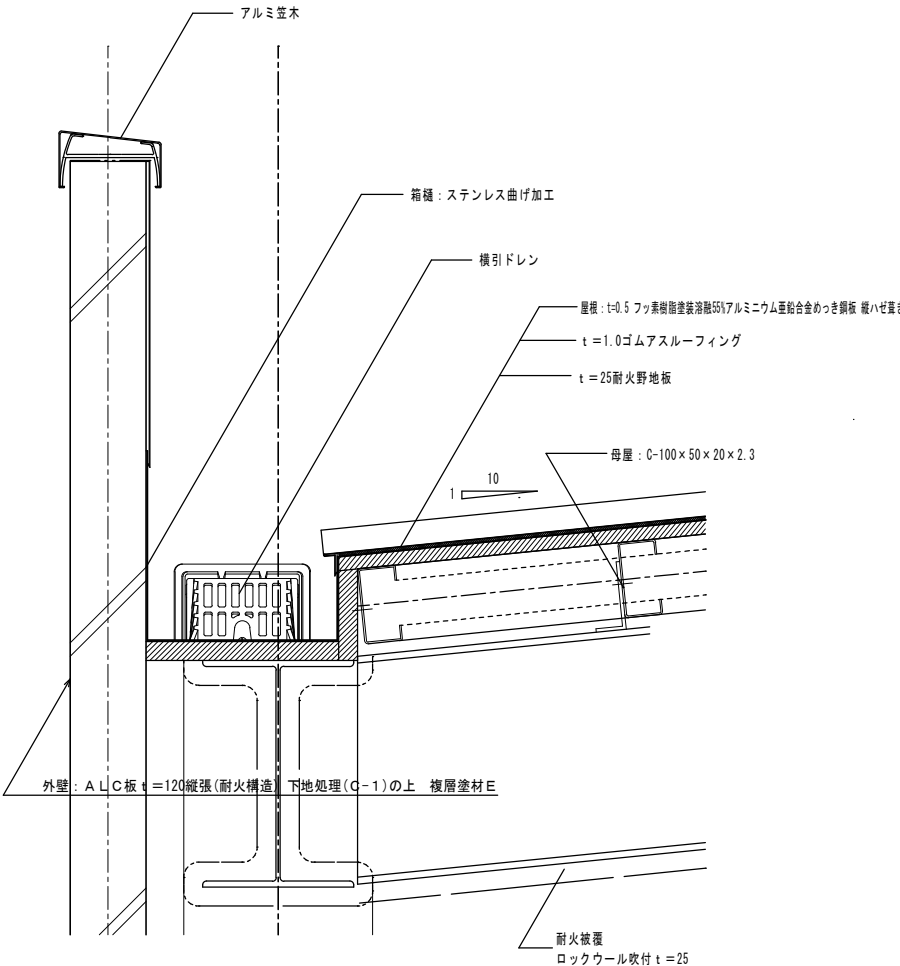
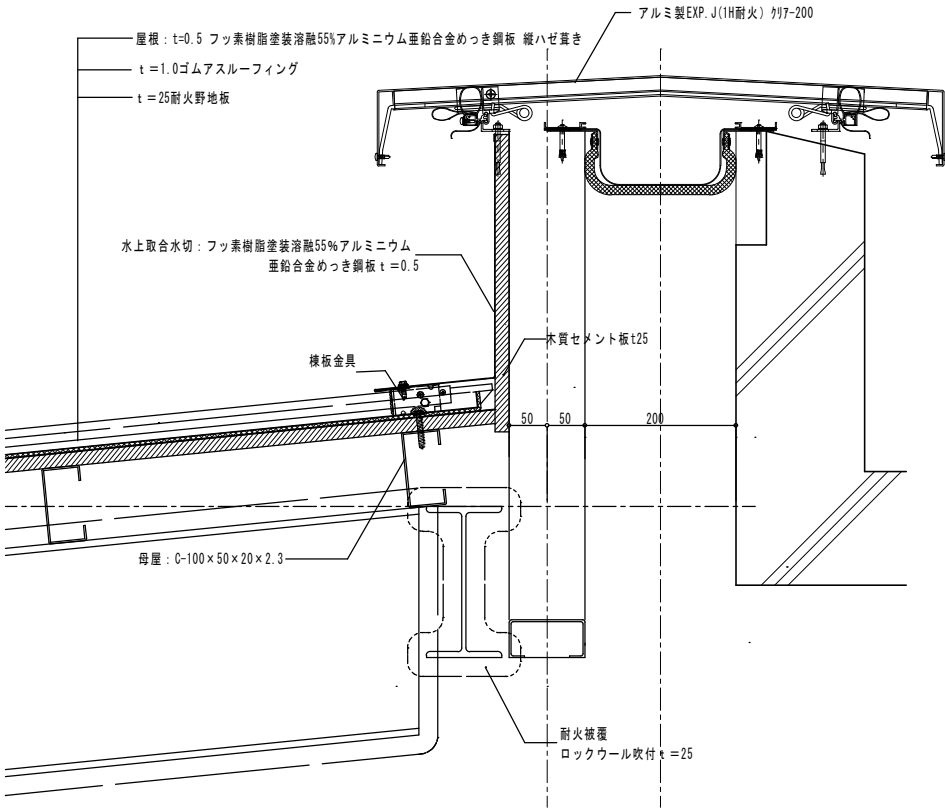
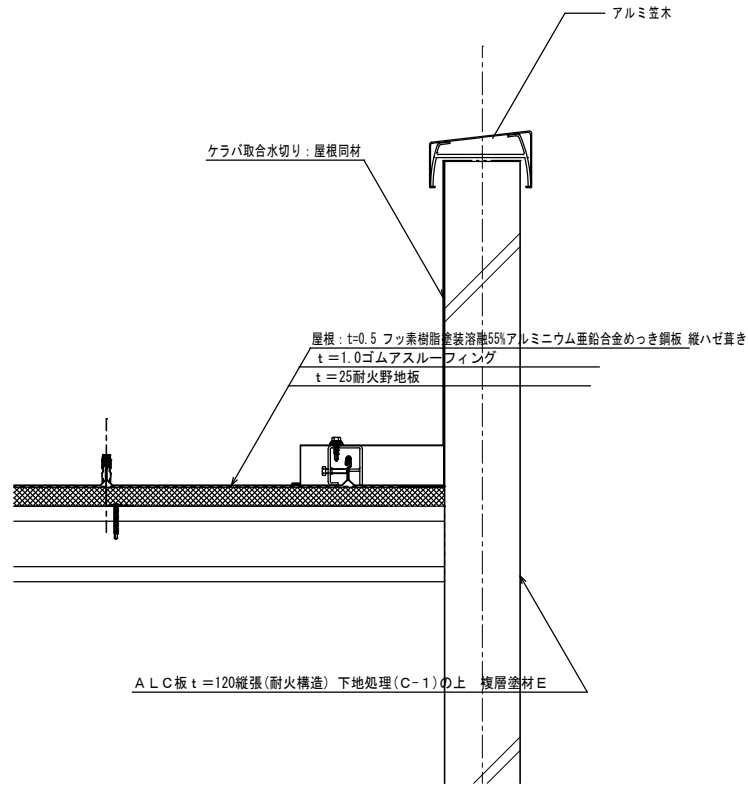


品 名	仕 様
前板板 出入口上部枠	化粧鋼板
幅 木	化粧鋼板（アルミナムシルバー）
側板、戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照 明	乳白色アクリルカバーLED照明 （天井照明色：白色）
停電灯	LED
換 気	ファン
床	樹脂タイル（2T）
数 居	ステンレス製
鏡	ステンレス鏡面（両脇ヘアライン仕上）
ハンドレール	ステンレスパイプ（ヘアライン仕上）
光電装置	多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）
天井換気ルーバー、 カメラキャップ	ABS樹脂
荷振り	ステンレスヘアライン仕上（床から300mm）
付属品	車いす仕様付、視覚障がい者仕様付
	ひも括まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様）
	乗り増利用者検知機能付、かご戸突引き込まれ低減機能付
	音声案内装置付
	非常放送、一般放送用スピーカー付
	かご側板保護マット付、かご床マット付

A1 (原寸) 時=1:10, A3 (縮小) 時=1:20

A - 1	ビニル床シート張り（既設床）	S=1/20	A - 2	ビニル床シート張り（土間新設）	S=1/20	A - 3	100角磁器質タイル張り（土間新設）	S=1/20	A - 4	外構土間・犬走り	S=1/20	A - 5	ステンレス床見切（床シート、磁器質タイル）	S=1/20				
																		
B - 1	ケイ酸カルシウム板目透かし張り（軽鉄下地）	S=1/6	B - 2	増築部 ふかし壁 側面見切り	S=1/6													
																		
C - 1	天井見切り 取付詳細図（壁仕上モルタル）	S=1/6	C - 1	天井見切り 取付詳細図（壁仕上げボード等）	S=1/6													
																		
											株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖園 周一郎 印			東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事 部分詳細図1 (A: 床、B: 壁、C: 天井) 鹿児島市建設局建築部建築課			A - 29	

D-1	天井点検口	S=1/20	D-2	床点検口	S=1/20	D-3	天井裏換気孔	S=1/6	D-4	ビクトサイン 木製（平付型・突出型）	S=1/10																		
<div>参考図</div> <div>天井点検口（アルミ 枠：450角）</div> <div></div> <div>※450角 19か所</div>			<div>参考図</div> <div></div> <div>※1か所</div>			<div>参考図</div> <div></div> <div>※2か所</div>			<div>ベース：ステンレスプレート HL</div> <div></div> <div>工事は取付文字を含む 檜板・無節・CL デザインは監督員と協議の上決定する。</div> <div>※平付型：4か所 ※突出型：4か所</div>																				
D-5			傘立て			S=1/20			D-6			面 台			S=1/40			D-7			地下ビットタラップ			S=1/40					
<div>西側</div> <div></div> <div>東側</div> <div></div> <div>SUS304 取付方法は監督員と打合せすること。</div> <div>※各1か所</div>						D-8						廊下流し						S=1/50、1/30											
<div>平面図 S=1/50</div> <div></div> <div>立面図 S=1/50</div> <div></div> <div>断面図 S=1/50</div> <div></div> <div>撤去部分補修</div> <table><tr><td>壁</td><td>既存 人造石研出し直し、撤去部分モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗</td></tr><tr><td>巾木</td><td>モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗 H=100 目地わかれ</td></tr><tr><td>床</td><td>t=30 モルタル金コテ押え補修の上 t=2.0 抗菌性ビニル床シート貼</td></tr></table> <div>1) シンクトップ（SUS304 t=1.2mm） 目皿（流しトラップ付） シンクは発泡材裏打を行う、脚部は床面に固定のこと 2) トラップは建築工事とする。 ステンレス製流しトラップ50A 水封 50mm 以上 3) 流し納まりは設備と打合わせのこと。</div> <div>※4か所</div>												壁	既存 人造石研出し直し、撤去部分モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗	巾木	モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗 H=100 目地わかれ	床	t=30 モルタル金コテ押え補修の上 t=2.0 抗菌性ビニル床シート貼	東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事											
壁	既存 人造石研出し直し、撤去部分モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗																												
巾木	モルタル金コテ押え補修の上 E P-G塗 H=100 目地わかれ																												
床	t=30 モルタル金コテ押え補修の上 t=2.0 抗菌性ビニル床シート貼																												
株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖國 周一郎 印												部分詳細図 2（D：金属・ユニット）				A-30													
												鹿児島市建設局建築部建築課																	

G-1	ALC立上り部分	S=1/10	G-2	ALC開口部	S=1/10	G-3	ALCコーナー部分	S=1/10
								
G-4	軒先納り	S=1/10	G-5	水上部分納り	S=1/10	G-6	ケラバ部分納り	S=1/10
								
						<div>株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖園 周一郎 印</div> <div>東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事 部分詳細図 4 (G: ALC・屋根) 鹿児島市建設局建築部建築課</div> <div>A-32</div>		

H－1		【屋根＋屋根】 耐火12.5mm			S=1:10		H－2		【屋根＋外壁】（1時間耐火）			S=1:10		H－3		【床＋床】		S=1:10		EXP. J キープラン										
<div>参考図</div>							<div>参考図</div>							<div>参考図</div>																
H－4		【天井－天井】			S=1:10		H－5			【外壁コーナー】			S=1:10		H－6			【内壁＋内壁】			S=1:10		H－7			【内壁コーナー】			S=1:10	
<div>参考図</div>							<div>参考図</div>							<div>参考図</div>							<div>参考図</div>									
H－10		増築部屋根伏図										S=1:150		<div><div>株式会社 OKI Design 一級建築士 第 322987 号 沖國 周一郎 印</div><div>東谷山中学校校舎1号棟エレベーター設置その他本体工事 部分詳細図5 (H：EXP. J) 鹿児島市建設局建築部建築課</div></div> <div>A－33</div>																

